

**令和4年度  
光市・介護予防・日常生活圏域  
ニーズ調査報告書**

**令和5年3月  
光市**

## 《目 次》

第1章 調査方法 .....	1
第2章 調査結果 .....	2
問1 あなたのご家族や生活状況について .....	2
問2 からだを動かすことについて .....	6
問3 食べることについて .....	14
問4 毎日の生活について .....	20
問5 地域での活動について .....	26
問6 たすけあいについて .....	32
問7 健康について .....	40
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について .....	50
問9 その他 .....	52
第3章 健康リスク判定 .....	72
1 運動器機能の低下 .....	73
2 転倒リスク .....	75
3 閉じこもり傾向 .....	77
4 低栄養の傾向 .....	79
5 咀嚼機能の低下 .....	81
6 認知機能の低下 .....	83
7 IADL（手段的自立度）の低下 .....	85
8 うつ傾向 .....	87
9 各種リスクの発生状況 .....	89
第4章 結果から見える課題 .....	92
資料 .....	93

# 第1章 調査方法

## 1. 調査の目的

日常生活圏域における高齢者の地域生活の課題を探り、それらの課題を踏まえた介護保険事業計画を策定するため、課題の抽出調査及びデータの分析を実施し、第9期介護保険事業計画の適切な策定に向けた基礎情報を得ることなどを目的とします。

## 2. 調査設計

調査内容	国が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票」に独自設問を加えて作成		
調査対象者	要介護認定を受けていない高齢者（一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者）		
対象者数	2,000人（層化無作為抽出法により日常生活圏域ごとに対象者を抽出）		
配布・回収方法	郵送による配布・回収を実施		
調査期間	令和5年1月16日～令和5年1月31日		
有効配布数	1,998件		
調査票回収数	1,559件	回収率	78.0%

## 3. 回収結果

本調査の回答数・回収率は以下のとおりです。

	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
全体	2,000	1,559	78.0
光井・室積地区	628	494	78.7
島田・上島田・三井・周防地区	491	371	75.6
浅江地区	567	427	75.3
大和地域	314	234	74.5
圏域不明	—	33	—

### 調査集計にあたっての留意事項

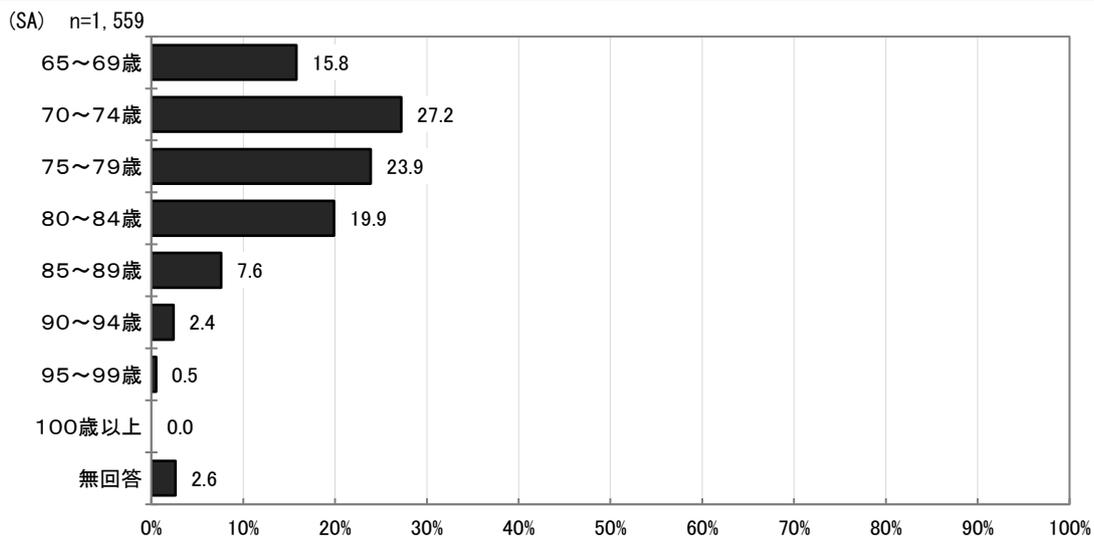
- 回答結果は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書においてグラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（4.0%未満）は数値の表示を省略しています。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ  
「N」＝サンプル数のこと  
「SA」＝単回答のこと（Single Answerの略）  
「MA」＝複数回答のこと（Multiple Answerの略）  
「数量」＝数量回答のこと  
を示します。

## 第2章 調査結果

### 問1 あなたのご家族や生活状況について

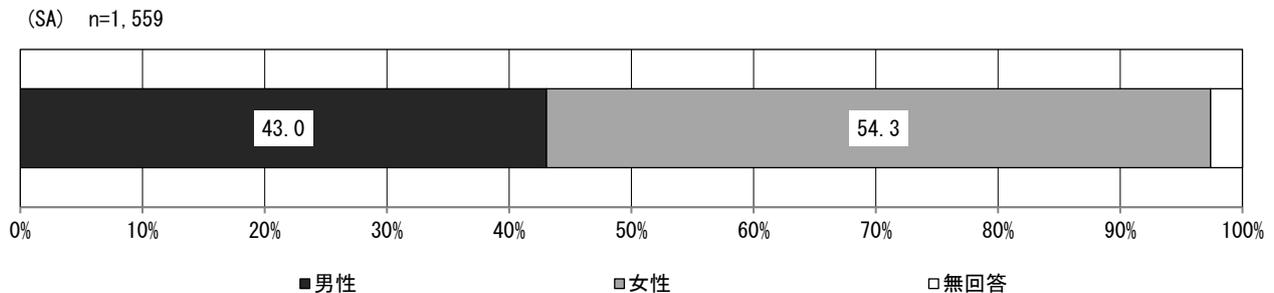
#### Q1-1 年齢をお教えてください。

「70～74歳」が27.2%で最も高くなっています。次いで「75～79歳」が23.9%、「80～84歳」が19.9%で続いています。



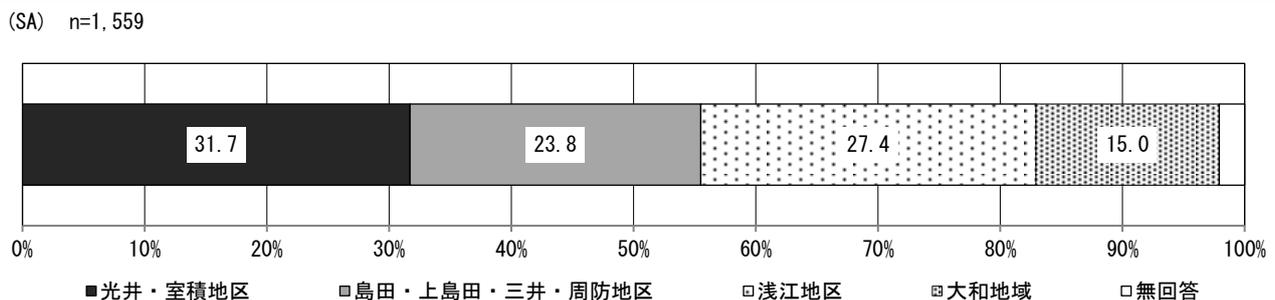
#### Q1-2 性別をお教えてください。

「女性」が54.3%、「男性」が43.0%となっています。



#### Q2 お住まいの地域をお教えてください。

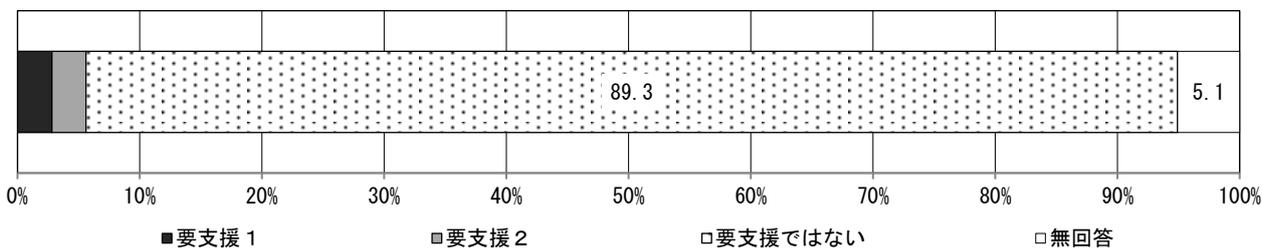
「光井・室積地区」が31.7%で最も高くなっています。次いで「浅江地区」が27.4%、「島田・上島田・三井・周防地区」が23.8%で続いています。



### Q3 あなたの介護状態をお教えてください。(SA)

「要支援ではない」が89.3%となっています。

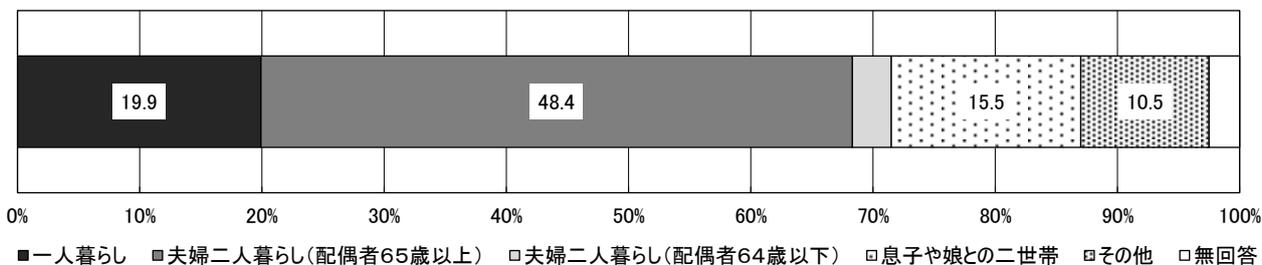
(SA) n=1,559



### Q4 家族構成をお教えてください。

「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」が48.4%で最も高くなっています。次いで「一人暮らし」が19.9%、「息子や娘との二世帯」が15.5%が続いています。

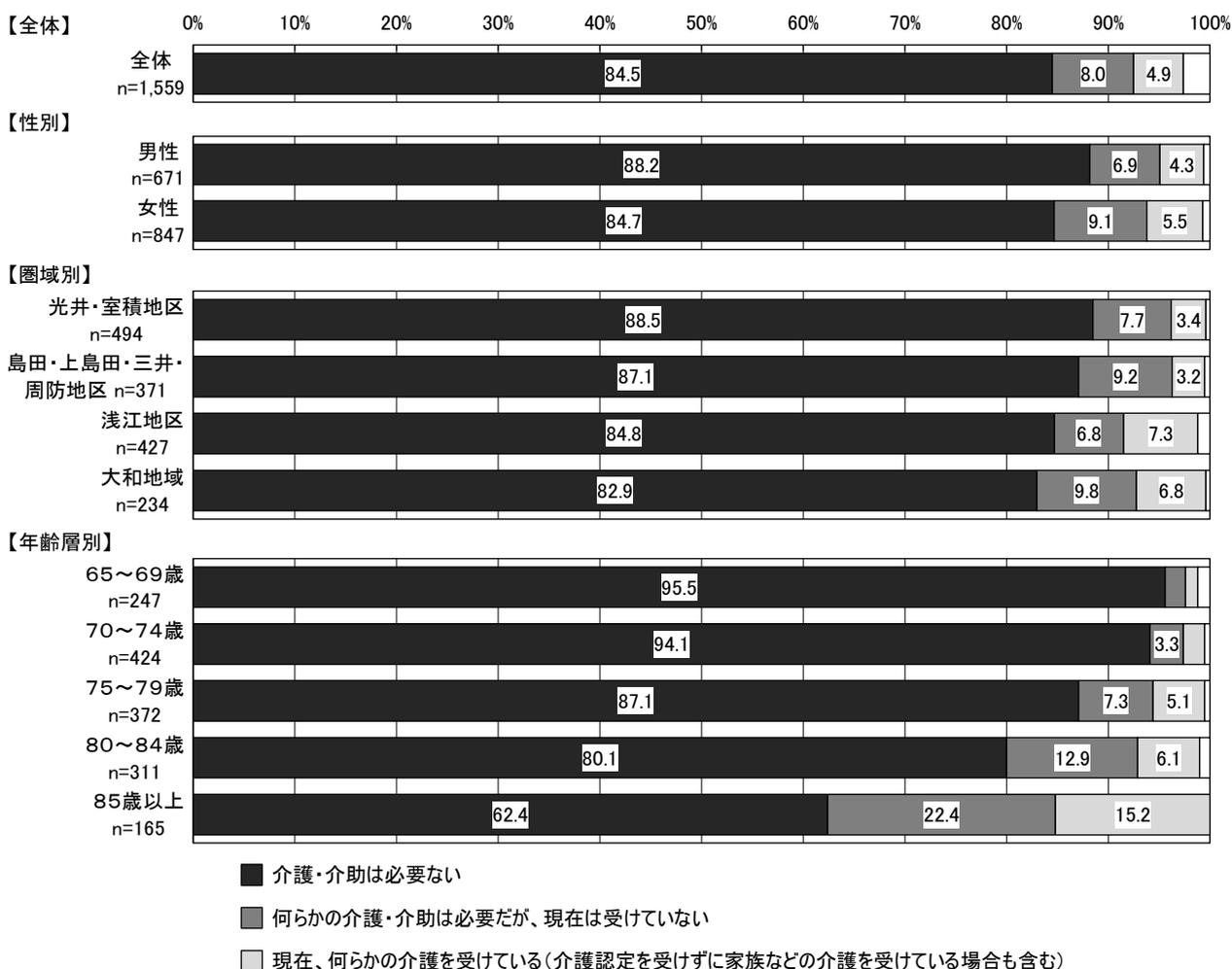
(SA) n=1,559



Q5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

【全体】 「介護・介助は必要ない」が84.5%で最も高くなっています。

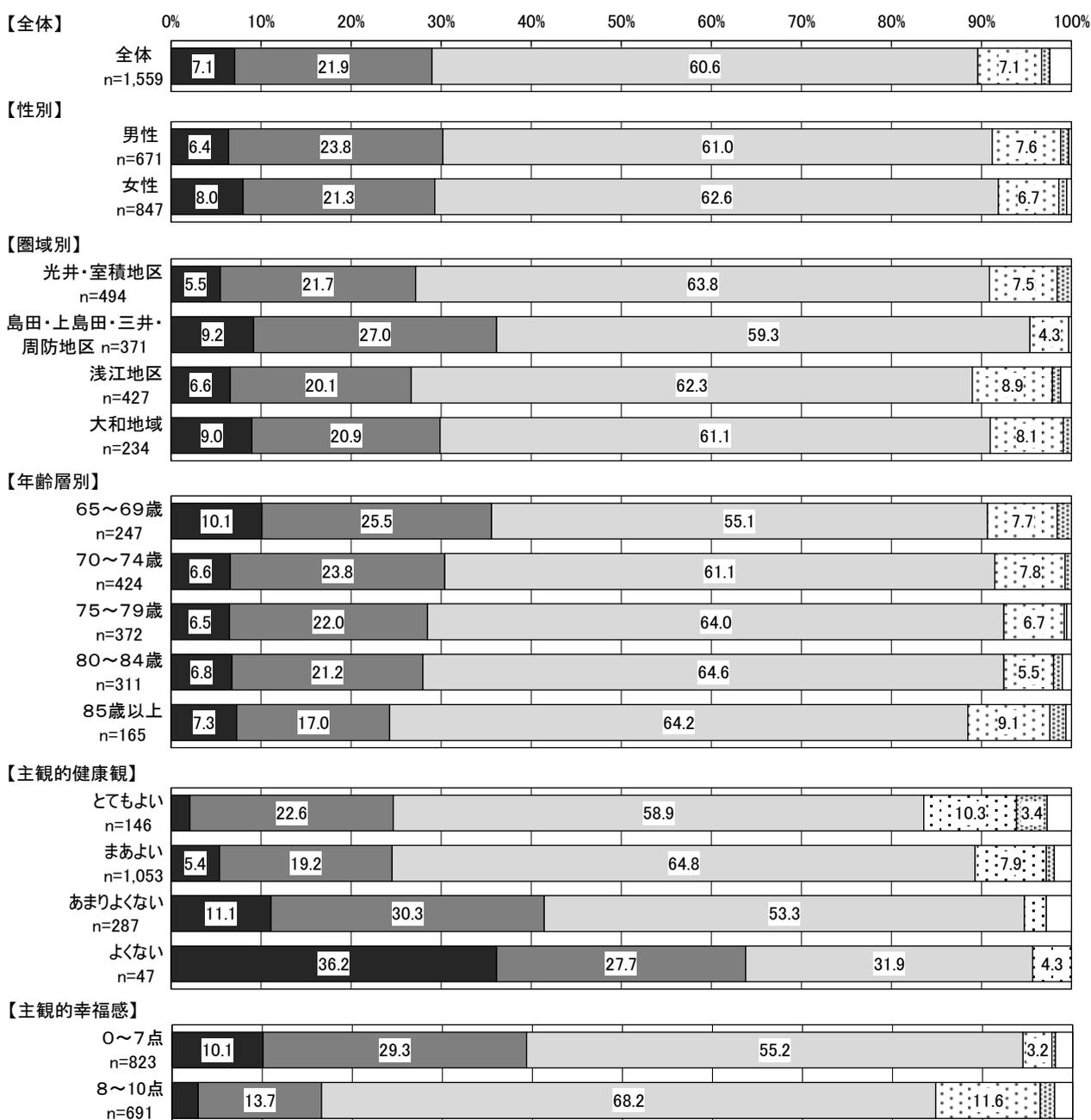
【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が高くなっています。



Q6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

「大変苦しい」と「やや苦しい」を「苦しい」、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を「ゆとりがある」と位置付けて表記しています。

- 【全 体】 「ふつう」が 60.6%で最も高くなっています。次いで「苦しい」が 29.0%、「ゆとりがある」が 8.0%となっています。
- 【圏 域 別】 『島田・上島田・三井・周防地区』では「苦しい」の割合が他の地区と比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 「65～69 歳」では「苦しい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。
- 【主観的健康観】※ 『よくない』『あまりよくない』では「苦しい」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福感】※ 『0～7 点』では「苦しい」の割合が高くなっています。



■ 大変苦しい ■ やや苦しい □ ふつう □ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある □ 無回答

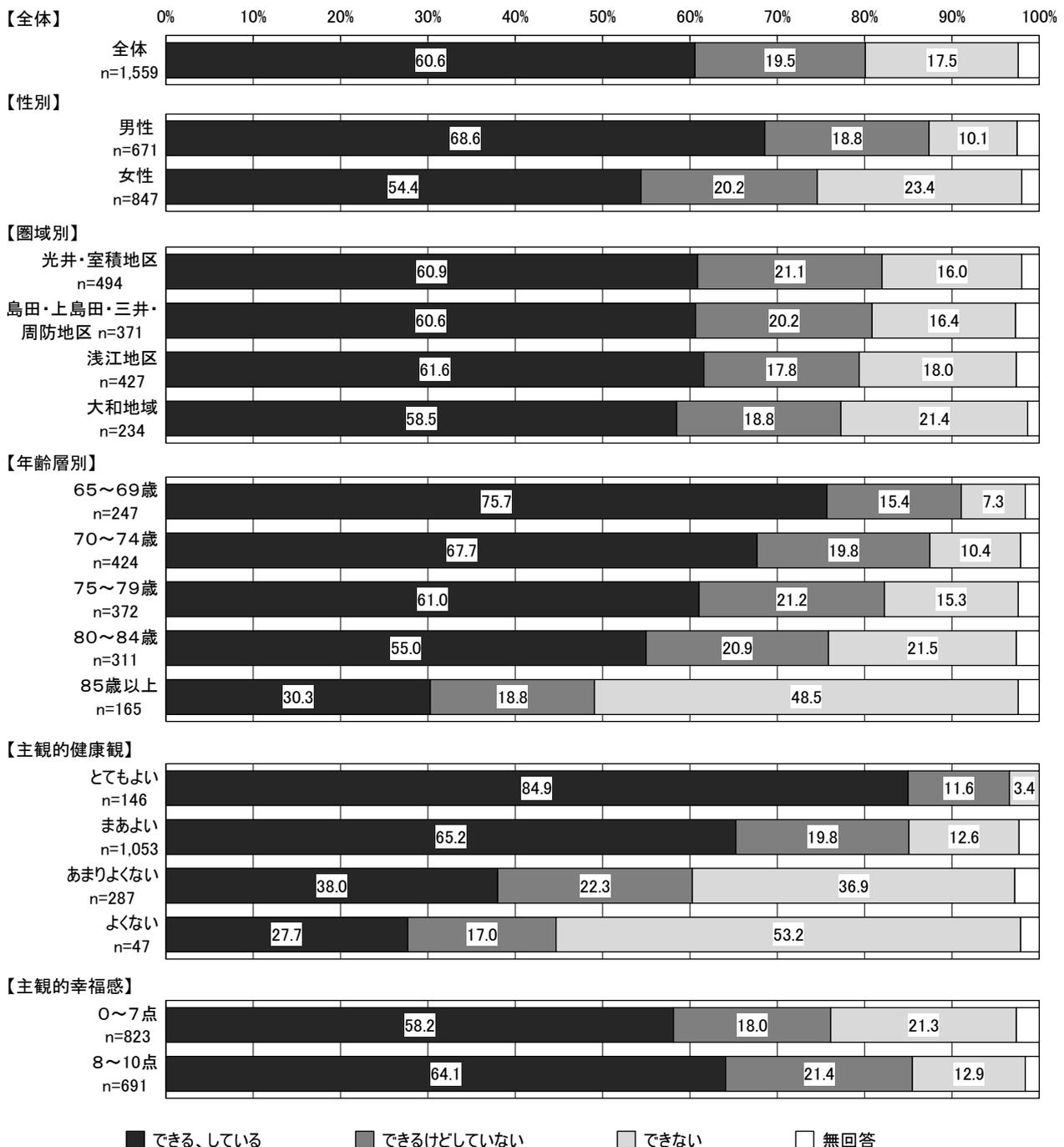
※主観的健康観とは、回答者自身が答えた健康状態(問7・Q1)によるクロス集計

※主観的幸福感とは、回答者自身が答えた幸福度(問7・Q2)によるクロス集計

## 問2 からだを動かすことについて

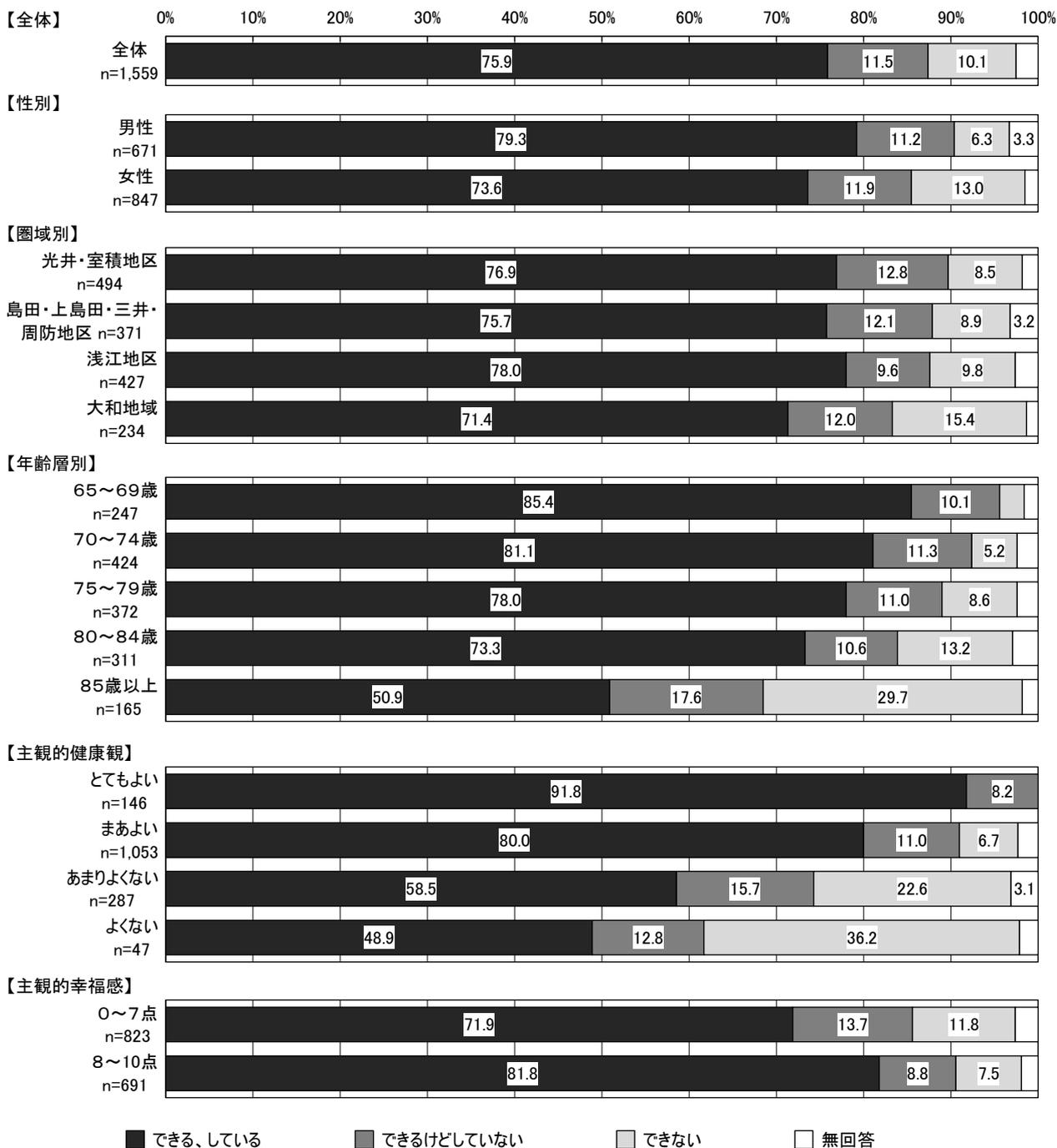
Q1 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができますか。

- 【全体】 「できる、している」が60.6%を占めています。  
 【性別】 『女性』は『男性』に比べて「できない」の割合が高くなっています。  
 【圏域別】 『大和地域』では「できない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「できない」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「できない」の割合が高くなっています。  
 【主観的幸福感】 『0～7点』では「できない」の割合が高くなっています。



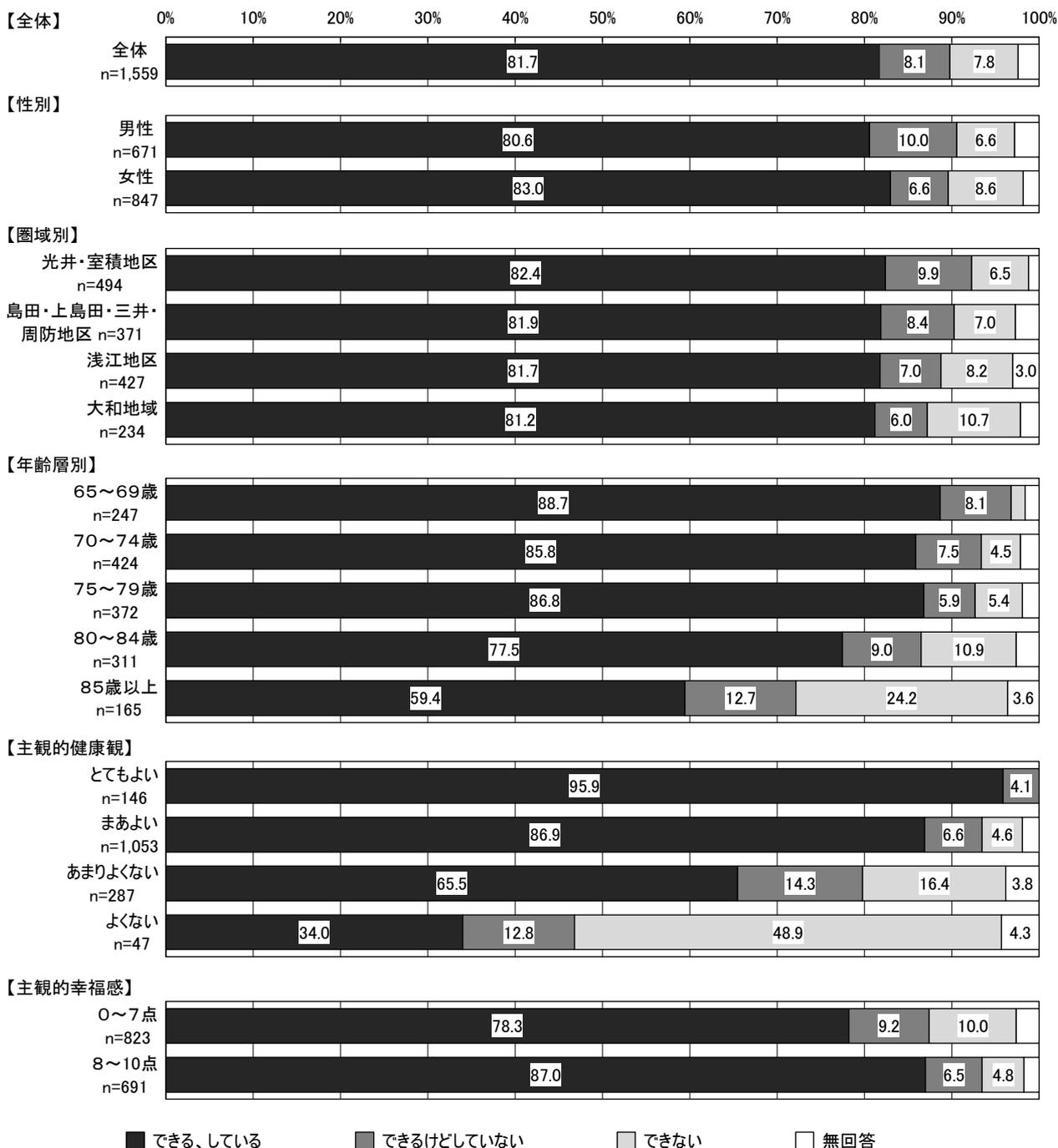
Q2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができますか。

- 【全体】 「できる、している」が75.9%を占めています。  
 【性別】 『女性』は『男性』に比べて「できない」の割合が高くなっています。  
 【圏域別】 『大和地域』では「できない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「できない」の割合が高くなっています。  
 『85歳以上』では「できるけどしていない」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「できない」の割合が高くなっています。  
 【主観的幸福感】 『0～7点』では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



Q3 15分位続けて歩くことができますか。

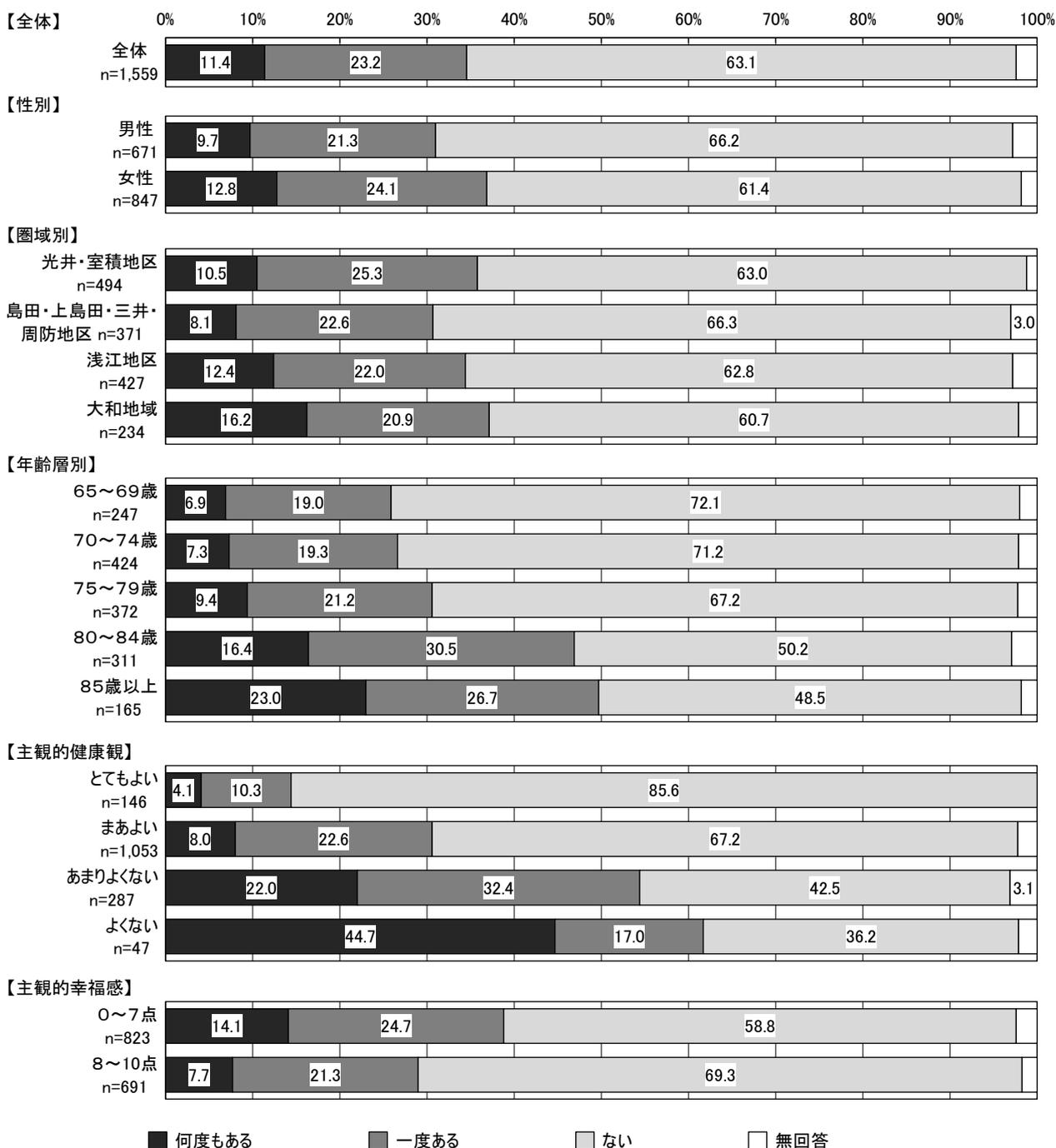
- 【全体】 「できる、している」が81.7%を占めています。  
 【年齢層別】 『85歳以上』では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「できない」の割合が高くなっています。  
 【主観的幸福感】 『0～7点』では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



#### Q4 過去1年間に転んだことがありますか。

「何度もある」と「一度ある」を「転んだことがある」と位置付けて表記しています。

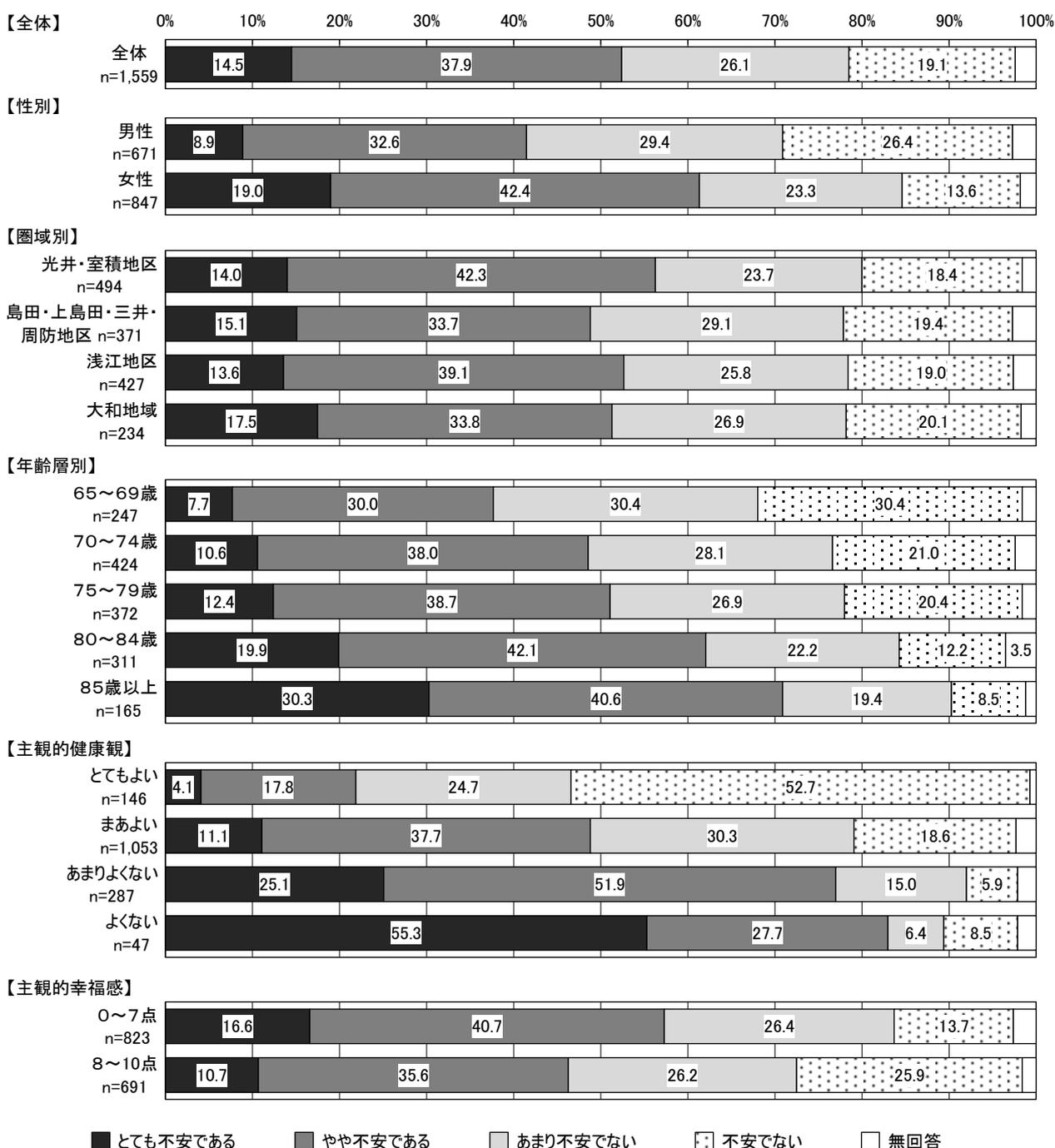
- 【全体】 「ない」が63.1%を占めています。
- 【性別】 『女性』は『男性』に比べて「転んだことがある」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『光井・室積地区』『浅江地区』『大和地域』では「転んだことがある」の割合が『島田・上島田・三井・周防地区』に比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「転んだことがある」の割合が高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「転んだことがある」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福感】 『0～7点』では「転んだことがある」の割合が高くなっています。



### Q5 転倒に対する不安は大きいですか。

「とても不安である」と「やや不安である」を「不安である」、「あまり不安でない」「不安でない」を「不安でない」と位置付けて表記しています。

- 【全 体】 「不安である」が 52.4%、「不安でない」が 45.2%となっています。
- 【性 別】 『女性』は『男性』に比べて「不安である」の割合が高くなっています。
- 【圏 域 別】 『光井・室積地区』では「不安である」の割合が他の地区に比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「不安である」の割合が高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「不安である」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福感】 『0～7点』では「不安である」の割合が高くなっています。



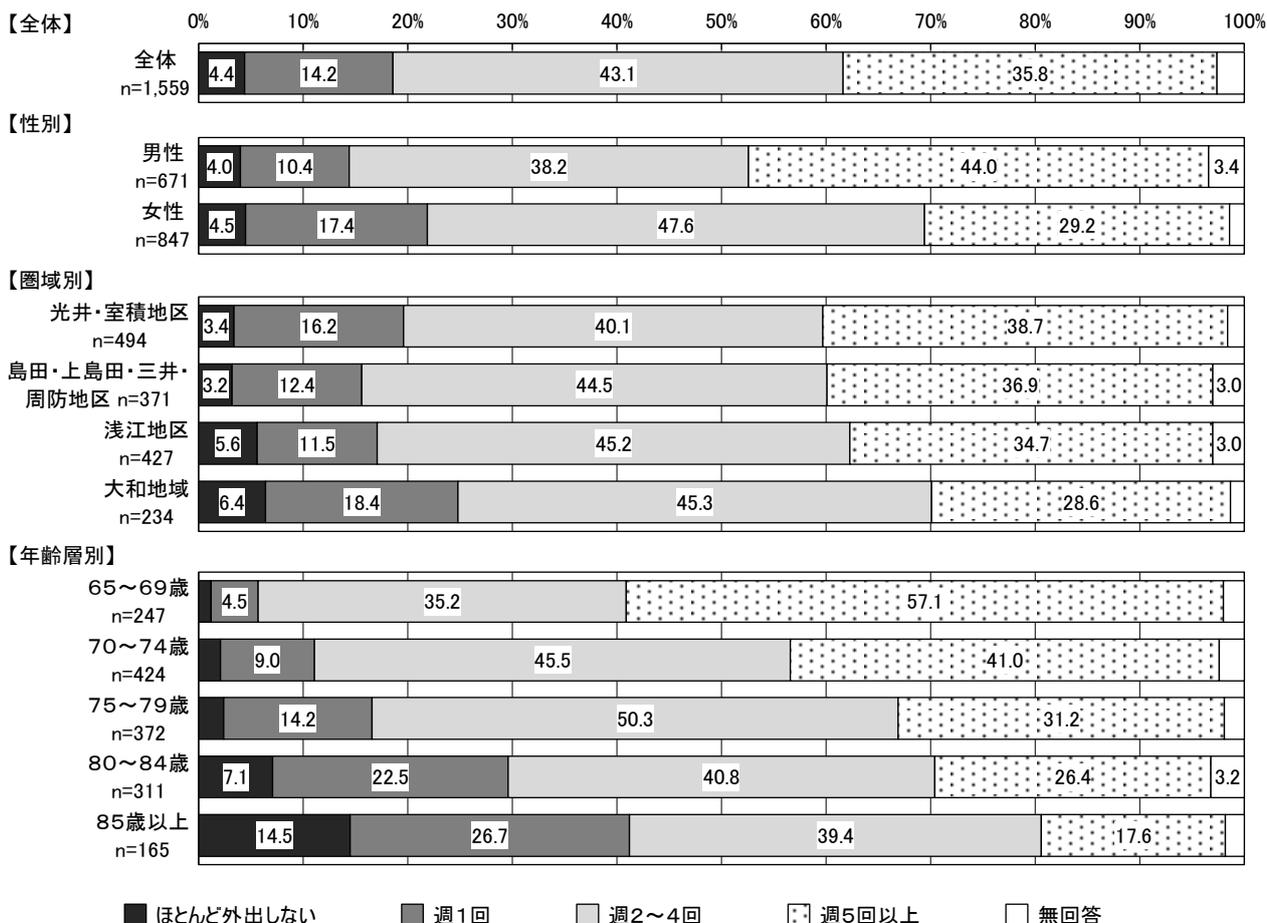
Q6 週に1回以上外出していますか。

【全 体】 「週2～4回」が43.1%で最も高くなっています。次いで「週5回以上」が35.8%、「週1回」が14.2%で続いています。

【性 別】 『男性』は『女性』に比べて「週5回以上」の割合が高くなっています。  
『女性』は『男性』に比べて「週1回」「週2～4回」の割合が高くなっています。

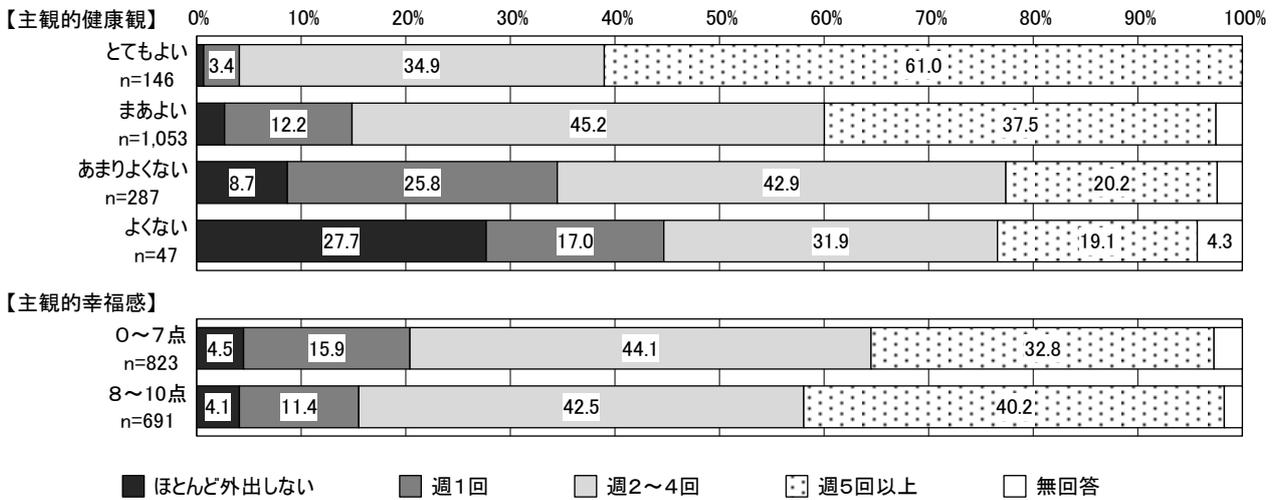
【圏 域 別】 『光井・室積地区』『島田・上島田・三井・周防地区』『浅江地区』では「週5回以上」の割合が『大和地域』に比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。

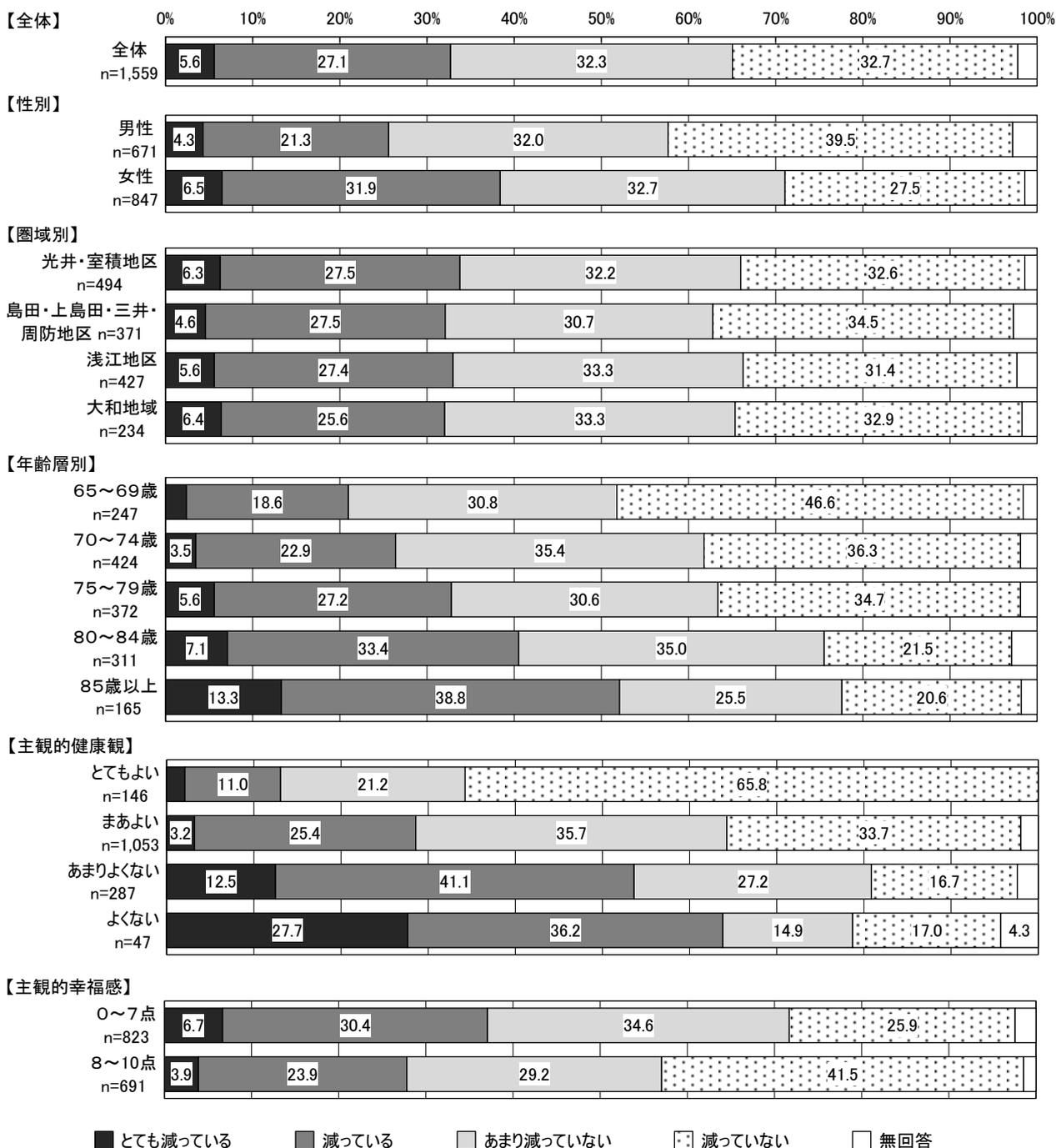
【主観的幸福感】 『8～10点』では「週5回以上」の割合が高くなっています。



Q7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

「とても減っている」と「減っている」を「減っている」、「あまり減っていない」「減っていない」を「減っていない」と位置付けて表記しています。

- 【全体】 「減っている」が32.7%、「減っていない」が65.0%となっています。
- 【性別】 『女性』は『男性』に比べて「減っている」の割合が高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「減っている」の割合が高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「減っている」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福感】 『0～7点』では「減っている」の割合が高くなっています。

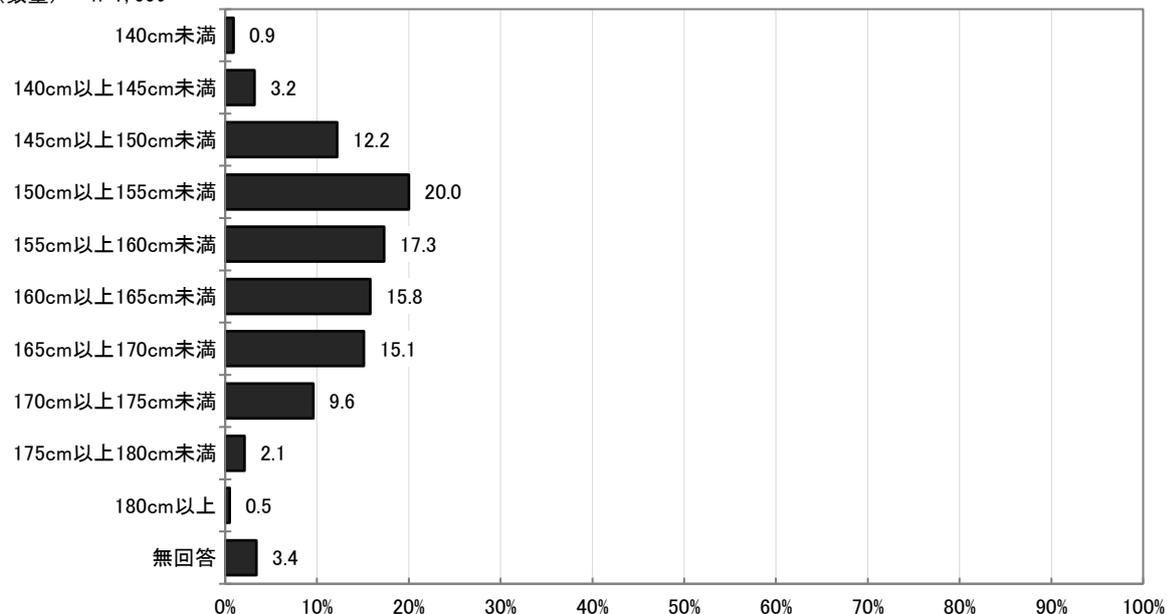


## 問3 食べることについて

### Q1 身長は何cmですか。

「150cm以上155cm未満」が20.0%で最も高くなっています。次いで「155cm以上160cm未満」が17.3%、「160cm以上165cm未満」が15.8%で続いています。

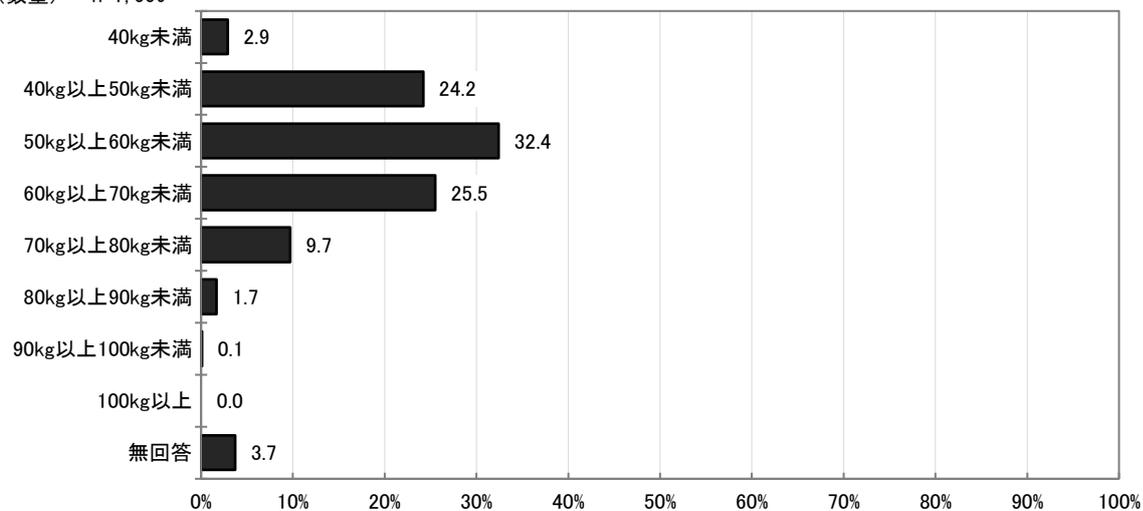
(数量) n=1,559



### Q1 体重は何kgですか。(数量)

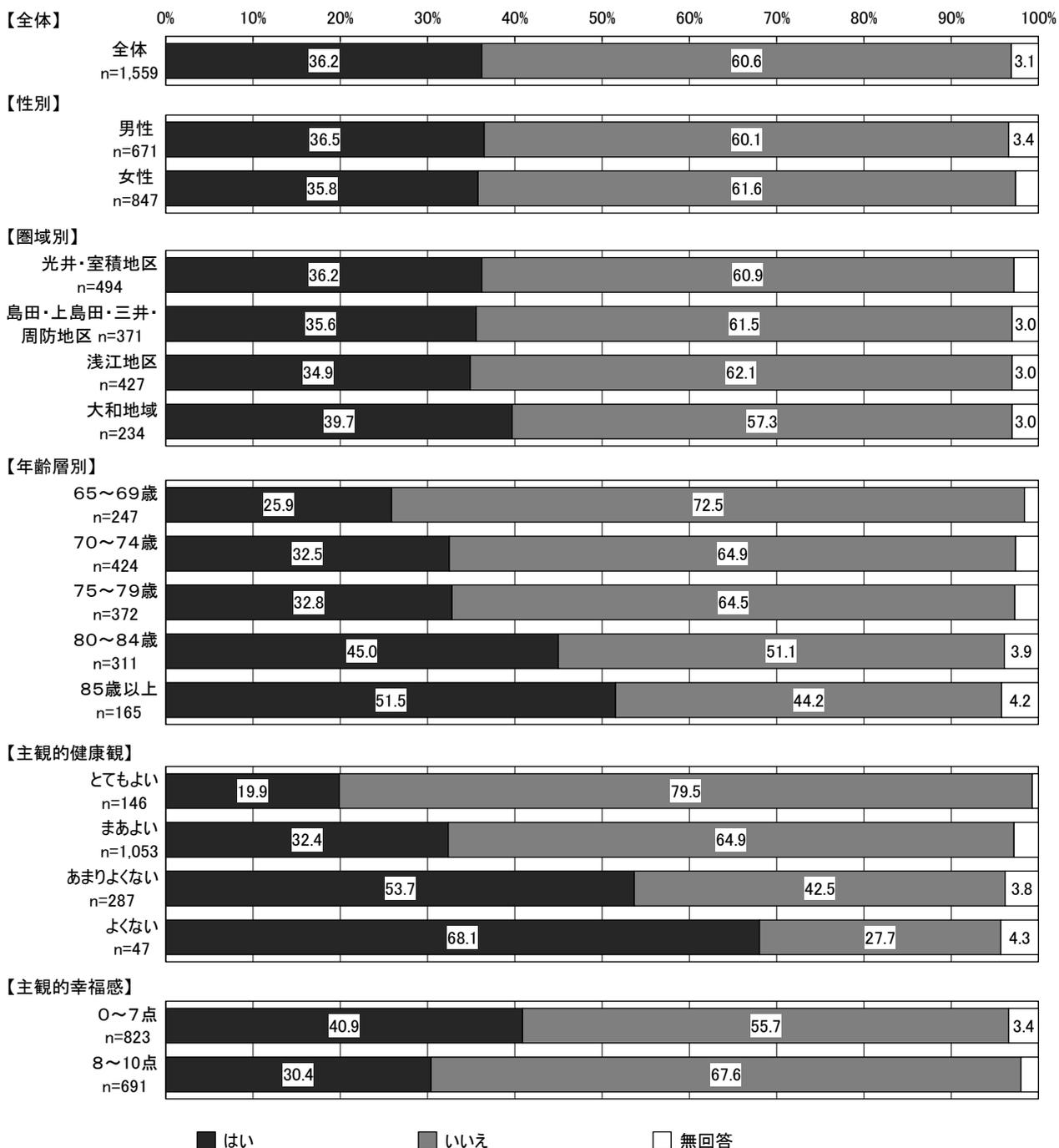
「50kg以上60kg未満」が32.4%で最も高くなっています。次いで「60kg以上70kg未満」が25.5%、「40kg以上50kg未満」が24.2%で続いています。

(数量) n=1,559



Q2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

【全体】 「いいえ」が60.6%を占めています。  
 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「はい」の割合が高くなっています。  
 【主観的幸福感】 『0～7点』では「はい」の割合が高くなっています。

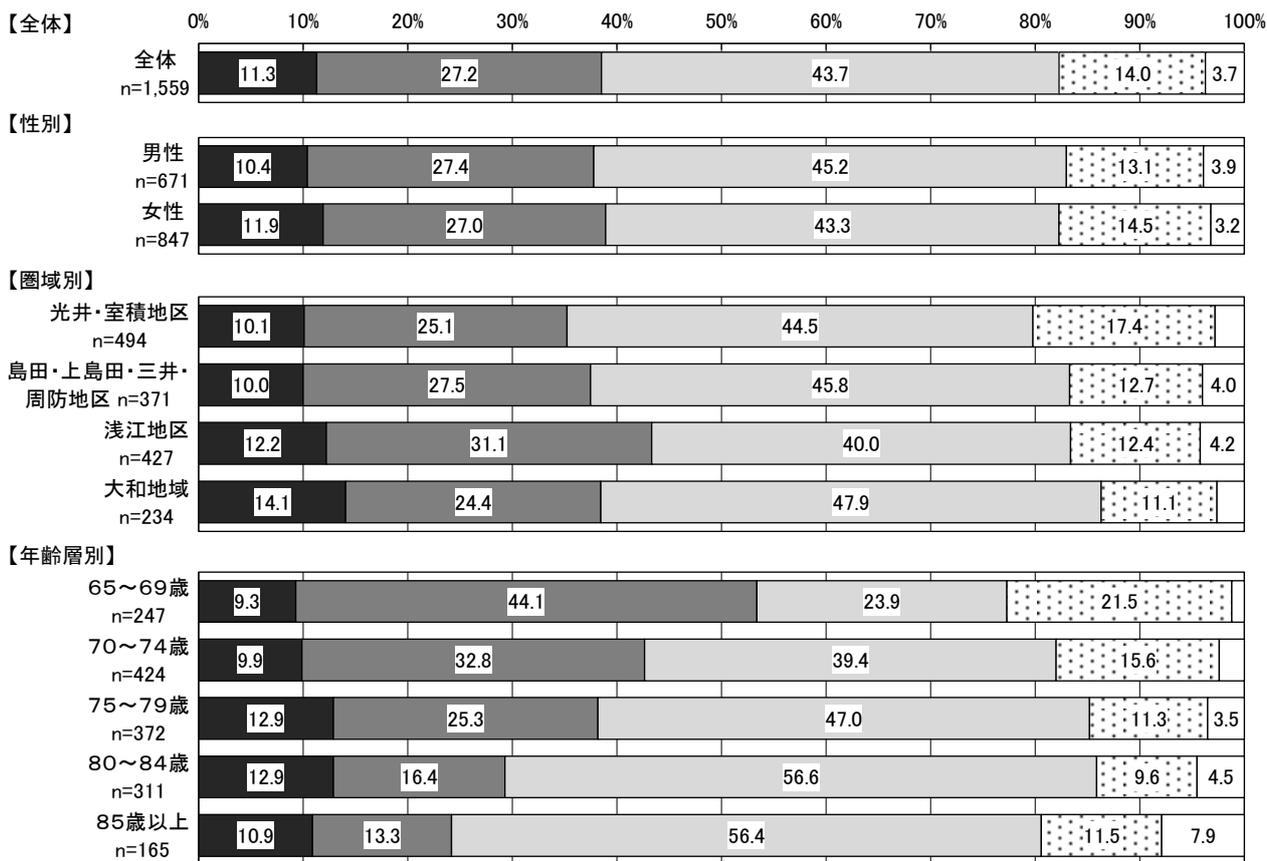


### Q3 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

【全 体】 「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が43.7%で最も高くなっています。次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が27.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が14.0%が続いています。

【圏 域 別】 『浅江地域』では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。

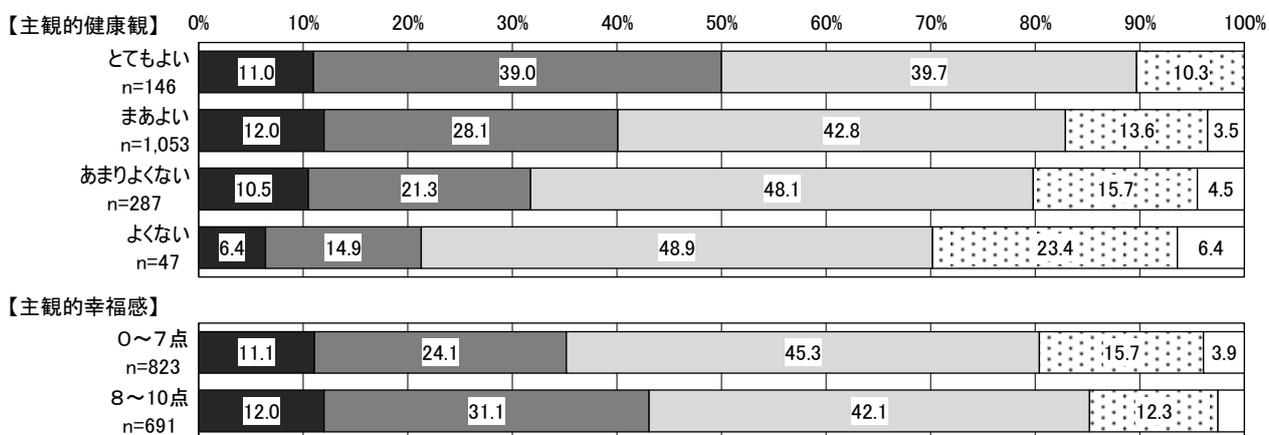


■ 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 ■ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし □ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用

▨ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし □ 無回答

【主観的健康観】 『とてもよい』『まあよい』では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『8～10点』では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。



■ 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 ■ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし □ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用

▨ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし □ 無回答

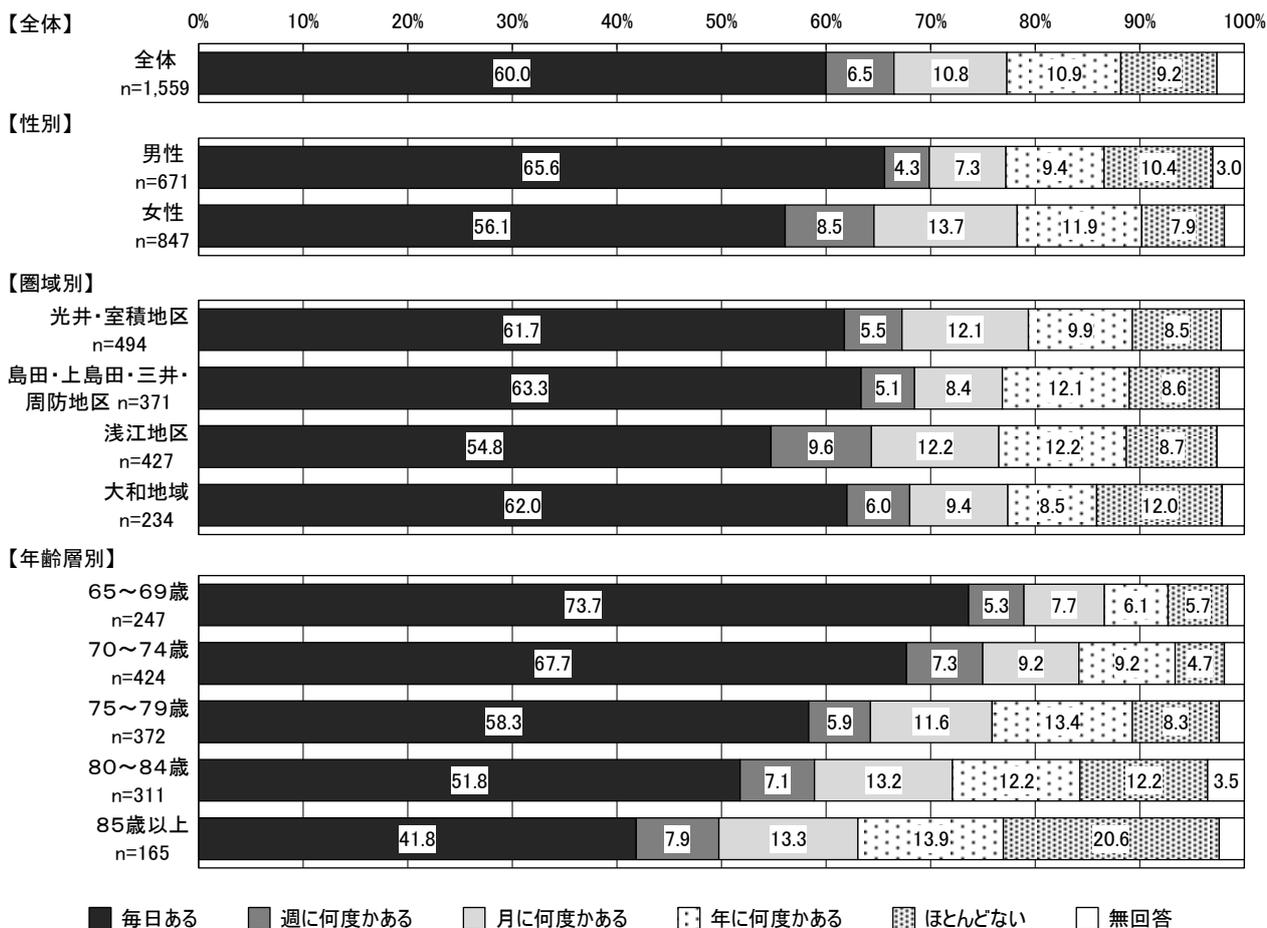
Q4 どなたかと食事をいっしょにする機会がありますか。

【全 体】 「毎日ある」が 60.0%で最も高くなっています。「年に何度かある」が 10.9%、「月に何度かある」が 10.8%となっています。

【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「毎日ある」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「月に何度かある」の割合が高くなっています。

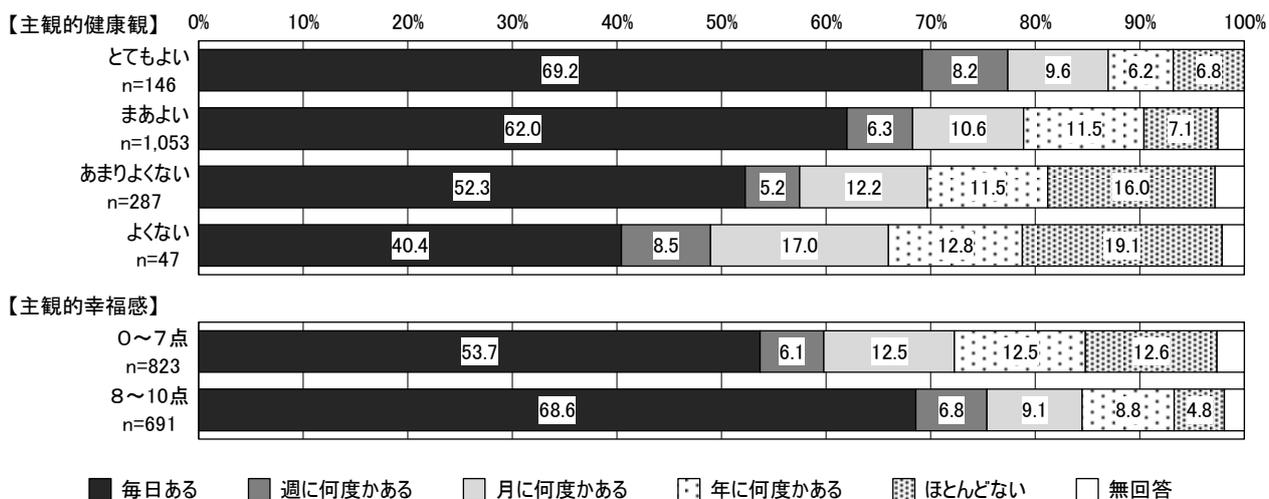
【圏 域 別】 『光井・室積地区』『島田・上島田・三井・周防地区』『大和地域』では「毎日ある」の割合が『浅江地区』と比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「ほとんどない」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「ほとんどない」の割合が高くなっています。

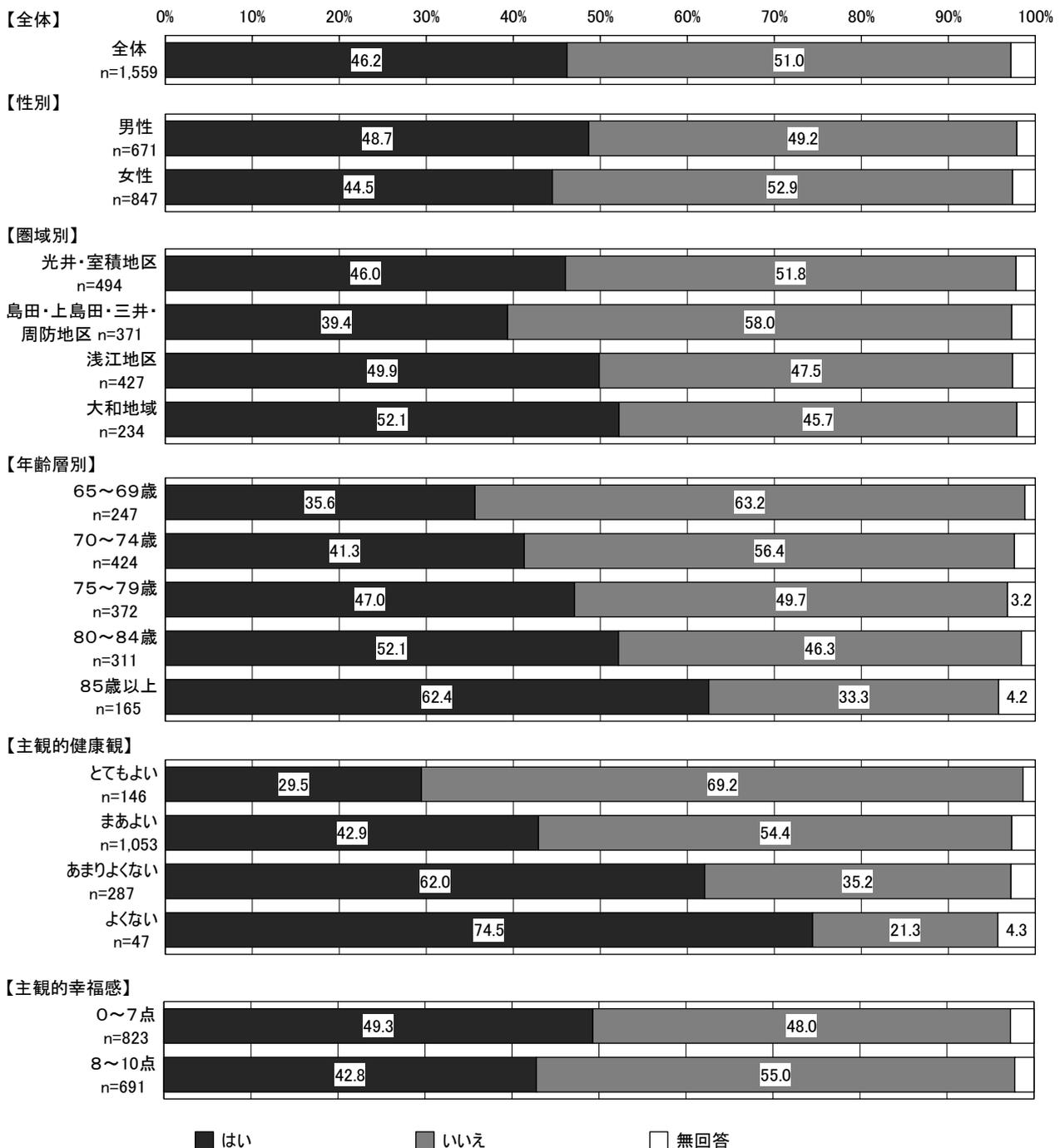
【主観的幸福感】 『0～7点』では「ほとんどない」の割合が高くなっています。



## 問4 毎日の生活について

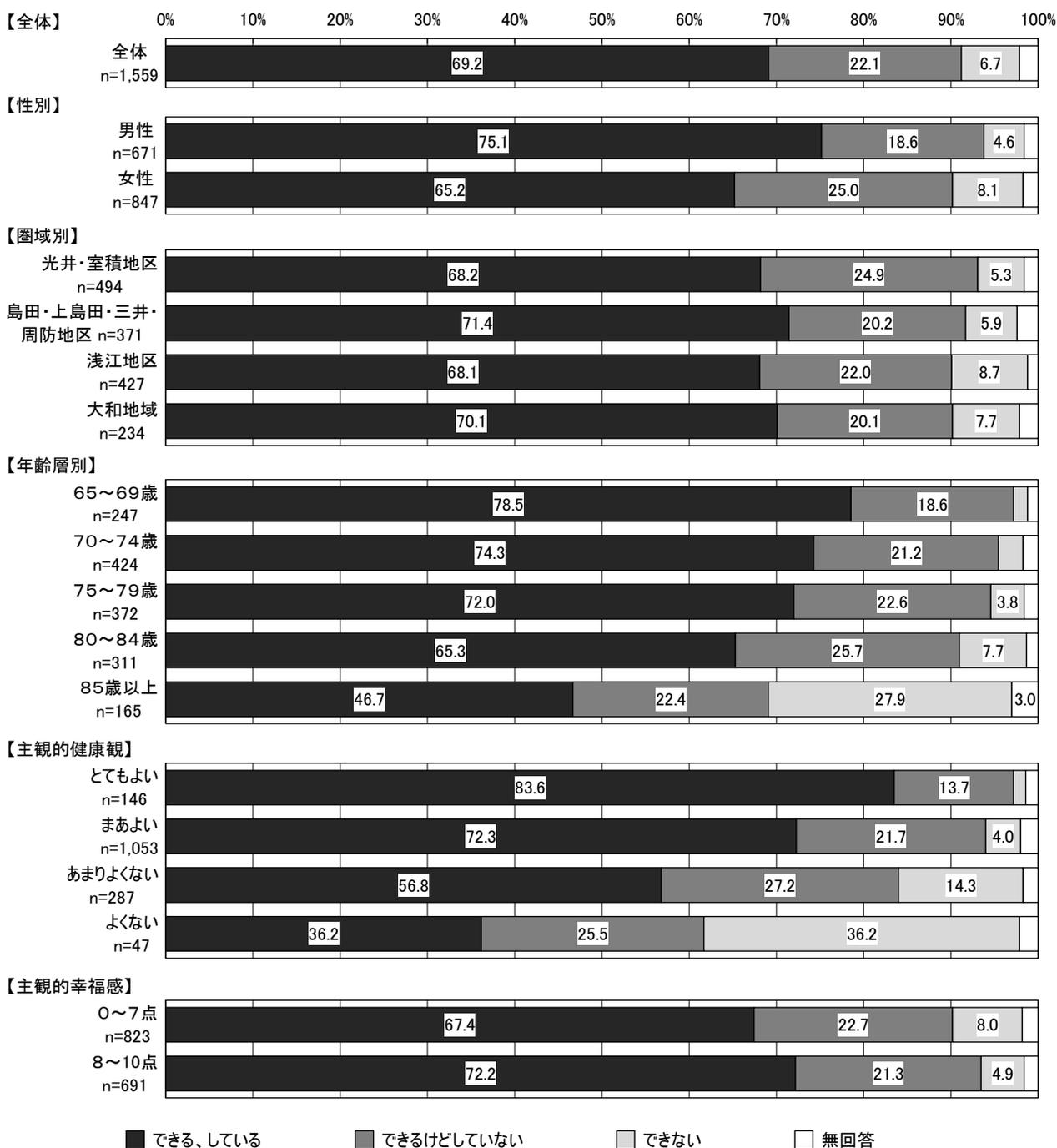
Q1 物忘れが多いと感じますか。

- 【全 体】 「いいえ」が51.0%、「はい」が46.2%となっています。
- 【圏 域 別】 『浅江地区』『大和地域』では「はい」の割合が他の地区と比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「はい」の割合が高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「はい」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福感】 『0～7点』では「はい」の割合が高くなっています。



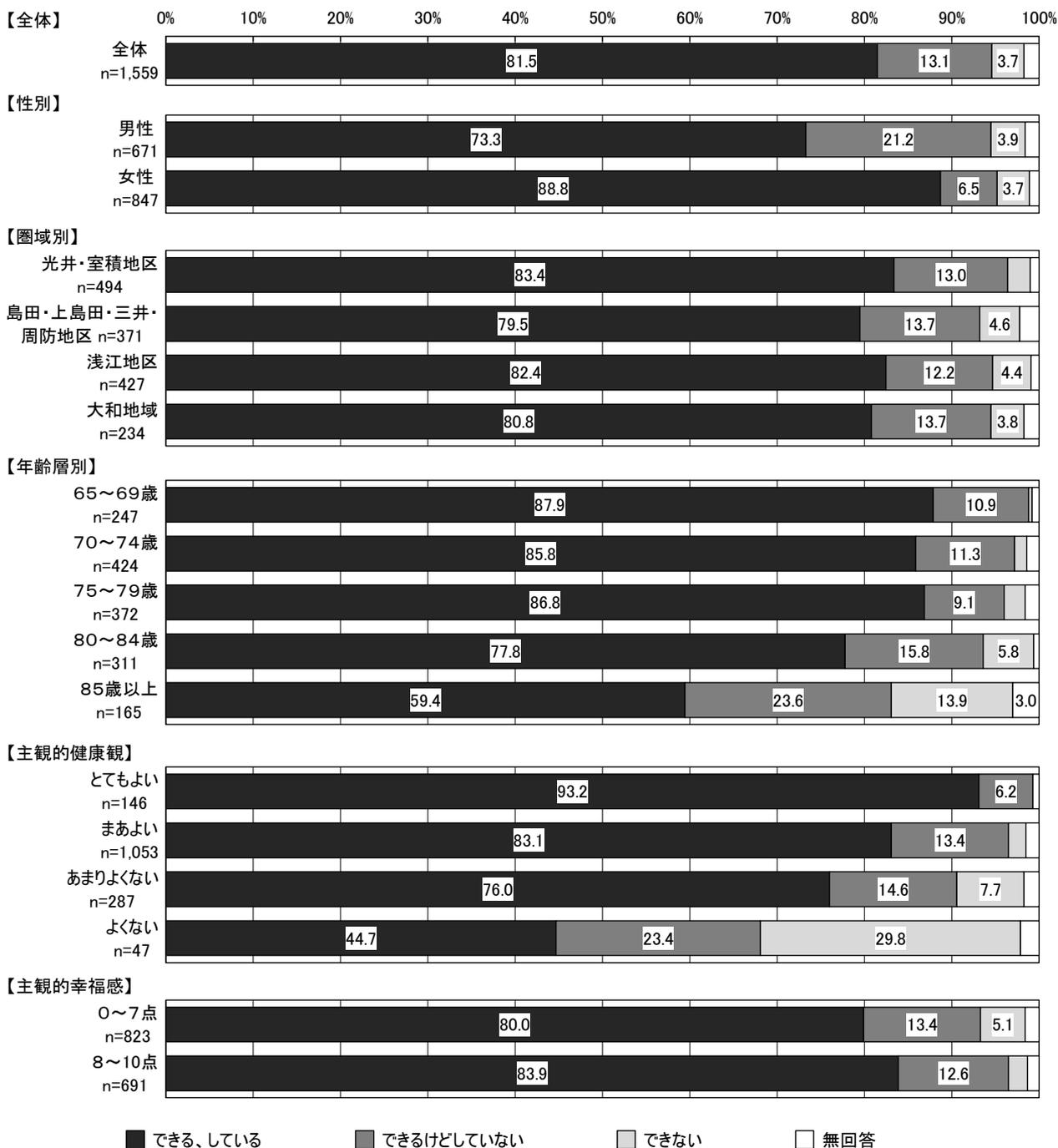
Q2 バスや電車(自家用車でも可)を使って一人で外出していますか。

【全体】 「できる、している」が69.2%を占めています。  
 【性別】 『女性』では『男性』と比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。  
 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「できない」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』では「できない」の割合が高くなっています。



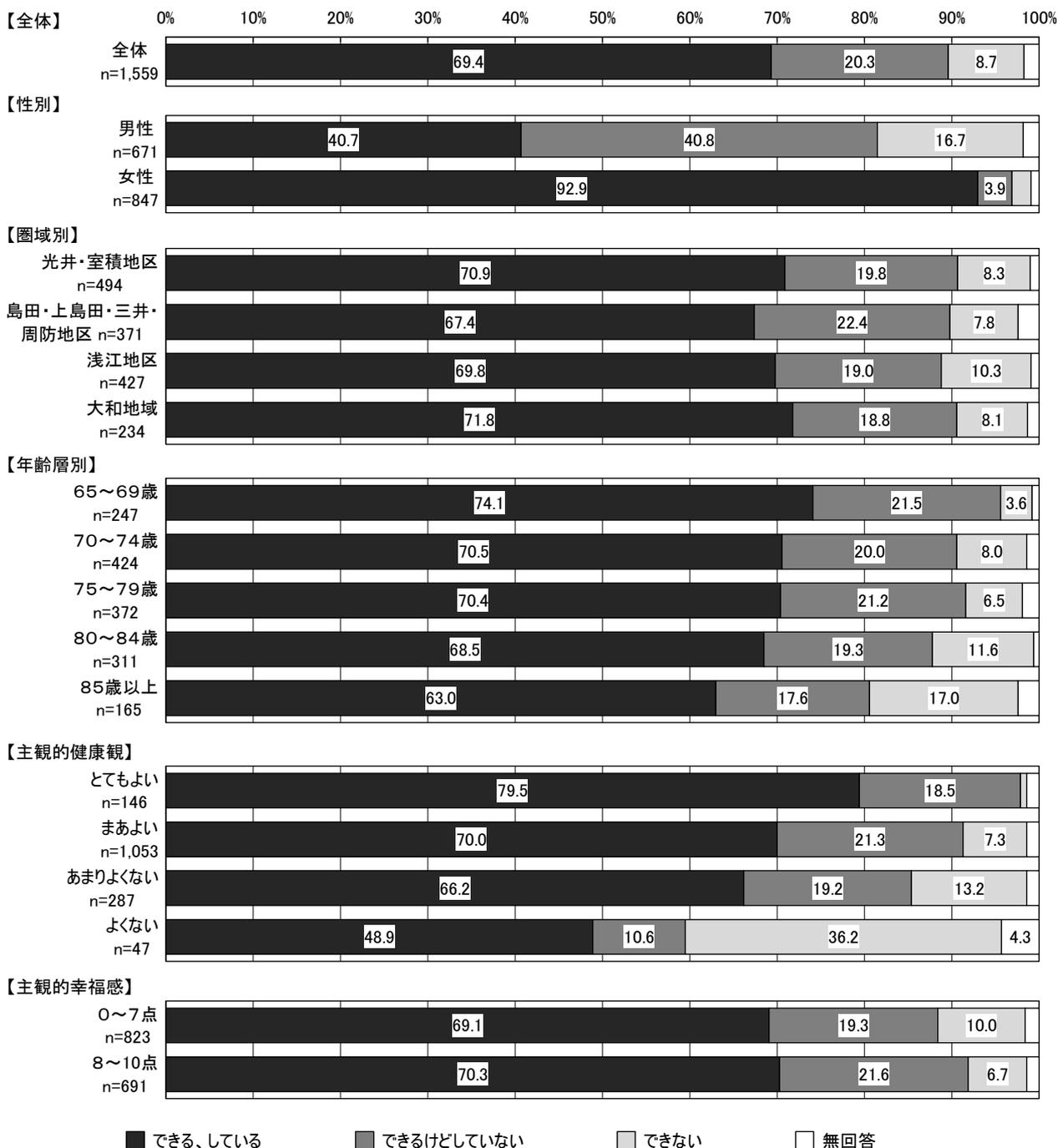
Q3 自分で食品や日用品の買物をしていますか。

【全体】 「できる、している」が81.5%を占めています。  
 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。  
 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「できない」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』では「できない」の割合が高くなっています。



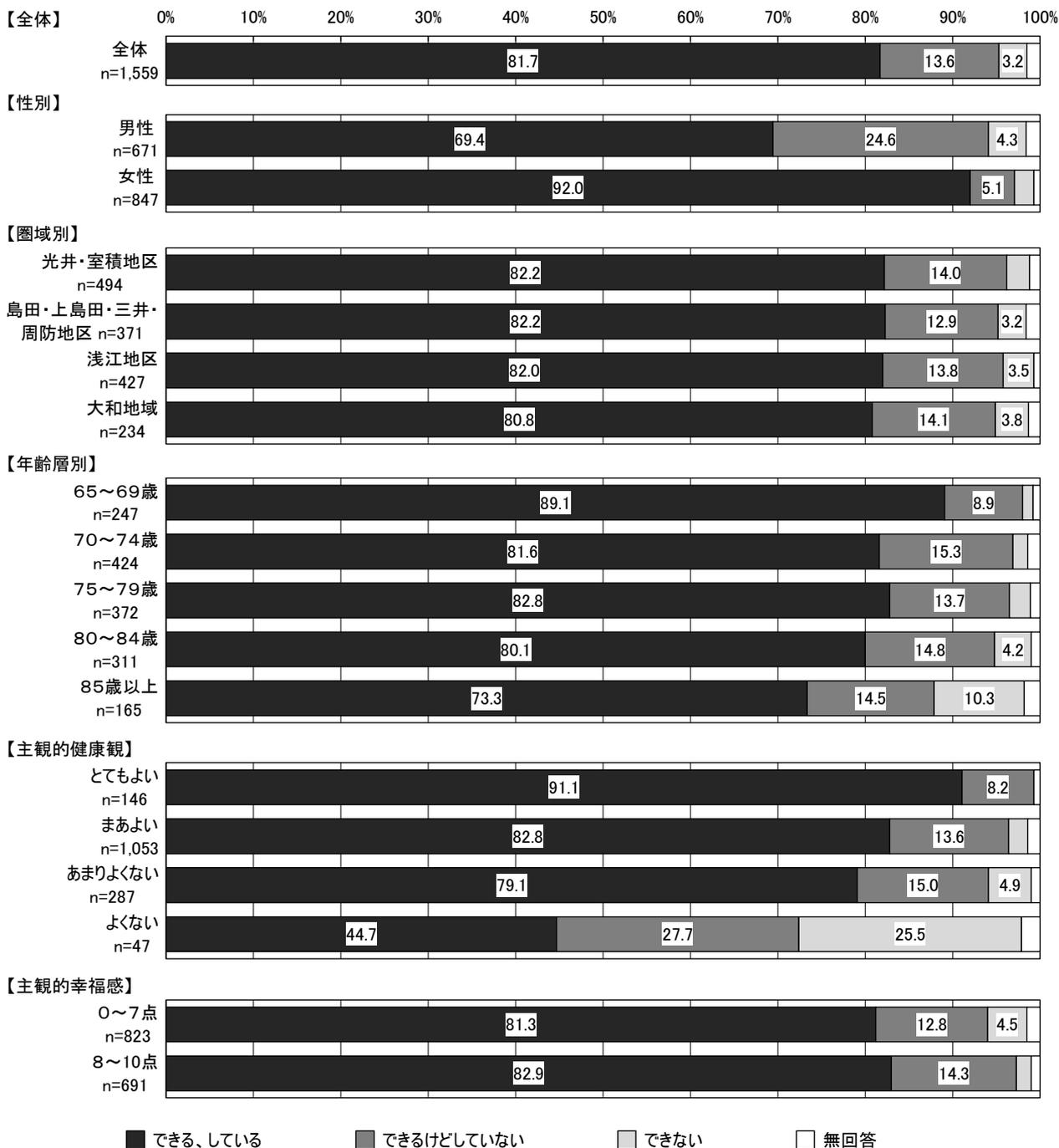
#### Q4 自分で食事の用意をしていますか。

- 【全体】 「できる、している」が69.4%を占めています。
- 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「できない」の割合が高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』では「できない」の割合が高くなっています。



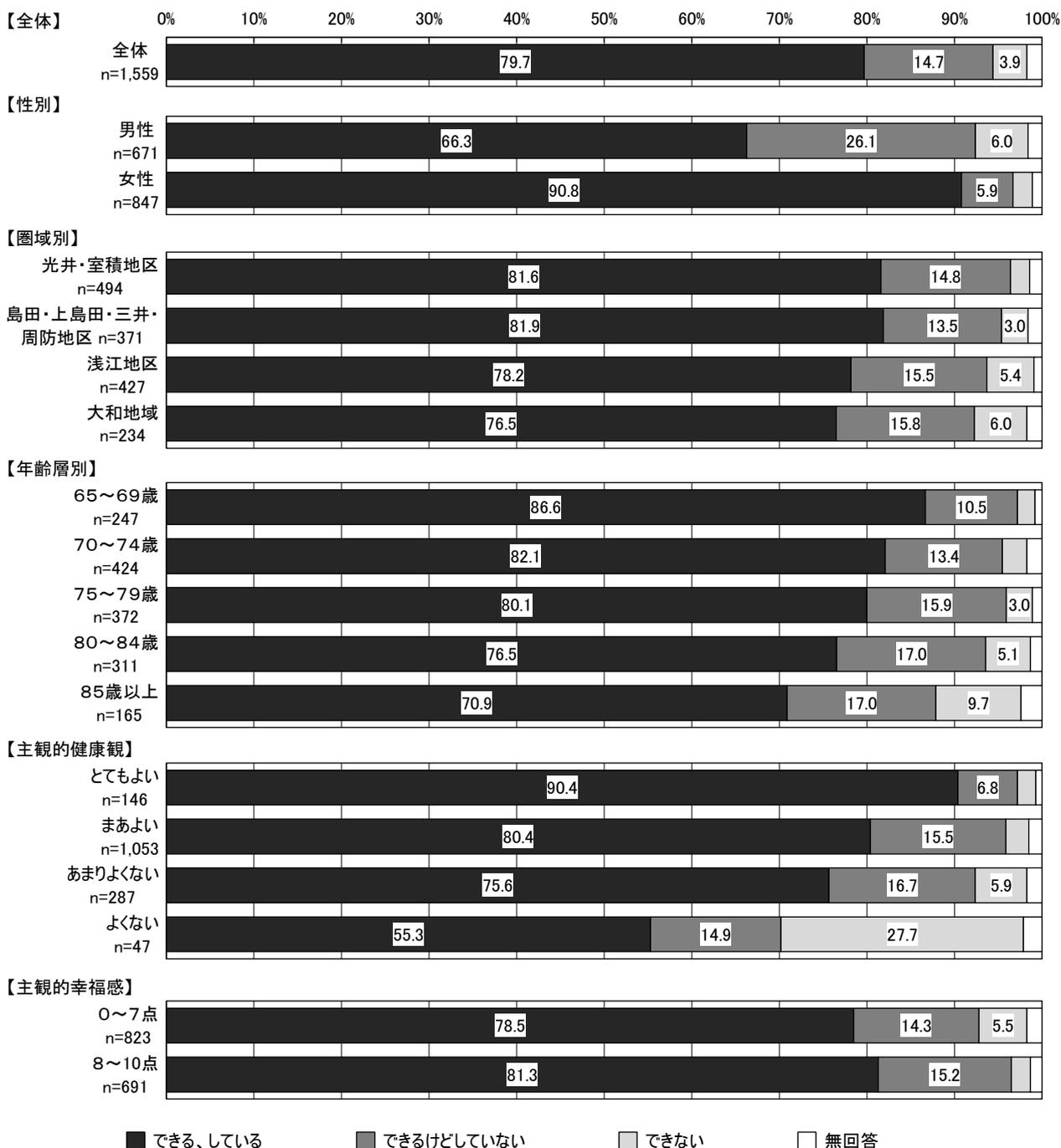
Q5 自分で請求書の支払いをしていますか。

【全体】 「できる、している」が81.7%を占めています。  
 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。  
 【年齢層別】 『85歳以上』では「できない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』では「できない」の割合が高くなっています。



Q6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

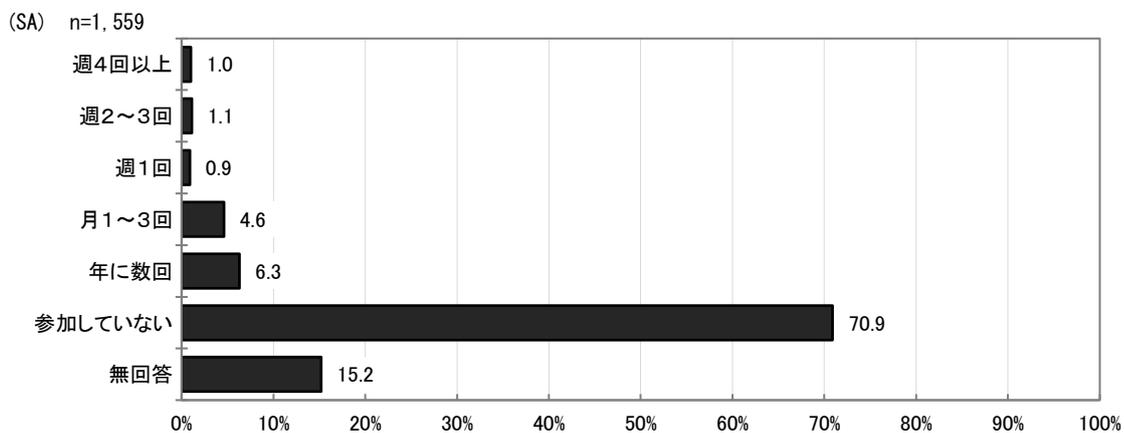
- 【全体】 「できる、している」が79.7%を占めています。  
 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。  
 【年齢層別】 『85歳以上』では「できるけどしていない」「できない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』では「できない」の割合が高くなっています。



## 問5 地域での活動について

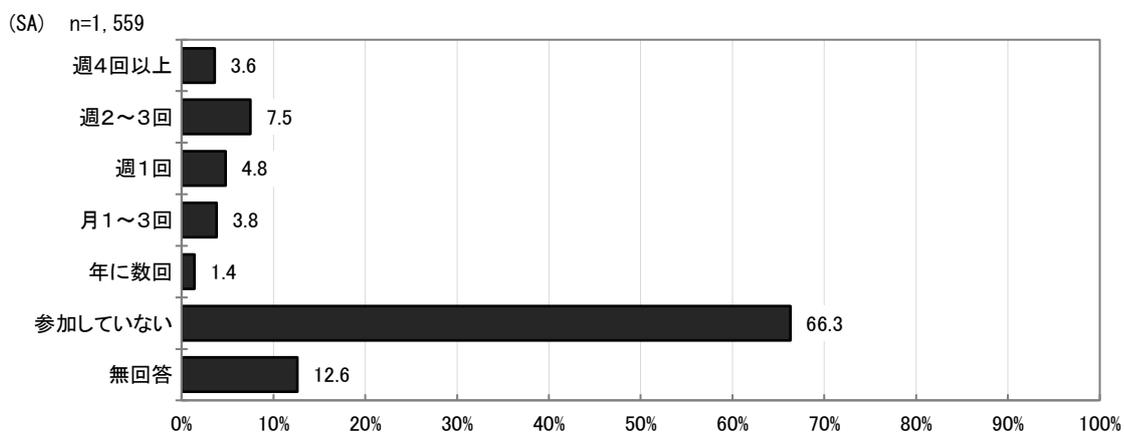
Q1① 「ボランティアのグループ」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が70.9%で最も高くなっています。「年に数回」が6.3%、「月1～3回」が4.6%となっています。



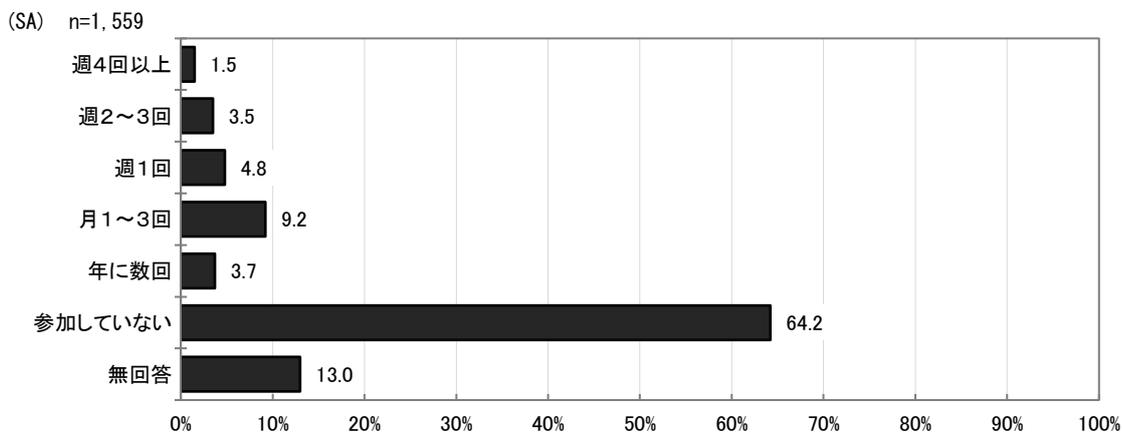
Q1② 「スポーツ関係のグループやクラブ」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が66.3%で最も高くなっています。「週2～3回」が7.5%、「週1回」が4.8%となっています。



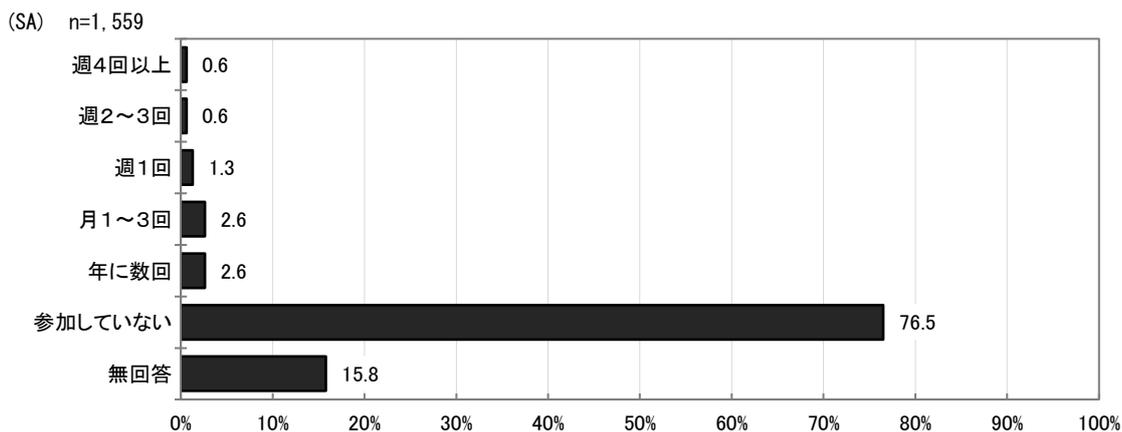
Q1③ 「趣味関係のグループ」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が64.2%で最も高くなっています。「月1～3回」が9.2%、「週1回」が4.8%となっています。



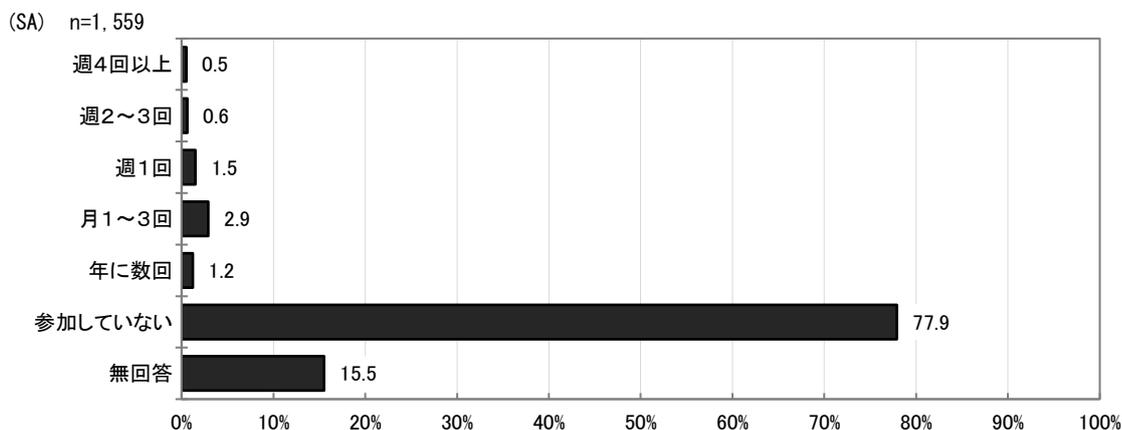
Q1④ 「学習・教養サークル」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が76.5%で最も高くなっています。「月1～3回」「年に数回」が2.6%となっています。



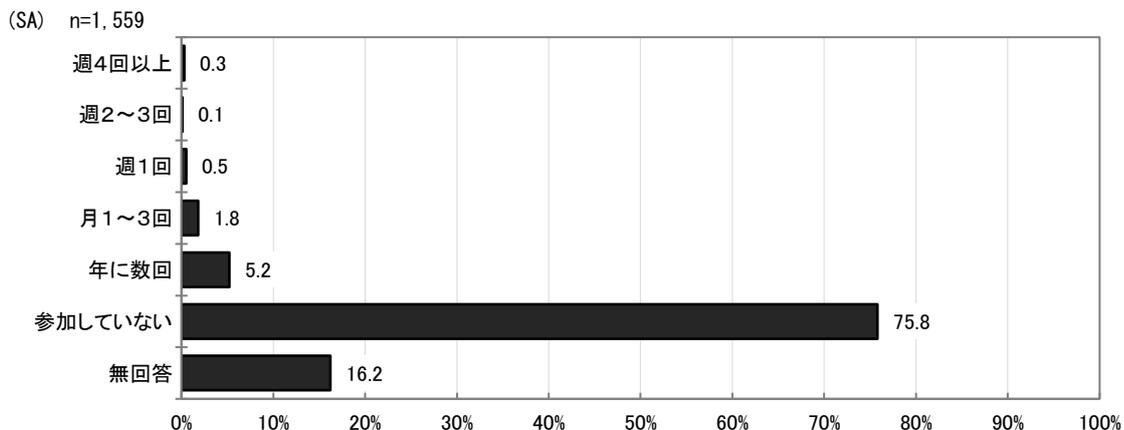
Q1⑤ 「(ふれあい・いきいきサロン など)介護予防のための通いの場」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が77.9%で最も高くなっています。「月1～3回」が2.9%、「週1回」が1.5%となっています。



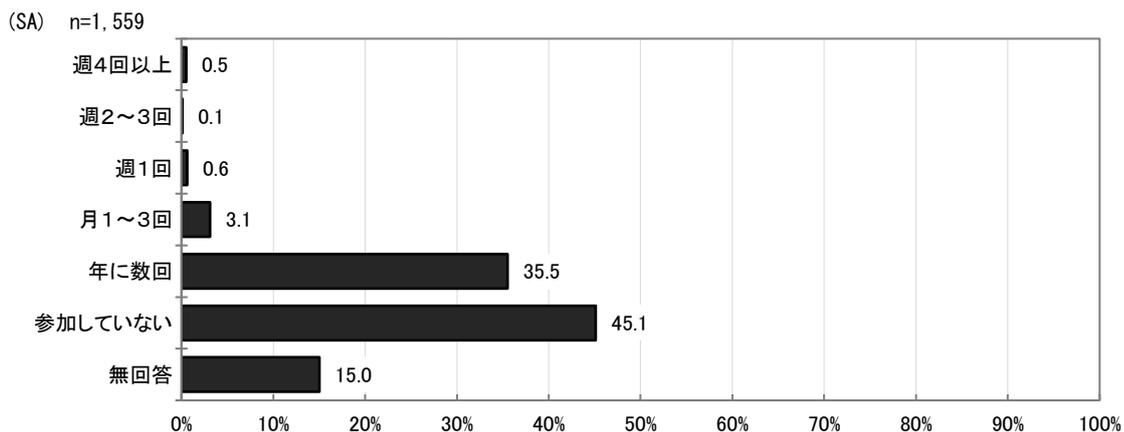
Q1⑥ 「老人クラブ」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が75.8%で最も高くなっています。「年に数回」が5.2%、「月1～3回」が1.8%となっています。



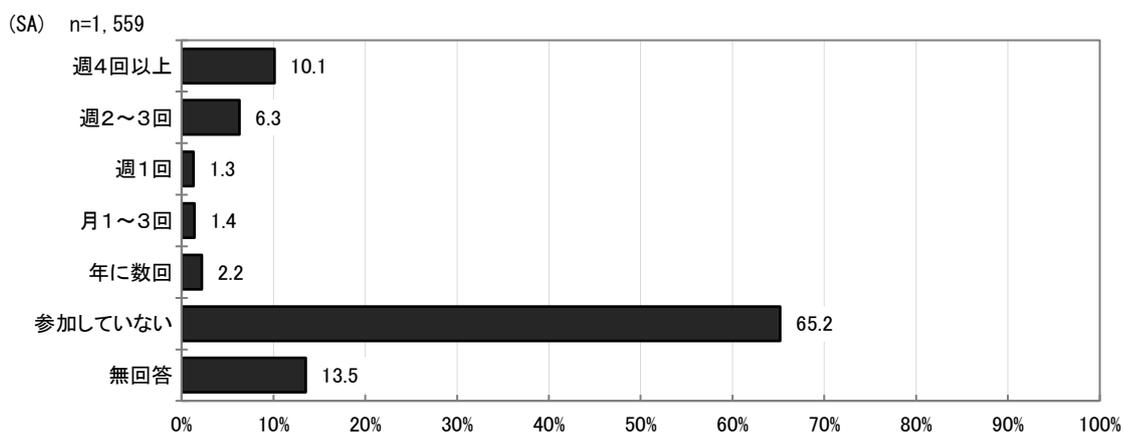
Q1⑦ 「自治会」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が45.1%で最も高くなっています。次いで「年に数回」が35.5%、「月1～3回」が3.1%が続いています。



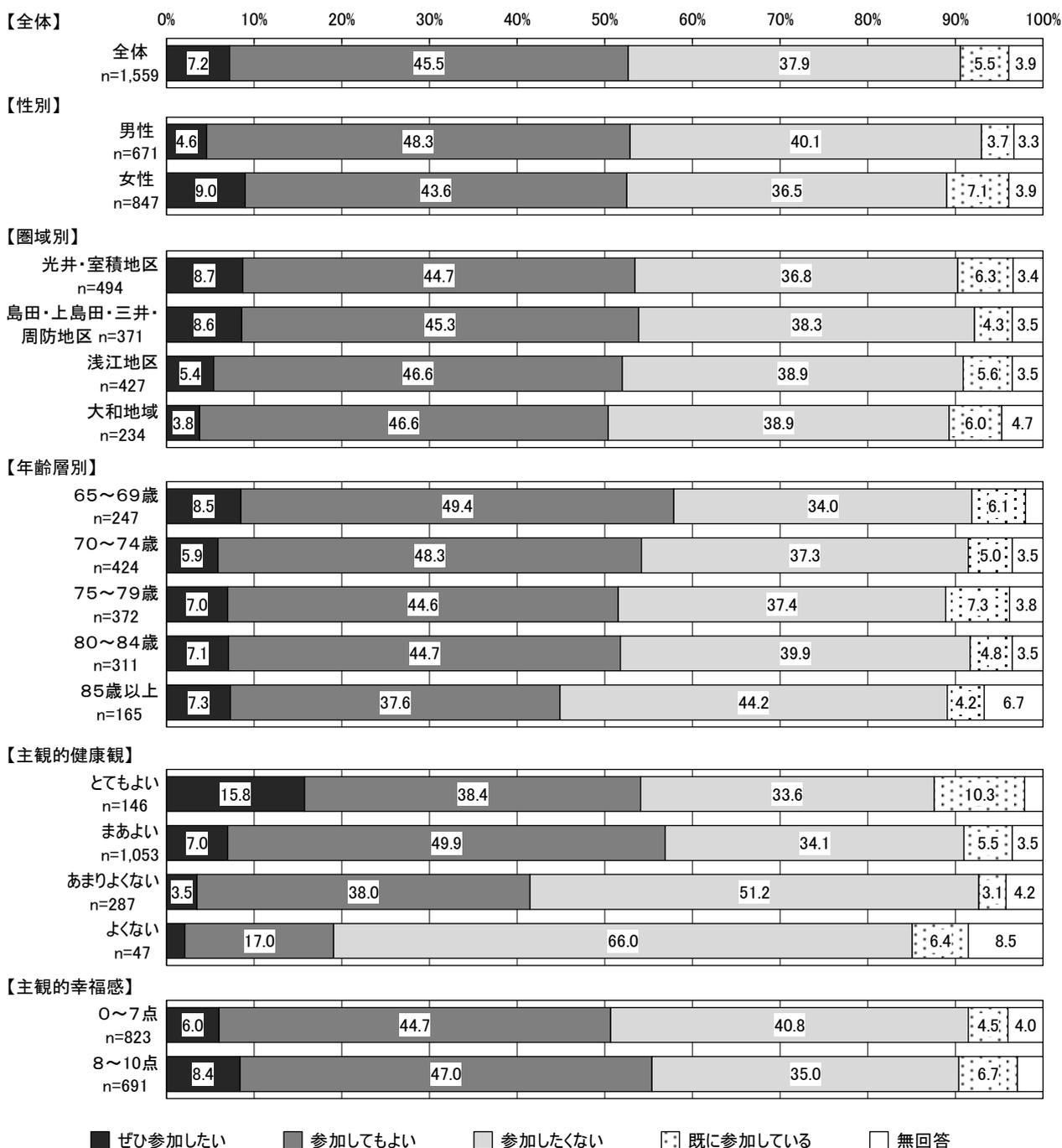
Q1⑧ 「収入のある仕事」にどのくらいの割合で参加していますか。

「参加していない」が65.2%で最も高くなっています。「週4回以上」が10.1%、「週2～3回」が6.3%となっています。



Q2 もし、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じて、いきいきした地域づくりがあった場合、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

- 【全体】 「参加してもよい」が 45.5%で最も高くなっています。次いで「参加したくない」が 37.9%、「ぜひ参加したい」が 7.2%で続いています。
- 【年齢層別】 『65～74 歳』では「参加してもよい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
『85 歳以上』では「参加したくない」の割合が高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「参加したくない」の割合が高くなっています。

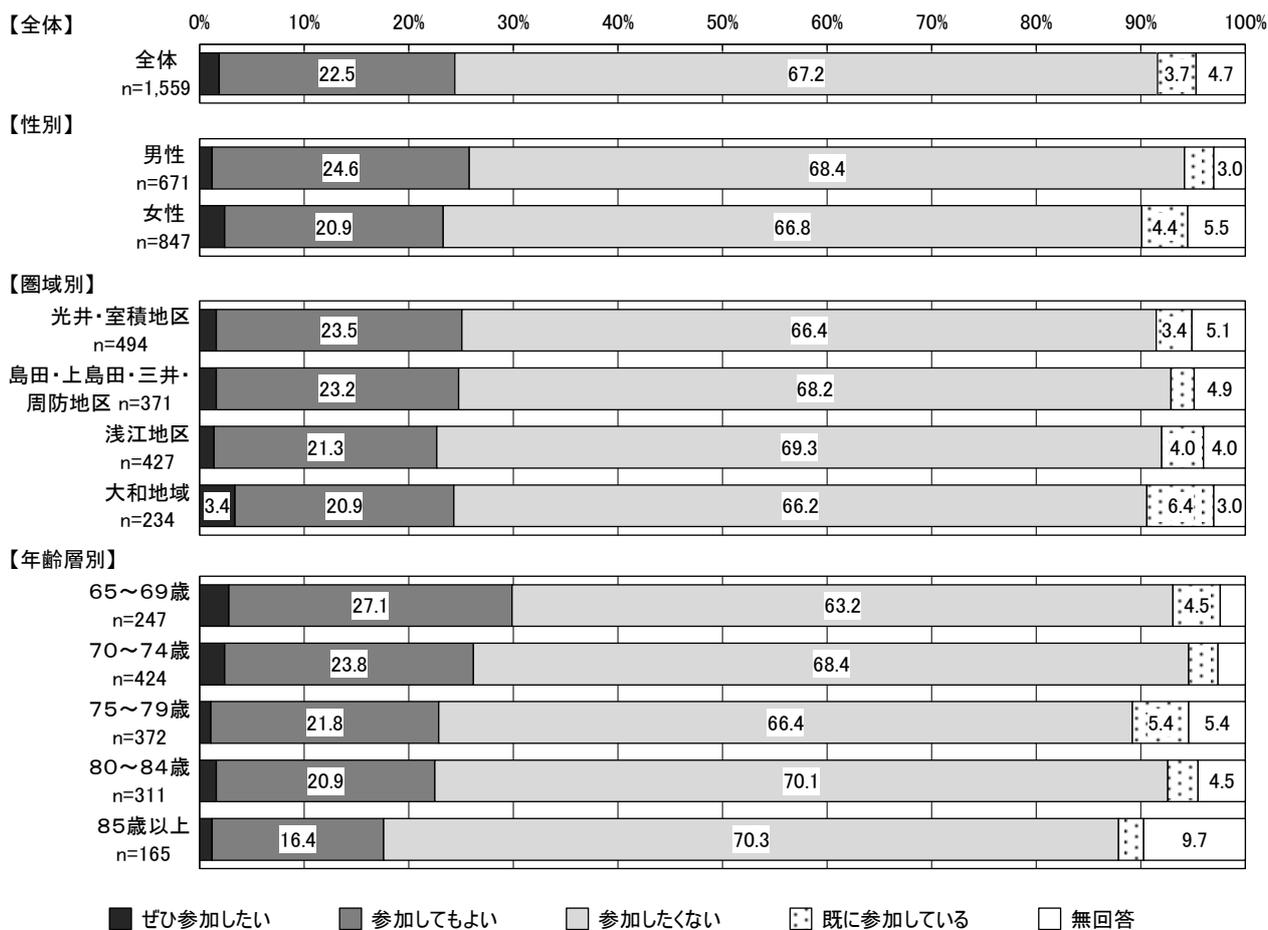


Q3 もし、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じて、いきいきした地域づくりがあった場合、あなたはその活動にお世話役(企画・運営)として参加してみたいと思いますか。

【全体】 「参加したくない」が67.2%で最も高くなっています。「参加してもよい」が22.5%、「既に参加している」が3.7%となっています。

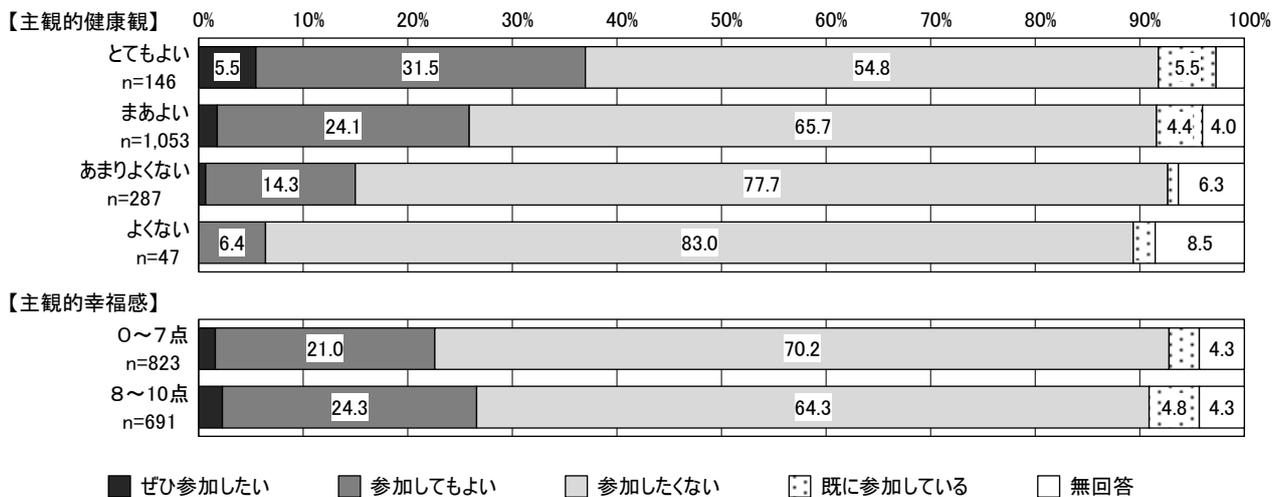
【年齢層別】 『65～69歳』では「参加してもよい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

『80歳以上』では「参加したくない」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「参加したくない」の割合が高くなっています。

【主観的幸福観】 『0～7点』では「参加したくない」の割合が高くなっています。



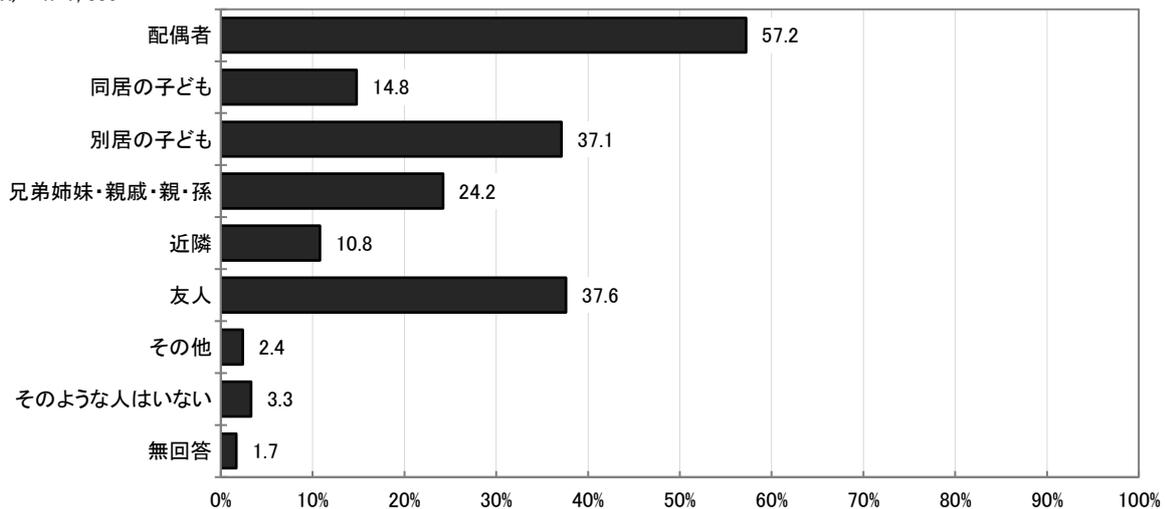
## 問6 たすけあいについて

Q1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(複数回答)

- 【全体】 「配偶者」が57.2%で最も高くなっています。次いで「友人」が37.6%、「別居の子ども」が37.1%で続いています。
- 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「配偶者」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『光井・室積地区』では「近隣」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
『大和地域』では「同居の子ども」の割合が高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が若いほど「配偶者」の割合が高くなっています。  
『65～69歳』では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。  
『65～79歳』では「友人」の割合が高くなっています。  
『85歳以上』では「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
配偶者	73.0	45.2
同居の子ども	10.7	17.9
別居の子ども	26.2	45.5
兄弟姉妹・親戚・親・孫	13.6	32.8
近隣	4.9	15.5
友人	21.9	50.3
その他	2.1	2.8
そのような人はいない	4.6	2.1
無回答	1.6	1.3

【圏域別】

	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
配偶者	59.1	58.0	55.0	57.3
同居の子ども	15.8	12.1	12.2	21.4
別居の子ども	38.3	36.1	39.6	32.1
兄弟姉妹・親戚・親・孫	24.9	22.4	25.3	24.4
近隣	14.6	8.4	7.7	12.4
友人	37.2	38.3	37.7	36.8
その他	2.4	3.5	2.1	1.7
そのような人はいない	2.2	3.0	4.7	3.4
無回答	2.0	0.5	1.4	1.7

【年齢層別】

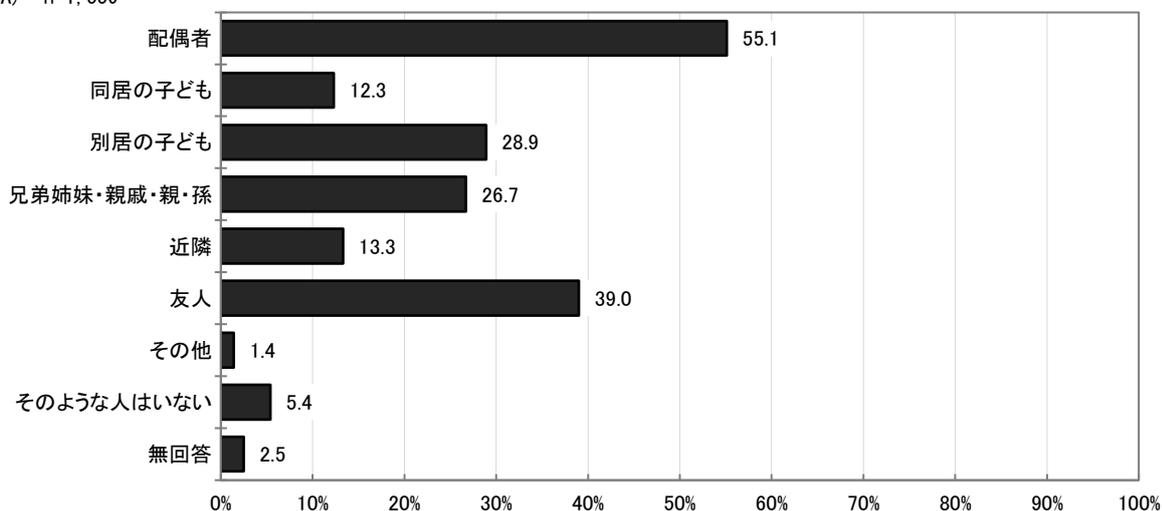
	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
配偶者	66.0	64.6	59.4	53.4	30.3
同居の子ども	16.2	13.2	13.7	12.9	21.2
別居の子ども	32.8	30.7	37.1	43.1	47.9
兄弟姉妹・親戚・親・孫	30.8	25.0	22.6	22.2	21.2
近隣	7.7	10.1	13.2	11.3	11.5
友人	42.9	42.0	43.0	31.8	18.2
その他	4.5	1.9	1.6	1.6	4.8
そのような人はいない	2.8	2.6	2.2	5.1	4.2
無回答	1.6	0.7	2.7	1.3	0.6

Q2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(複数回答)

- 【全体】 「配偶者」が 55.1%で最も高くなっています。次いで「友人」が 39.0%、「別居の子ども」が 28.9%が続いています。
- 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「配偶者」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『光井・室積地区』では「近隣」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
『大和地域』では「同居の子ども」の割合が他の地区に比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が若いほど「配偶者」の割合が高くなっています。  
『65～69歳』では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。  
『65～79歳』では「友人」の割合が高くなっています。  
『85歳以上』では「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
配偶者	73.6	41.2
同居の子ども	9.7	14.3
別居の子ども	22.7	34.0
兄弟姉妹・親戚・親・孫	16.7	34.8
近隣	6.0	18.9
友人	23.1	51.5
その他	0.4	2.2
そのような人はいない	7.3	3.7
無回答	1.8	2.7

【圏域別】

	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
配偶者	56.1	56.1	52.9	57.7
同居の子ども	12.3	10.8	9.8	18.4
別居の子ども	28.9	27.5	31.4	28.2
兄弟姉妹・親戚・親・孫	27.5	24.8	26.9	28.2
近隣	16.4	11.9	10.8	13.7
友人	40.1	38.8	38.9	36.3
その他	1.0	2.2	1.9	0.4
そのような人はいない	4.5	5.7	6.1	5.6
無回答	2.8	1.6	2.1	2.6

【年齢層別】

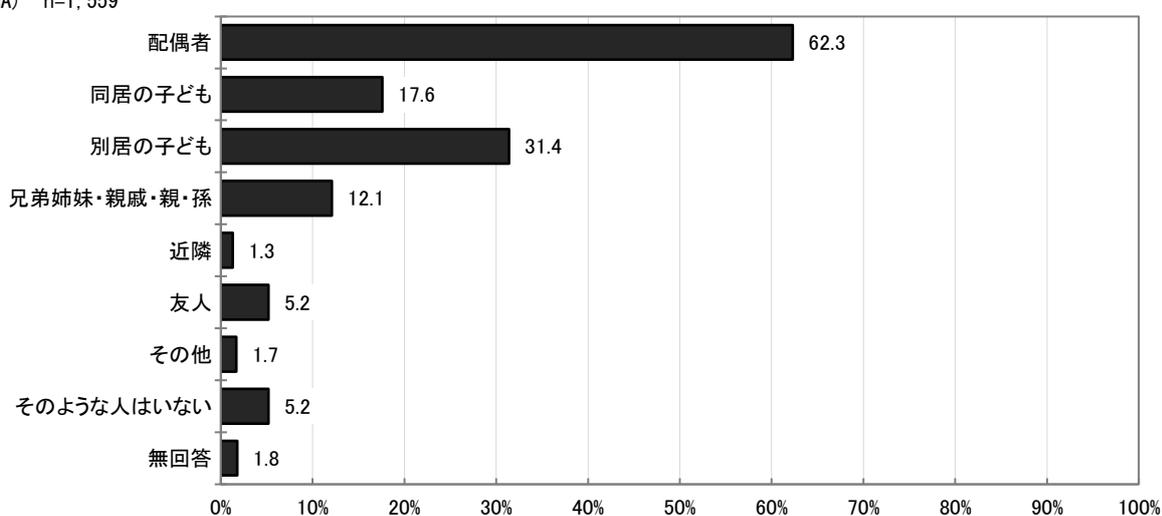
	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
配偶者	66.0	61.1	56.7	53.1	27.9
同居の子ども	16.2	12.0	10.8	9.6	14.5
別居の子ども	31.6	25.0	31.2	31.2	26.1
兄弟姉妹・親戚・親・孫	33.6	27.8	25.3	24.4	22.4
近隣	9.7	13.2	14.8	15.4	11.5
友人	44.1	42.0	44.9	33.1	20.0
その他	3.2	1.9	0.8	0.3	1.2
そのような人はいない	2.8	3.8	4.3	7.4	10.9
無回答	2.0	0.7	2.7	1.9	6.7

Q3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(複数回答)

- 【全体】 「配偶者」が62.3%で最も高くなっています。「別居の子ども」が31.4%、「同居の子ども」が17.6%となっています。
- 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「配偶者」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『大和地域』では「同居の子ども」の割合が他の地区に比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が若いほど「配偶者」の割合が高くなっています。  
『85歳以上』では「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
配偶者	77.0	51.4
同居の子ども	12.5	21.6
別居の子ども	23.1	37.9
兄弟姉妹・親戚・親・孫	9.2	14.5
近隣	0.3	2.2
友人	2.1	7.6
その他	0.9	2.4
そのような人はいない	5.2	5.2
無回答	1.2	1.9

【圏域別】

	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
配偶者	63.8	63.6	60.9	62.0
同居の子ども	18.2	17.5	13.8	23.1
別居の子ども	31.8	32.9	33.0	25.2
兄弟姉妹・親戚・親・孫	12.8	11.3	12.6	11.5
近隣	1.4	1.6	1.2	1.3
友人	3.8	5.4	7.5	3.0
その他	1.6	2.4	1.2	1.7
そのような人はいない	4.0	5.1	6.6	5.1
無回答	2.2	1.1	0.7	2.6

【年齢層別】

	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
配偶者	72.9	71.2	65.9	57.2	29.1
同居の子ども	18.6	14.9	16.4	17.0	25.5
別居の子ども	17.8	26.9	31.7	38.6	48.5
兄弟姉妹・親戚・親・孫	13.0	10.8	11.6	14.1	12.7
近隣	0.4	0.7	2.4	1.9	1.2
友人	4.0	6.1	5.6	5.8	1.8
その他	0.4	2.1	0.8	1.9	4.2
そのような人はいない	5.3	4.7	6.2	4.8	4.8
無回答	2.0	0.7	3.0	1.3	0.6

Q4 反対に、看病や世話をしあける人はどなたですか。(複数回答)

【全体】 「配偶者」が 64.3%で最も高くなっています。「別居の子ども」が 20.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 17.8%となっています。

【性別】 『男性』では『女性』と比べて「配偶者」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。

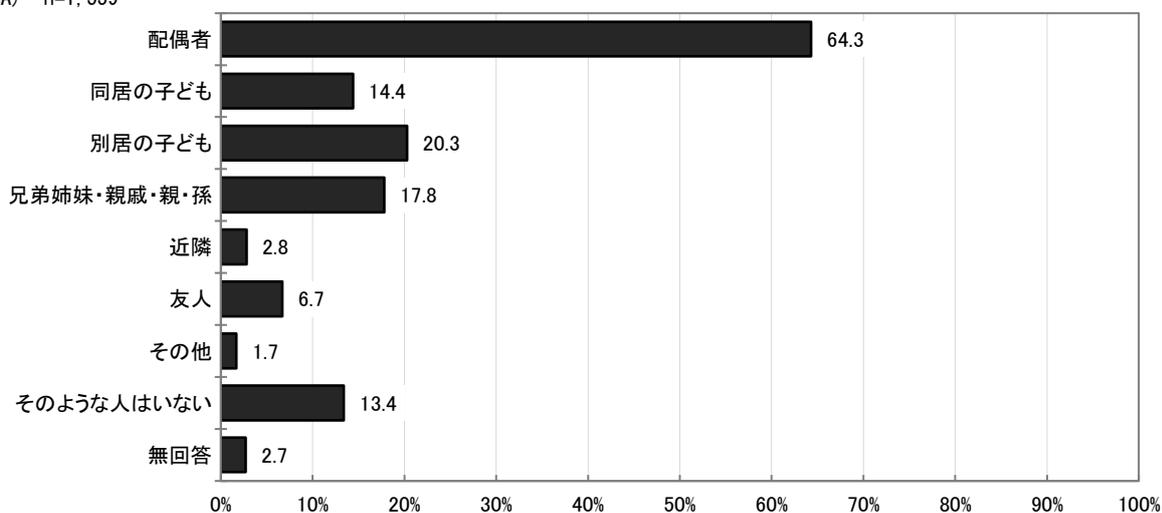
【圏域別】 『大和地域』では「同居の子ども」の割合が他の地区に比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が若いほど「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

『80歳以上』では「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
配偶者	76.0	55.6
同居の子ども	10.6	17.6
別居の子ども	14.3	25.1
兄弟姉妹・親戚・親・孫	11.0	23.4
近隣	1.5	3.9
友人	3.7	8.6
その他	1.2	2.2
そのような人はいない	12.8	13.9
無回答	1.6	3.1

【圏域別】

	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
配偶者	66.4	65.2	62.8	63.2
同居の子ども	14.8	12.7	11.9	20.9
別居の子ども	18.8	22.1	19.9	21.4
兄弟姉妹・親戚・親・孫	17.6	19.1	17.8	17.1
近隣	3.4	1.9	2.3	3.8
友人	4.5	7.0	8.4	6.0
その他	2.0	2.2	1.9	0.4
そのような人はいない	11.9	14.8	13.6	15.0
無回答	2.8	2.2	2.1	2.6

【年齢層別】

	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
配偶者	72.9	73.8	67.5	58.8	33.9
同居の子ども	18.6	11.8	15.3	12.5	17.0
別居の子ども	22.7	22.6	20.4	17.4	16.4
兄弟姉妹・親戚・親・孫	27.1	19.8	15.3	16.1	9.1
近隣	1.2	2.6	4.3	2.6	3.0
友人	5.7	7.5	6.5	7.4	2.4
その他	2.4	1.7	0.5	1.3	4.8
そのような人はいない	7.3	8.5	11.6	19.0	29.1
無回答	1.6	0.9	4.0	2.3	4.2

## 問7 健康について

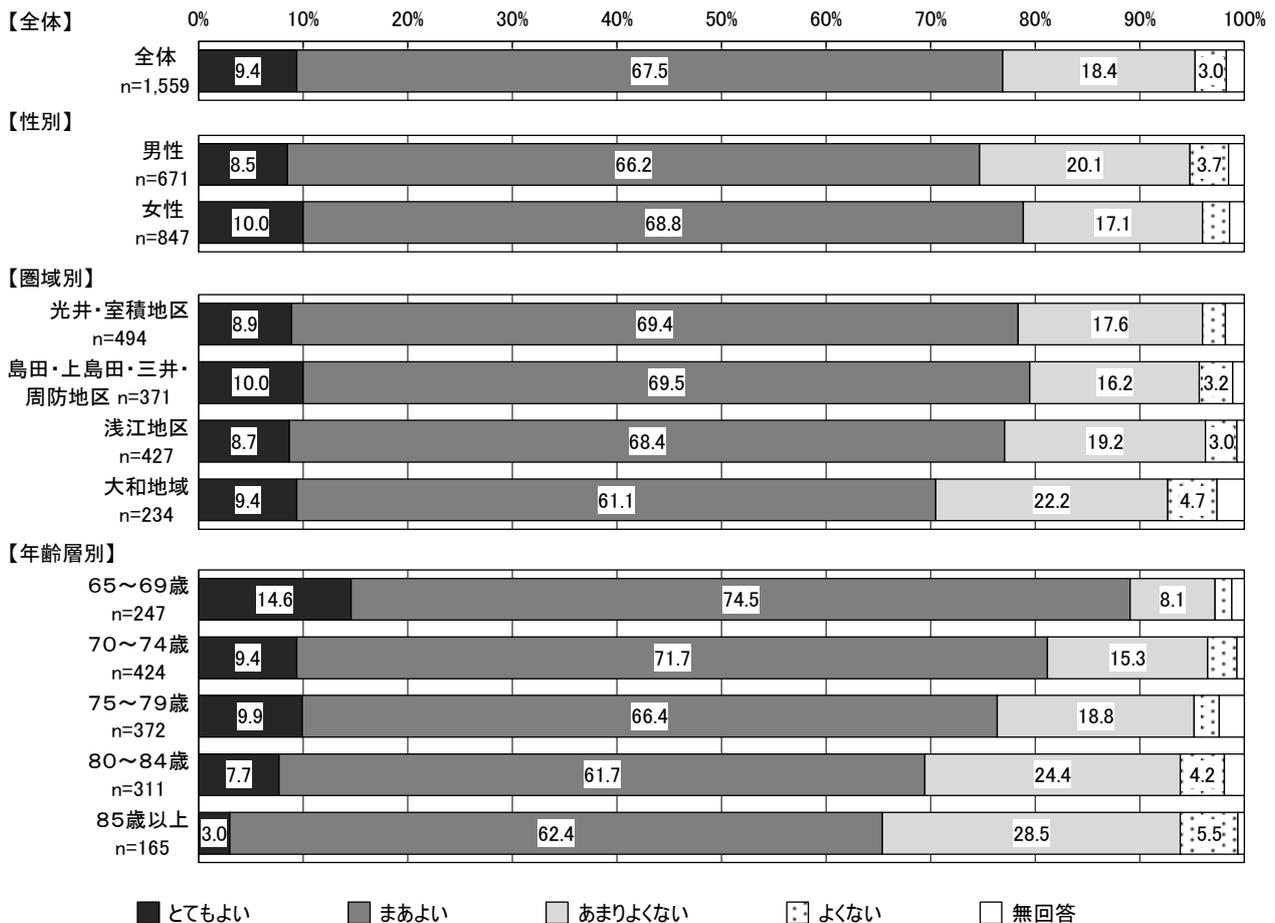
Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【主観的健康感に関する設問】

「とてもよい」と「まあよい」を「よい」、「あまりよくない」「よくない」を「よくない」と位置付けて表記しています。

【全体】 「よい」が76.9%、「よくない」が21.4%となっています。

【圏域別】 『大和地域』では「よくない」の割合が他の地区に比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「よくない」の割合が高くなっています。



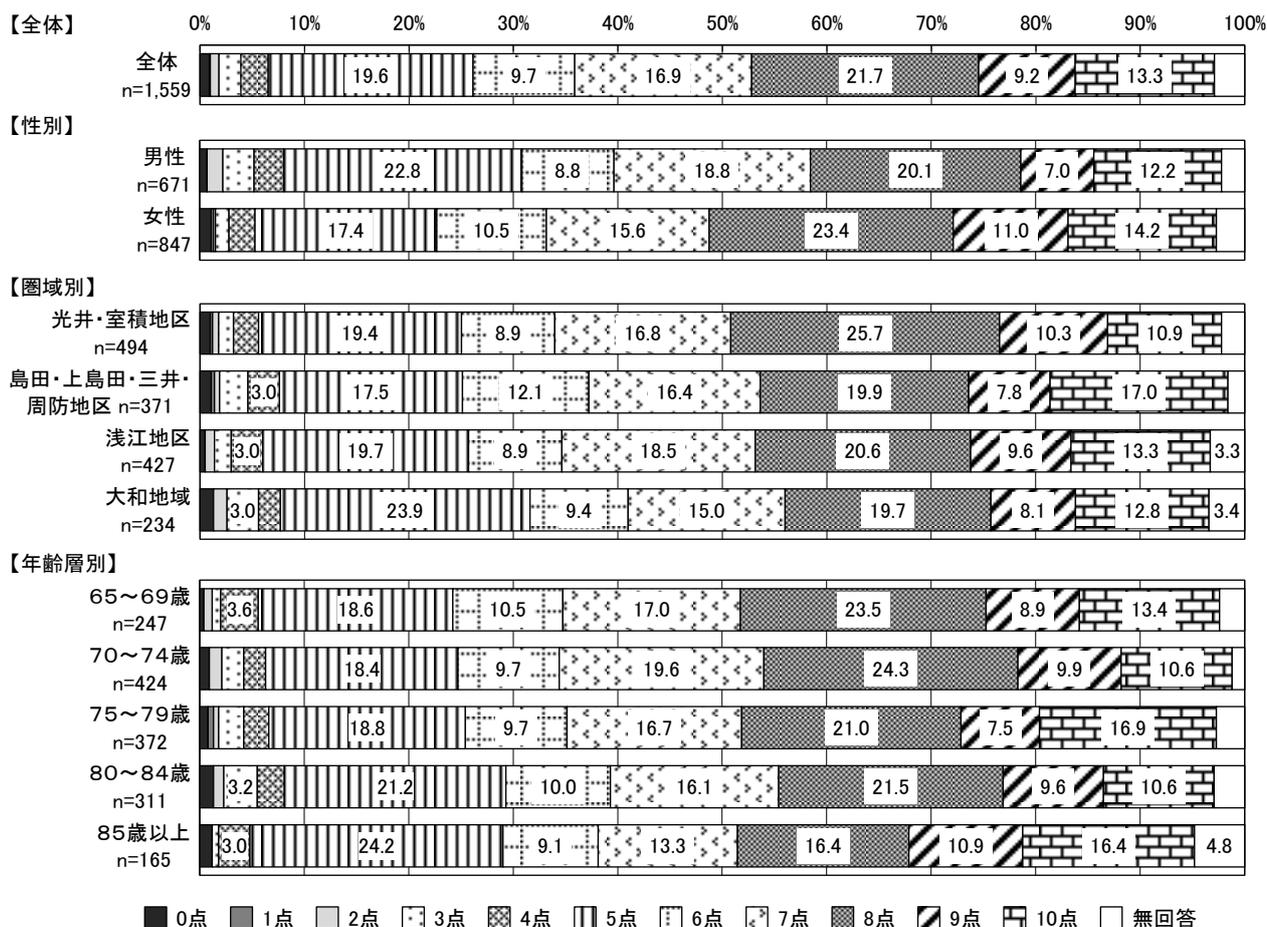
Q2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)【主観的幸福感に関する設問】

【全 体】 「8点」が21.7%で最も高くなっています。次いで「5点」が19.6%、「7点」が16.9%が続いています。

【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「5点」の割合が高くなっています。

【圏域別】 『光井・室積地区』では「8点」、『大和地域』では「5点」の割合が他の地区に比べて高くなっています。

【年齢層別】 『75～79歳』『85歳以上』では「10点」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。



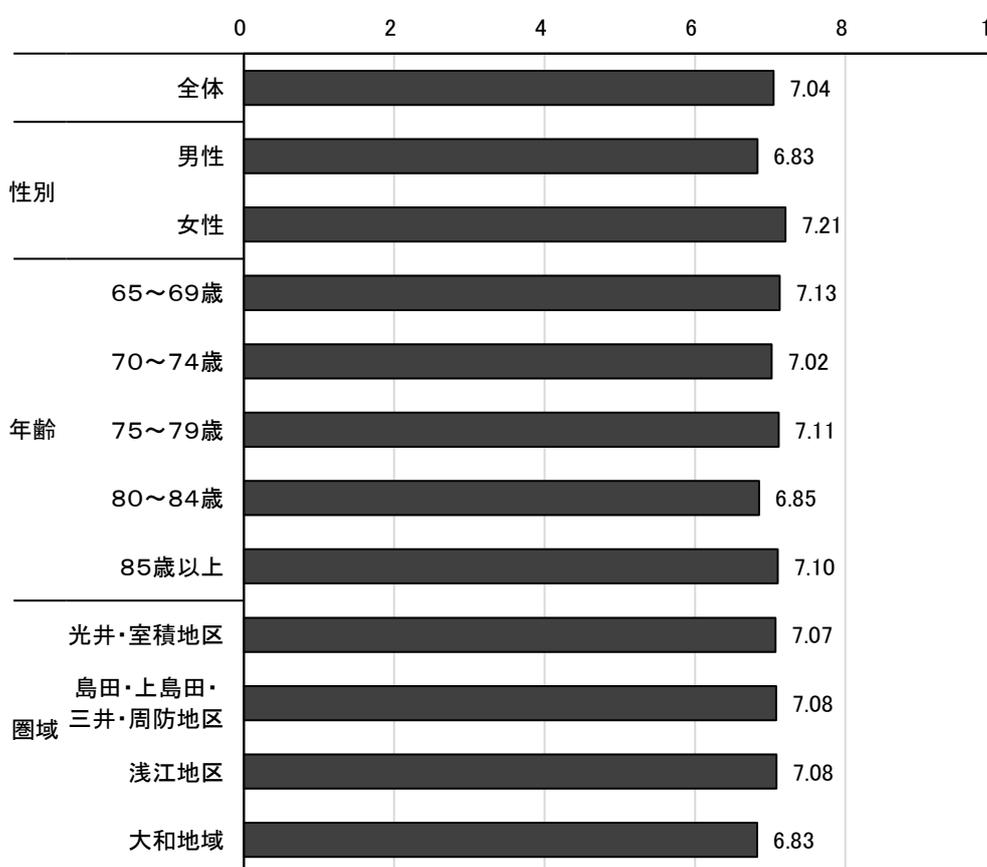
## Q2 主観的幸福感の平均点

各属性で「主観的幸福感の平均点(回答者の平均)」をみると次のとおりになります。

- 【全体】 主観的幸福感の平均点は、7.04点と前期調査(7.02)よりも0.02上回っています。
- 【性別】 主観的幸福感の平均点は、『男性』が6.83点(前期調査結果:6.81点)、『女性』が7.21点(前期調査結果:7.20点)と『男性』に比べて『女性』が高くなっています。
- 【圏域別】 主観的幸福感の平均点は、浅江地区(7.08点、前期調査結果:7.14点)、島田・上島田・三井・周防地区(7.08点、前期調査結果:7.02点)、光井・室積地区(7.07点、前期調査結果:6.96点)、大和地区(6.83点、前期調査結果:6.92点)の順で高くなっています。
- 【年齢層別】 主観的幸福感の平均点は、65～69歳が7.13点と最も高く、80～84歳が6.85点と最も低くなっています。

### ■主観的幸福感の平均点(性別、年齢別、圏域別)

(点)



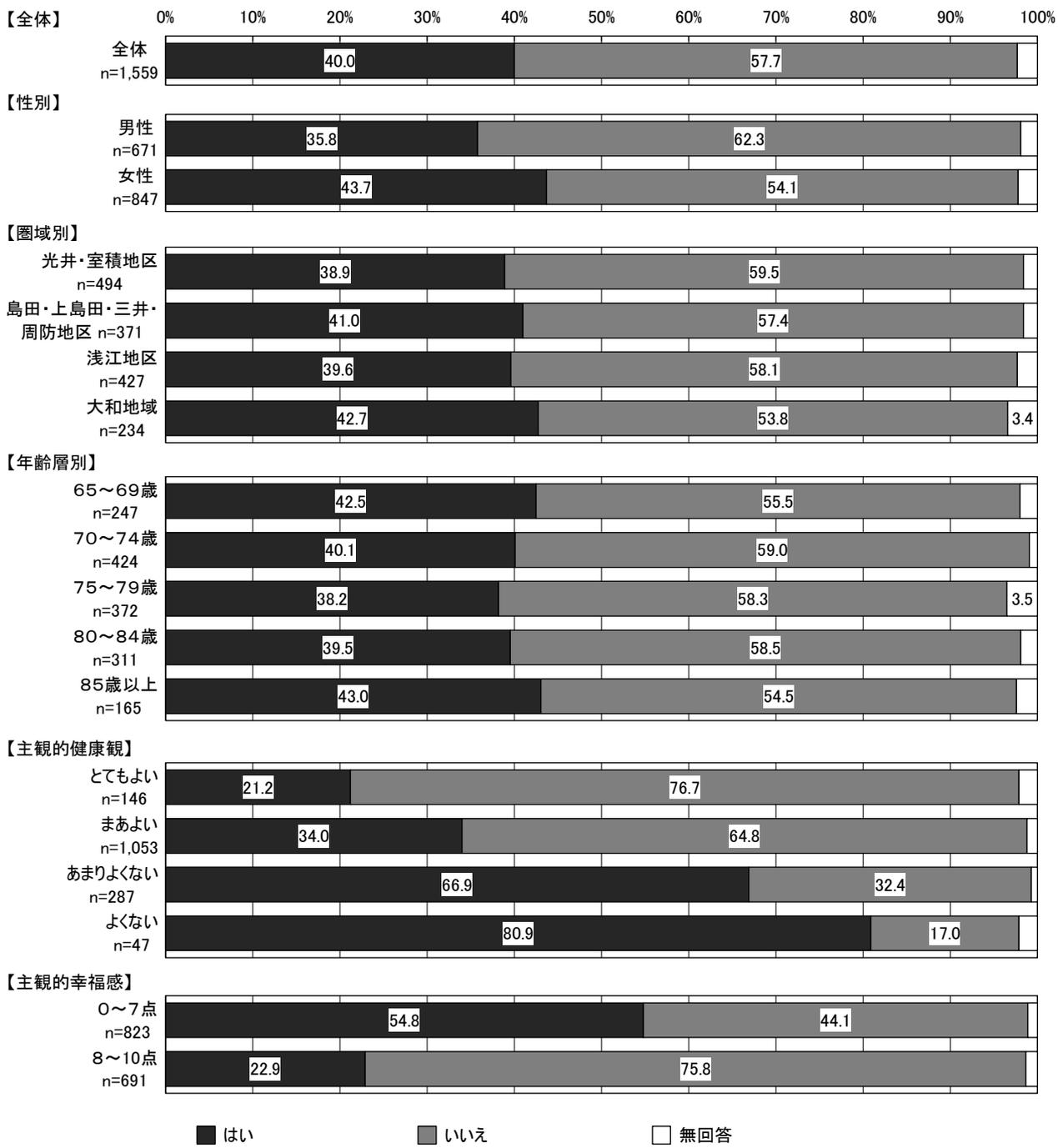
### ■主観的幸福感の平均点(年齢別前回比較)

(%)

区分	① 今期調査 平均点	② 前期調査 平均点	①-②
65～69歳	7.13	7.06	0.07
70～74歳	7.02	7.13	-0.11
75～79歳	7.11	6.97	0.14
80～84歳	6.85	6.95	-0.10
85歳以上	7.10	6.88	0.22

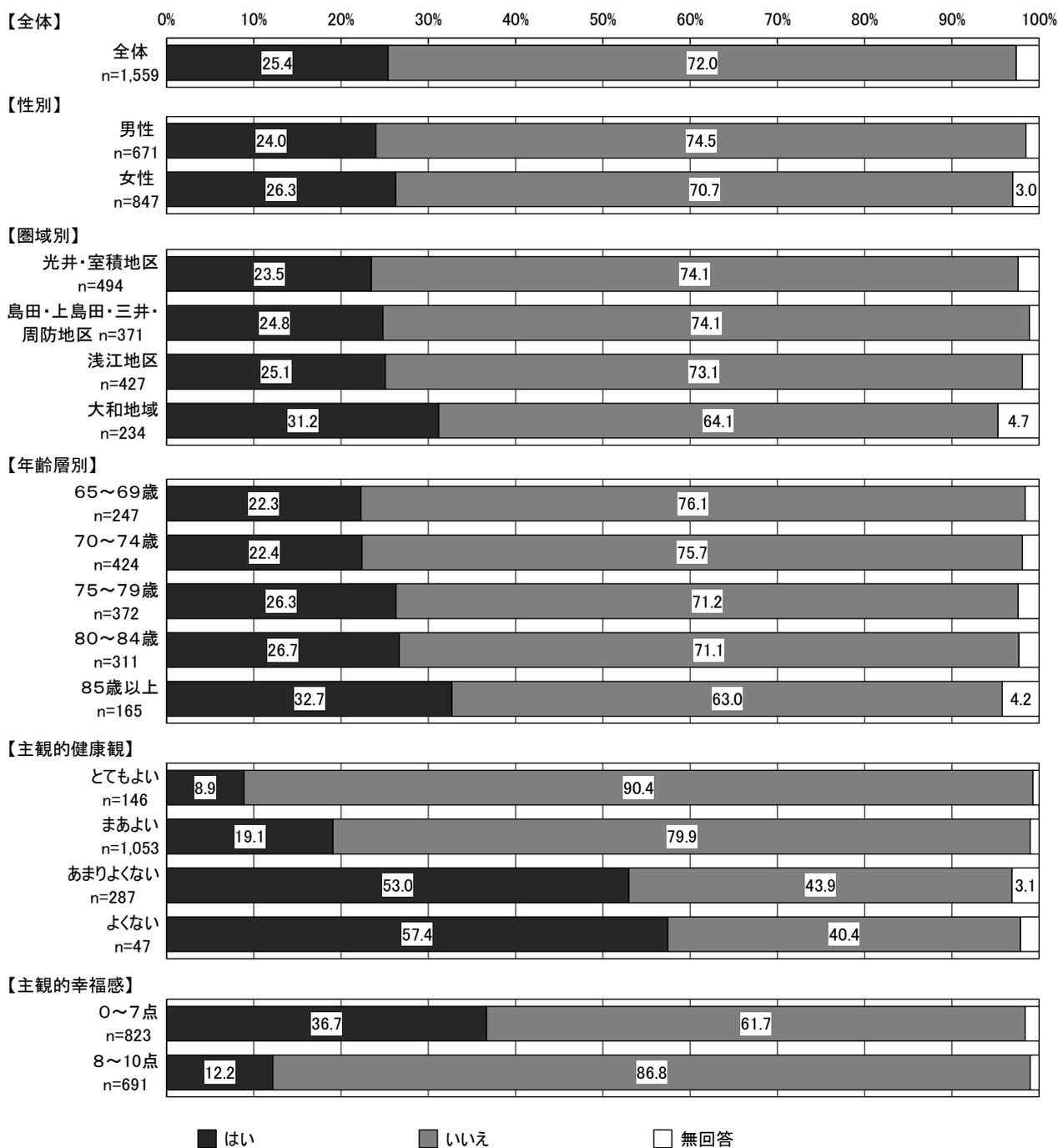
Q3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

【全体】 「いいえ」が57.7%を占めています。  
 【性別】 『女性』では『男性』と比べて「はい」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「はい」の割合が高くなっています。  
 【主観的幸福観】 『0～7点』では「はい」の割合が高くなっています。



Q4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない気持ちがよくありましたか。

- 【全体】 「いいえ」が72.0%を占めています。
- 【圏域別】 『大和地域』では「はい」の割合が他の地域と比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 『85歳以上』では「はい」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「はい」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福観】 『0～7点』では「はい」の割合が高くなっています。



## Q5 タバコは吸っていますか。

【全 体】 「もともと吸っていない」が 62.5%で最も高くなっています。「吸っていたがやめた」が 28.9%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.0%となっています。

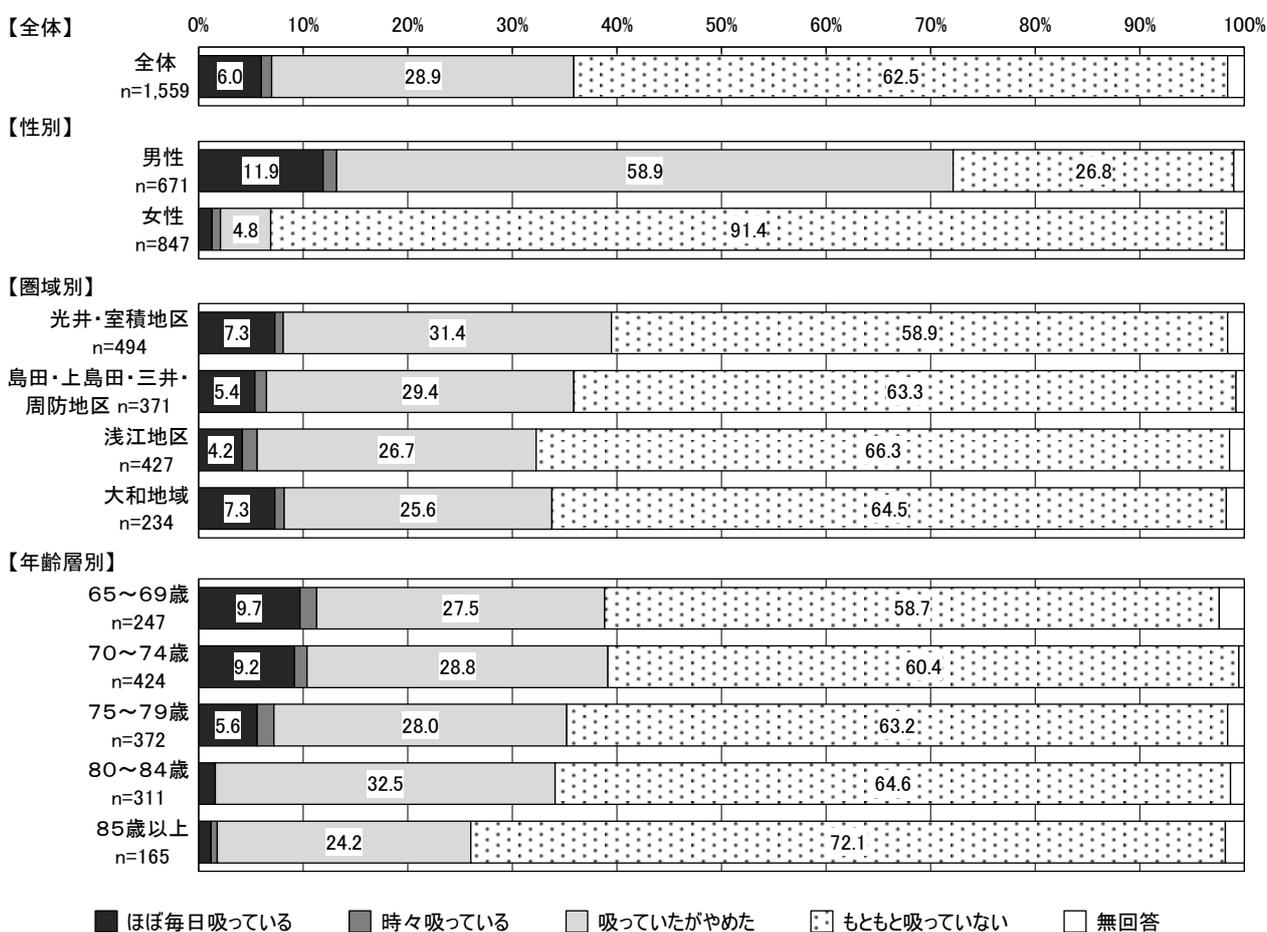
【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。

『女性』では『男性』と比べて「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。

【圏 域 別】 『光井・室積地区』『島田・上島田・三井・周防地区』では「吸っていたがやめた」の割合が他の地域と比べて高くなっています。

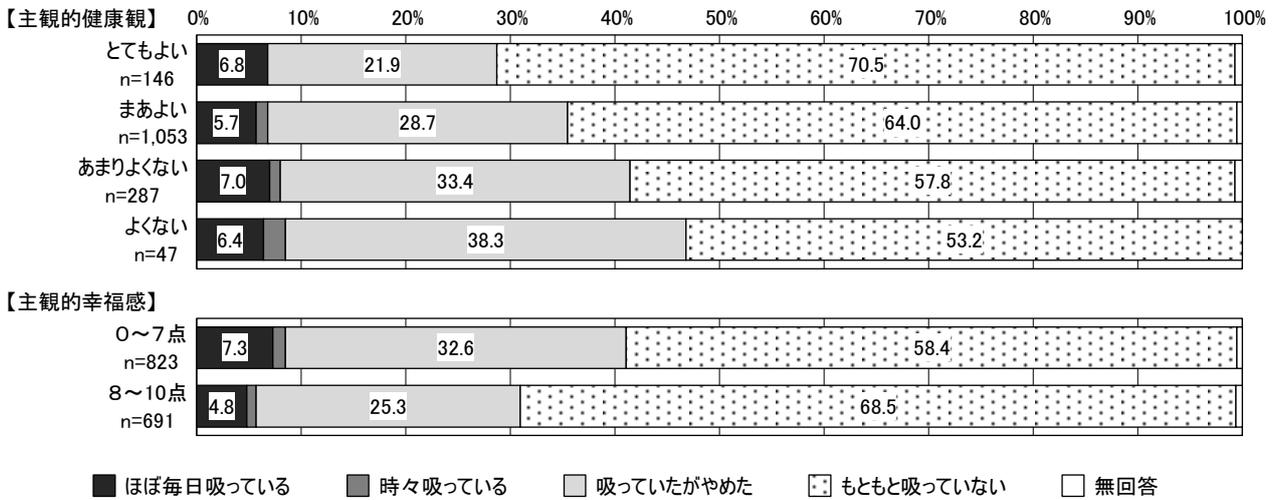
【年齢層別】 『80～84 歳』では「吸っていたがやめた」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

『85 歳以上』では「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『とてもよい』『まあよい』では「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。

【主観的幸福観】 『8～10点』では「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



Q6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

【全 体】 「高血圧」が 45.7%で最も高くなっています。「目の病気」が 20.1%、「ない」が 15.4%となっています。

【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「心臓病」「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」の割合が高くなっています。

『女性』では『男性』と比べて「高脂血症(脂質異常)」「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が高くなっています。

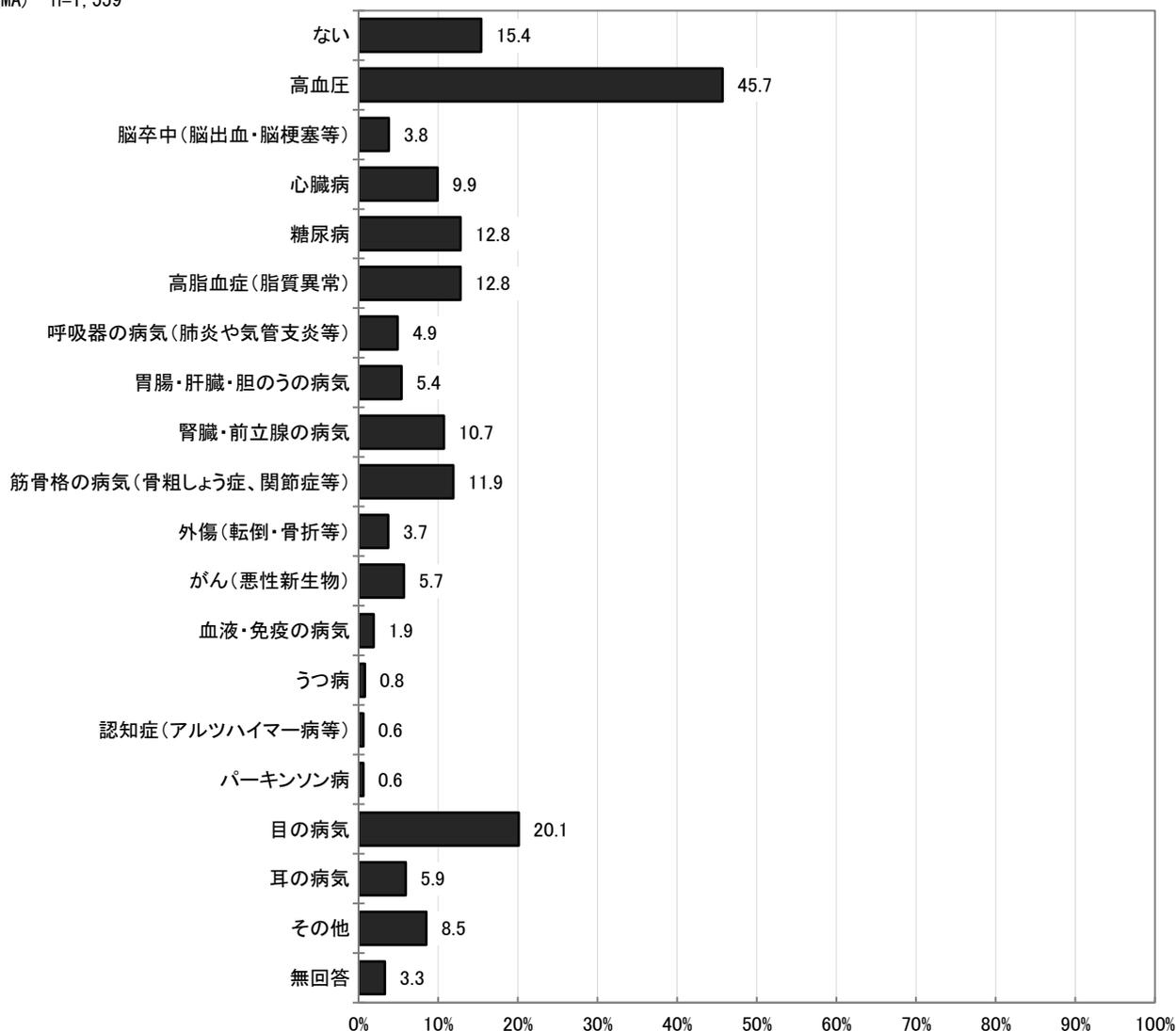
【圏 域 別】 『大和地域』では「目の病気」の割合が他の地域と比べて高くなっています。

【年齢層別】 『80～84 歳』では「心臓病」「糖尿病」の割合が高くなっています。

『80 歳以上』では「高血圧」、『85 歳以上』では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」「目の病気」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



## 【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
ない	16.4	15.0
高血圧	46.2	45.1
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	5.5	2.5
心臓病	12.7	7.4
糖尿病	15.4	10.6
高脂血症(脂質異常)	9.2	15.7
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	5.8	4.1
胃腸・肝臓・胆のうの病気	6.3	4.7
腎臓・前立腺の病気	21.9	2.0
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	4.3	18.2
外傷(転倒・骨折等)	1.6	5.4
がん(悪性新生物)	6.9	4.8
血液・免疫の病気	1.9	1.9
うつ病	0.7	0.9
認知症(アルツハイマー病等)	0.6	0.6
パーキンソン病	0.7	0.6
目の病気	19.8	20.5
耳の病気	7.5	4.6
その他	6.1	10.6
無回答	2.1	3.9

## 【圏域別】

	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
ない	17.0	15.6	15.9	11.5
高血圧	48.0	43.7	45.4	44.9
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4.3	3.0	3.7	4.3
心臓病	10.7	11.1	8.4	8.1
糖尿病	10.9	13.7	13.8	12.8
高脂血症(脂質異常)	12.1	11.6	14.1	14.1
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	5.1	4.3	4.9	5.6
胃腸・肝臓・胆のうの病気	6.1	4.0	5.2	7.3
腎臓・前立腺の病気	10.5	10.8	12.2	9.0
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	12.6	13.2	11.0	11.5
外傷(転倒・骨折等)	3.8	4.9	3.3	2.6
がん(悪性新生物)	5.9	5.7	6.6	3.8
血液・免疫の病気	1.6	2.4	1.6	2.6
うつ病	0.6	0.5	1.4	0.9
認知症(アルツハイマー病等)	0.6	-	0.5	1.7
パーキンソン病	0.6	1.3	0.5	-
目の病気	18.6	17.5	19.4	29.5
耳の病気	4.0	7.3	5.2	9.0
その他	8.1	8.4	9.1	8.5
無回答	4.0	2.2	2.3	4.3

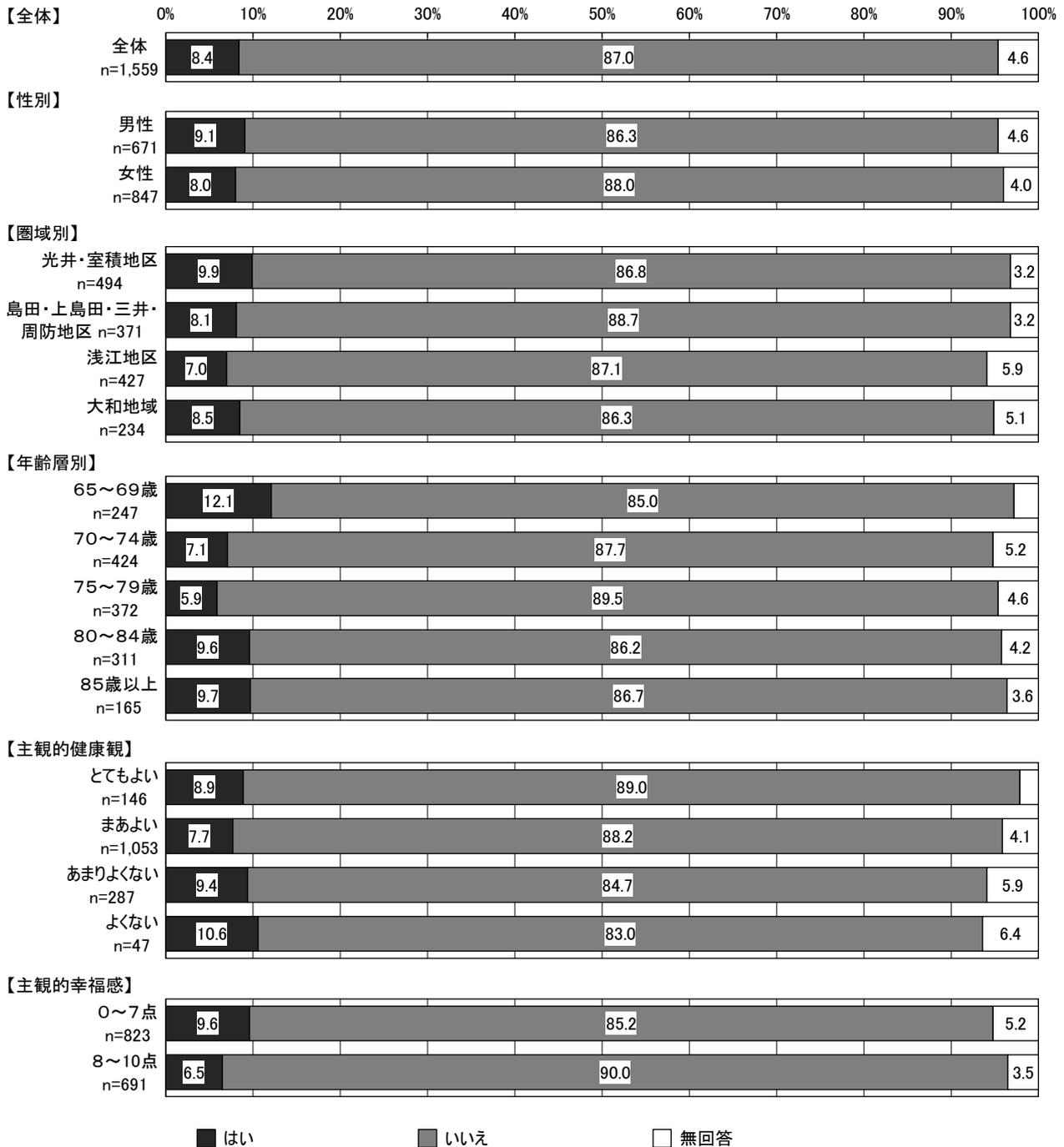
## 【年齢層別】

	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
ない	21.5	19.1	14.2	11.3	9.1
高血圧	40.5	38.9	47.6	51.1	55.8
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	0.4	3.1	5.1	5.5	4.8
心臓病	4.0	6.4	9.4	17.0	13.9
糖尿病	9.3	13.9	11.6	16.7	9.7
高脂血症(脂質異常)	14.2	15.3	13.7	9.3	9.1
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	2.8	5.4	4.3	4.8	6.7
胃腸・肝臓・胆のうの病気	7.3	4.7	5.9	4.8	4.2
腎臓・前立腺の病気	5.7	9.0	11.8	14.5	13.9
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	7.7	10.1	11.8	13.8	21.2
外傷(転倒・骨折等)	1.2	2.6	3.2	4.8	9.7
がん(悪性新生物)	4.9	5.9	6.7	6.1	3.0
血液・免疫の病気	2.4	0.5	1.6	2.6	3.6
うつ病	1.6	0.9	0.5	1.0	-
認知症(アルツハイマー病等)	-	-	0.3	1.6	1.8
パーキンソン病	0.4	0.9	0.3	0.6	1.2
目の病気	16.2	16.5	22.0	22.5	27.3
耳の病気	3.6	4.2	6.5	8.0	8.5
その他	10.1	10.8	6.5	7.7	7.3
無回答	3.6	2.1	4.6	3.2	1.2

## 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

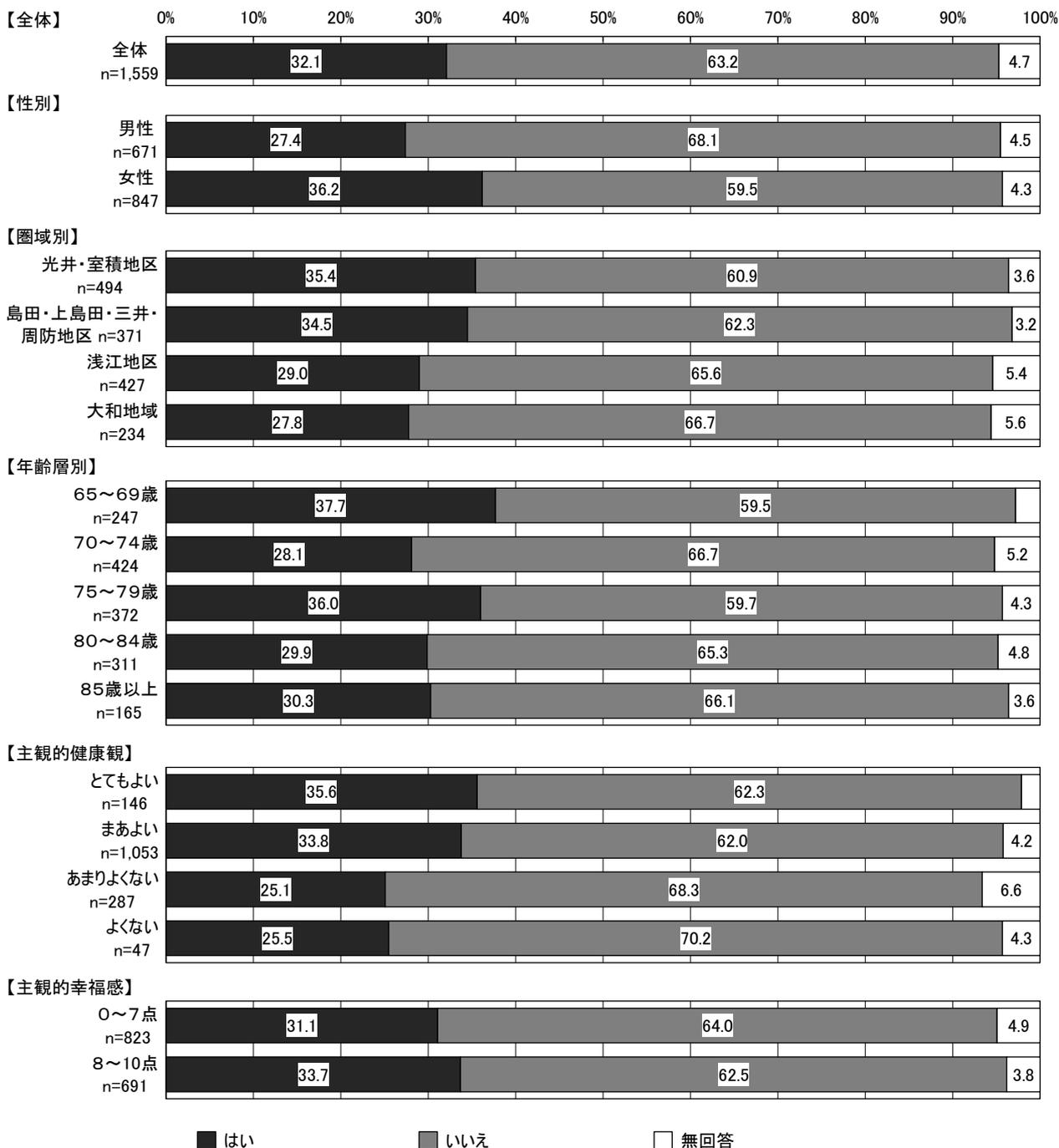
Q1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

【全体】 「いいえ」が87.0%を占めています。



Q2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

【全 体】 「いいえ」が63.2%を占めています。  
 【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「いいえ」の割合が高くなっています。  
 【圏 域 別】 『浅江地区』『大和地域』では「いいえ」の割合が他の地域と比べて高くなっています。  
 【年齢層別】 『70～74 歳』『80 歳以上』では「いいえ」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「いいえ」の割合が高くなっています。



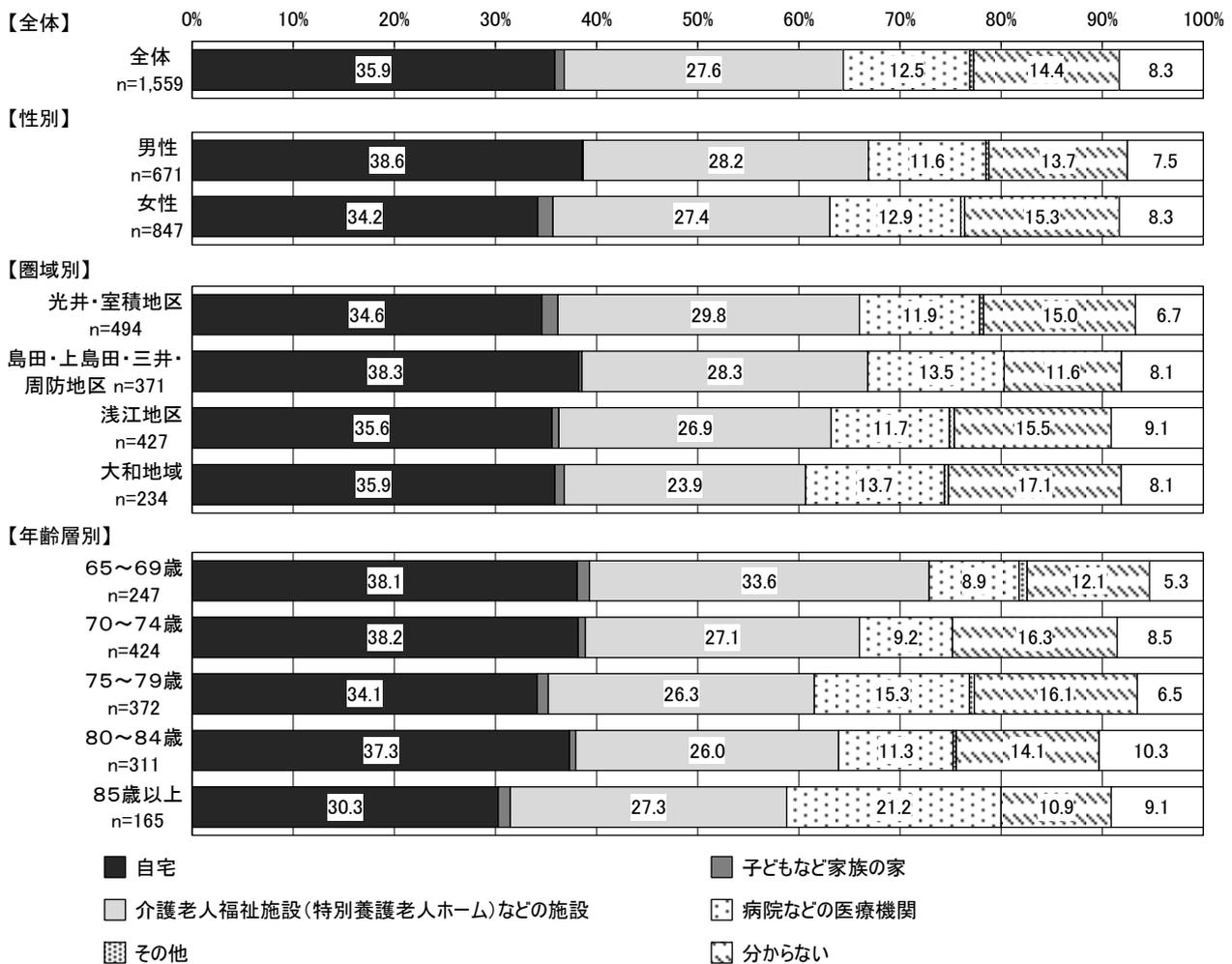
## 問9 その他

Q1 もし、あなたが日常生活を送る上で常時介護が必要になった場合(または現在必要としている場合)、どこで介護を受けたいですか(受けていますか)。

【全体】 「自宅」が35.9%で最も高くなっています。次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの施設」が27.6%、「分からない」が14.4%が続いています。

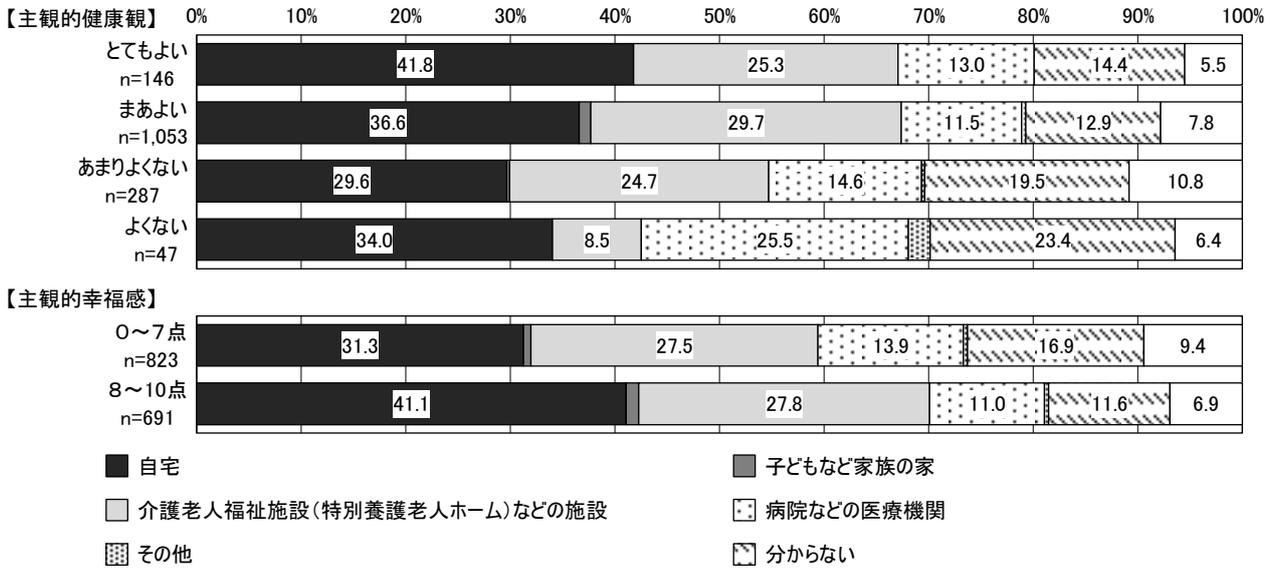
【年齢層別】 『65～69歳』では「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの施設」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

『85歳以上』では「病院などの医療機関」の割合が高くなっています。



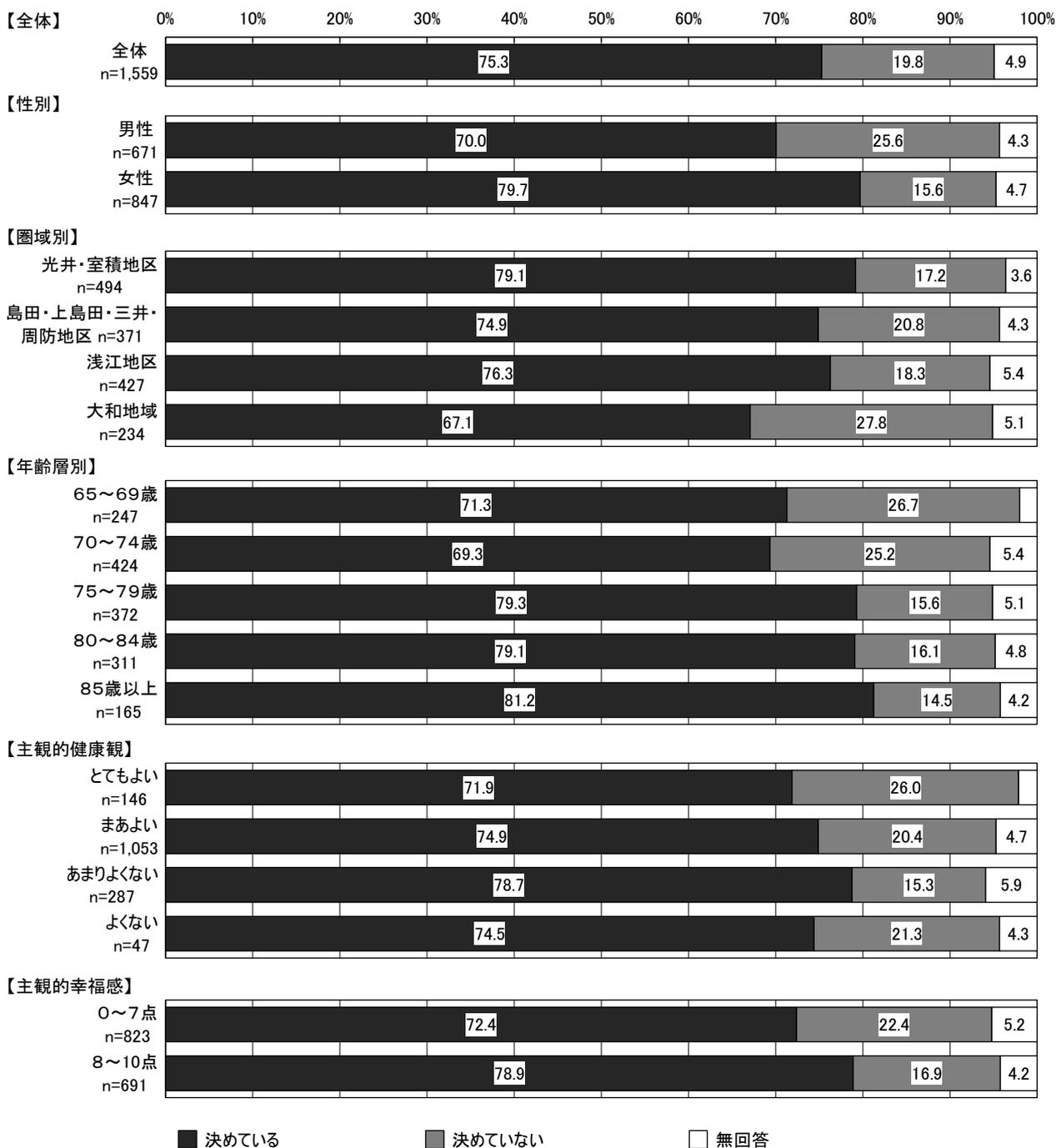
【主観的健康観】 『よくない』では「病院などの医療機関」「分からない」、『あまりよくない』では「分からない」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「分からない」の割合が高くなっています。



Q2-1 あなたは、診療や治療、健康相談をする「かかりつけ医」を決めていますか。

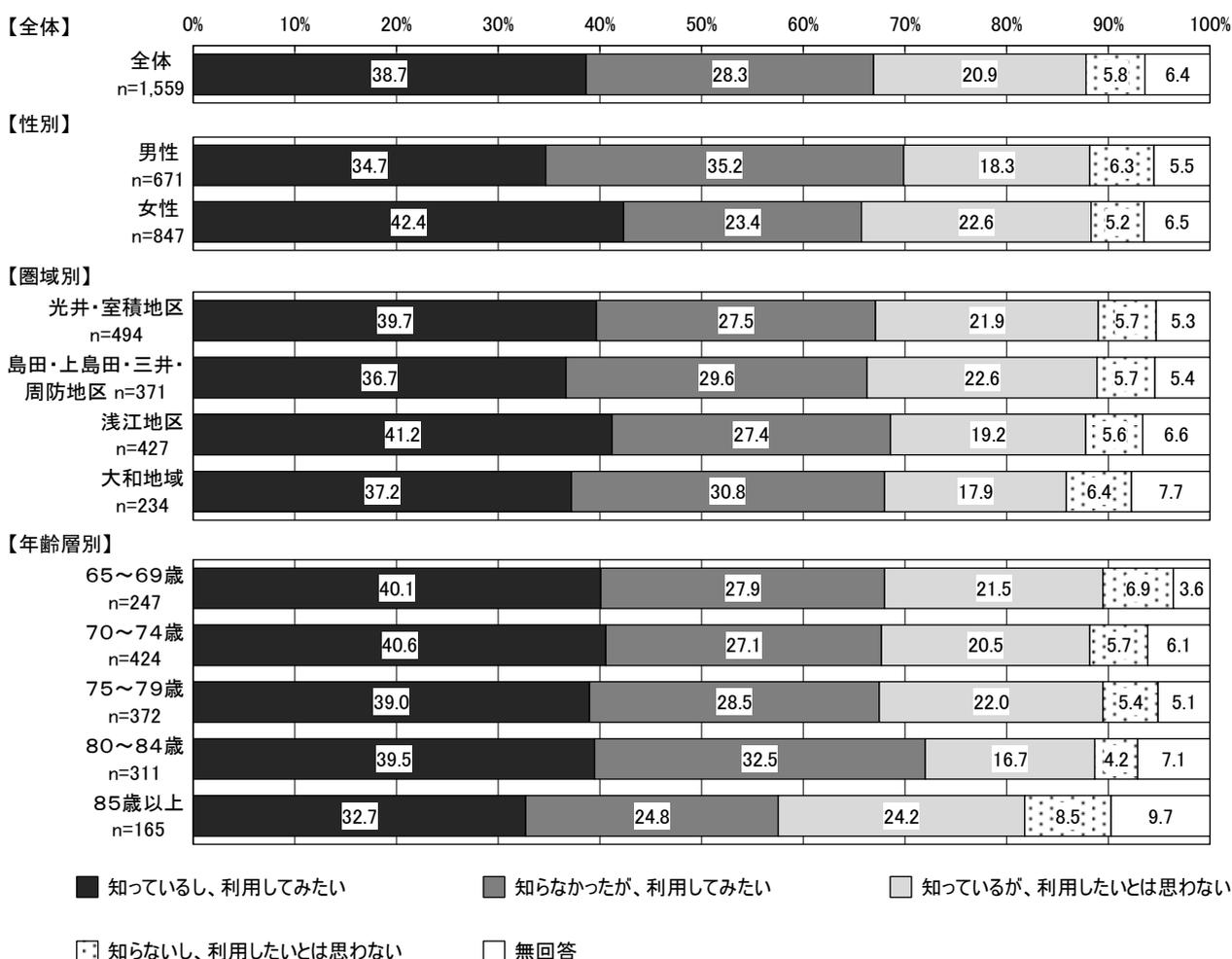
【全体】 「決めている」が75.3%を占めています。  
 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「決めていない」の割合が高くなっています。  
 【圏域別】 『大和地域』では「決めていない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
 【年齢層別】 『65～74歳』では「決めていない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
 【主観的幸福感】 『0～7点』では「決めていない」の割合が高くなっています。



Q2-2 通院できなくなった場合などに、医師や看護師等の訪問を受けながら自宅で治療・療養する「在宅医療(訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療など)」という方法をご存じですか。また、利用してみたいと思いますか。

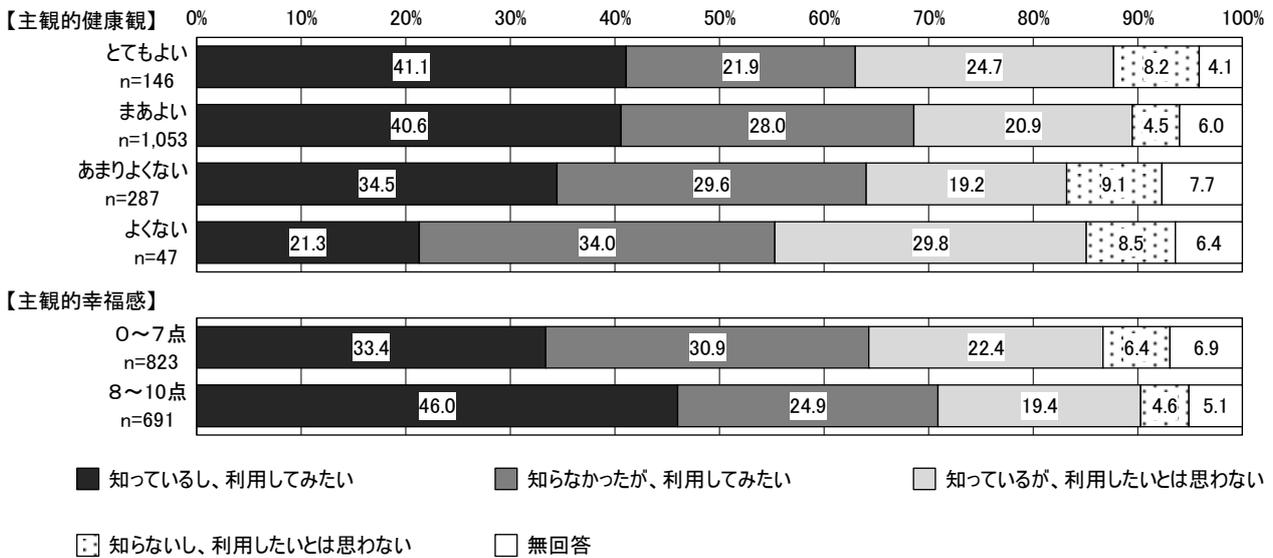
「知っているし、利用してみたい」と「知っているが、利用したいとは思わない」を「知っている」(周知度)、「知っているし、利用してみたい」と「知らなかったが、利用してみたい」を「利用したい」(利用意向度)と位置付けています。

- 【全体】 「知っているし、利用してみたい」が 38.7%で最も高くなっています。次いで「知らなかったが、利用してみたい」が 28.3%、「知っているが、利用したいとは思わない」が 20.9%で続いています。周知度は 59.6%、利用意向度は 67.0%となっています。
- 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「知らなかったが、利用してみたい」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べて「知っているし、利用してみたい」の割合が高くなっています。『男性』では利用意向度が『女性』と比べて高いものの周知度が低くなっています。
- 【圏域別】 『光井・室積地区』『浅江地区』では「知っているし、利用してみたい」の割合が他の地区と比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 『65～84 歳』では「知っているし、利用してみたい」「知らなかったが、利用してみたい」の割合が『85 歳以上』と比べて高くなっています。『65～79 歳』では周知度が『80 歳以上』と比べて高くなっています。『80～84 歳』で利用意向度が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』では「知らなかったが、利用してみたい」「知っているが、利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「知らなかったが、利用してみたい」の割合が高くなっています。



■ 圏域別の周知度・利用意向度

	① 周知度	② 利用意向度	②-①
光井・室積地区	61.6	67.2	5.6
島田・上島田・三井・周防地区	59.3	66.3	7.0
浅江地区	60.4	68.6	8.2
大和地域	55.1	68.0	12.9

■ 年齢別の周知度・利用意向度

	① 周知度	② 利用意向度	②-①
65～69歳	61.6	68.0	6.4
70～74歳	61.1	67.7	6.6
75～79歳	61.0	67.5	6.5
80～84歳	56.2	72.0	15.8
85歳以上	56.9	57.5	0.6

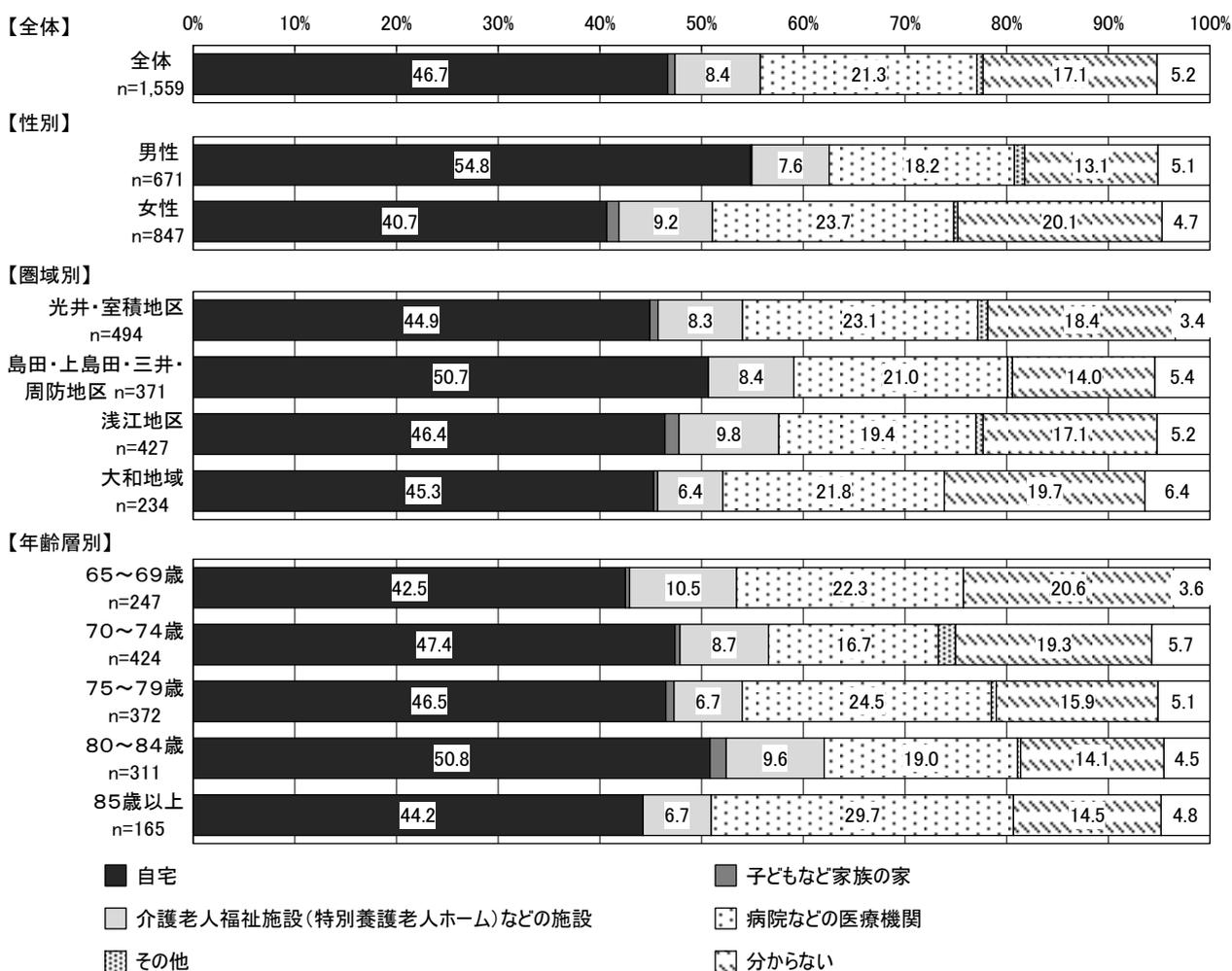
Q2-3 あなたは、どこで最期を迎えたいと考えていますか。

【全 体】 「自宅」が 46.7%で最も高くなっています。「病院などの医療機関」が 21.3%、「分からない」が 17.1%となっています。

【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「自宅」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「分からない」の割合が高くなっています。

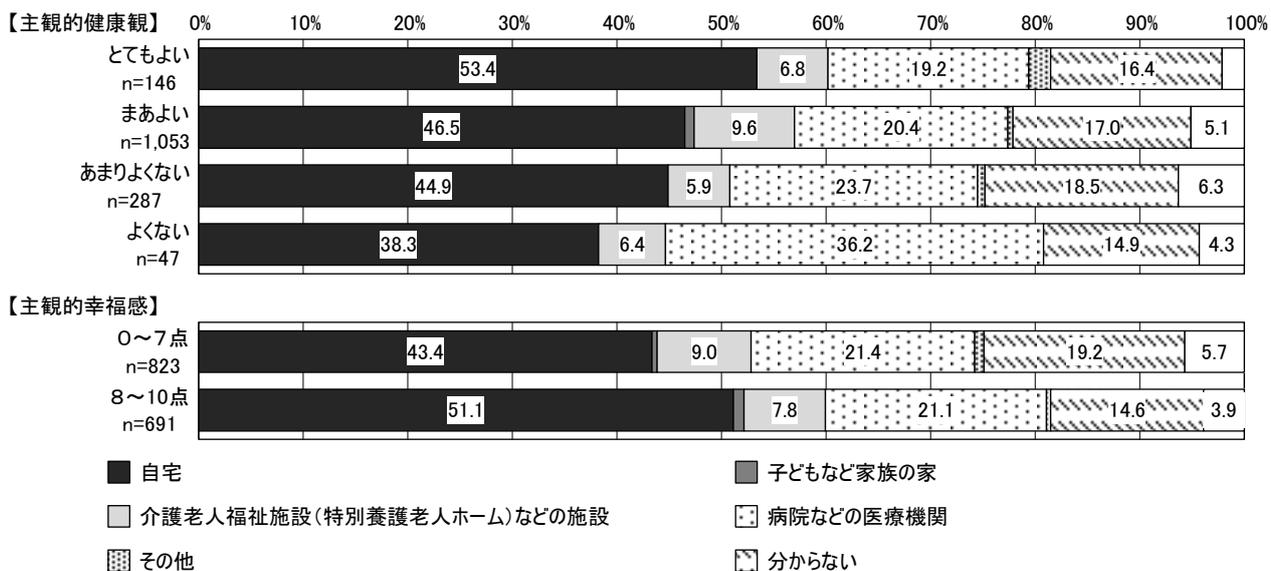
【圏 域 別】 『島田・上島田・三井・周防地区』では「自宅」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

【年齢層別】 『65～74 歳』では「わからない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
『80～84 歳』では「自宅」の割合が高くなっています。  
『85 歳以上』では「病院などの医療機関」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』では「病院などの医療機関」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「病院などの医療機関」の割合が高くなっています。

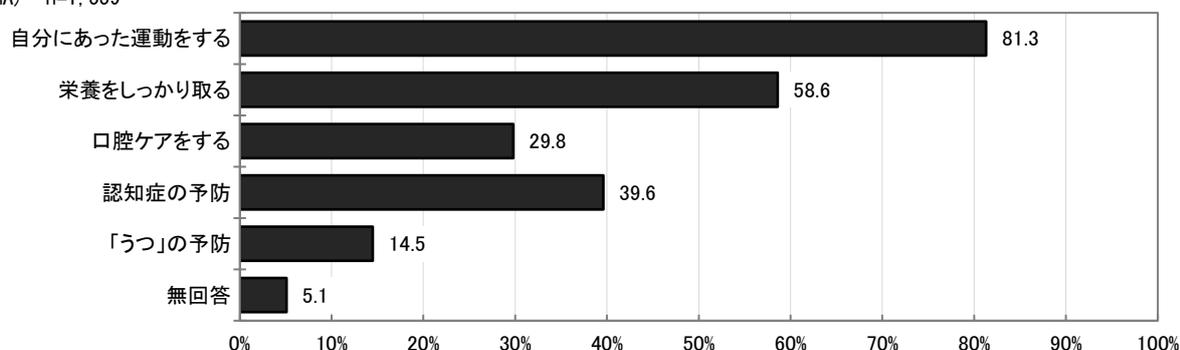


Q3 介護が必要な状態にならないために、あなた自身どのようなことを予防したいと考えますか。  
(複数回答)

- 【全体】 「自分にあつた運動をする」が 81.3%で最も高くなっています。次いで「栄養をしっかり取る」が 58.6%、「認知症の予防」が 39.6%が続いています。
- 【性別】 『女性』では『男性』と比べて「栄養をしっかり取る」「口腔ケアをする」「認知症の予防」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『光井・室積地区』では「口腔ケアをする」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
『島田・上島田・三井・周防地区』では「自分にあつた運動をする」「認知症の予防」の割合が高くなっています。
- 【年齢層別】 『65～69 歳』では「自分にあつた運動をする」「口腔ケアをする」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
『85 歳以上』では「栄養をしっかり取る」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
自分にあつた運動をする	82.0	81.1
栄養をしっかり取る	49.8	66.2
口腔ケアをする	21.6	36.8
認知症の予防	33.5	45.2
「うつ」の予防	11.8	16.8
無回答	4.9	4.6

【圏域別】

	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
自分にあつた運動をする	81.2	84.4	80.6	79.9
栄養をしっかり取る	58.9	58.2	61.8	55.6
口腔ケアをする	32.4	29.6	30.2	26.9
認知症の予防	40.5	43.7	37.0	39.7
「うつ」の予防	13.0	17.0	15.2	14.1
無回答	3.8	4.0	4.9	7.3

## 【年齢層別】

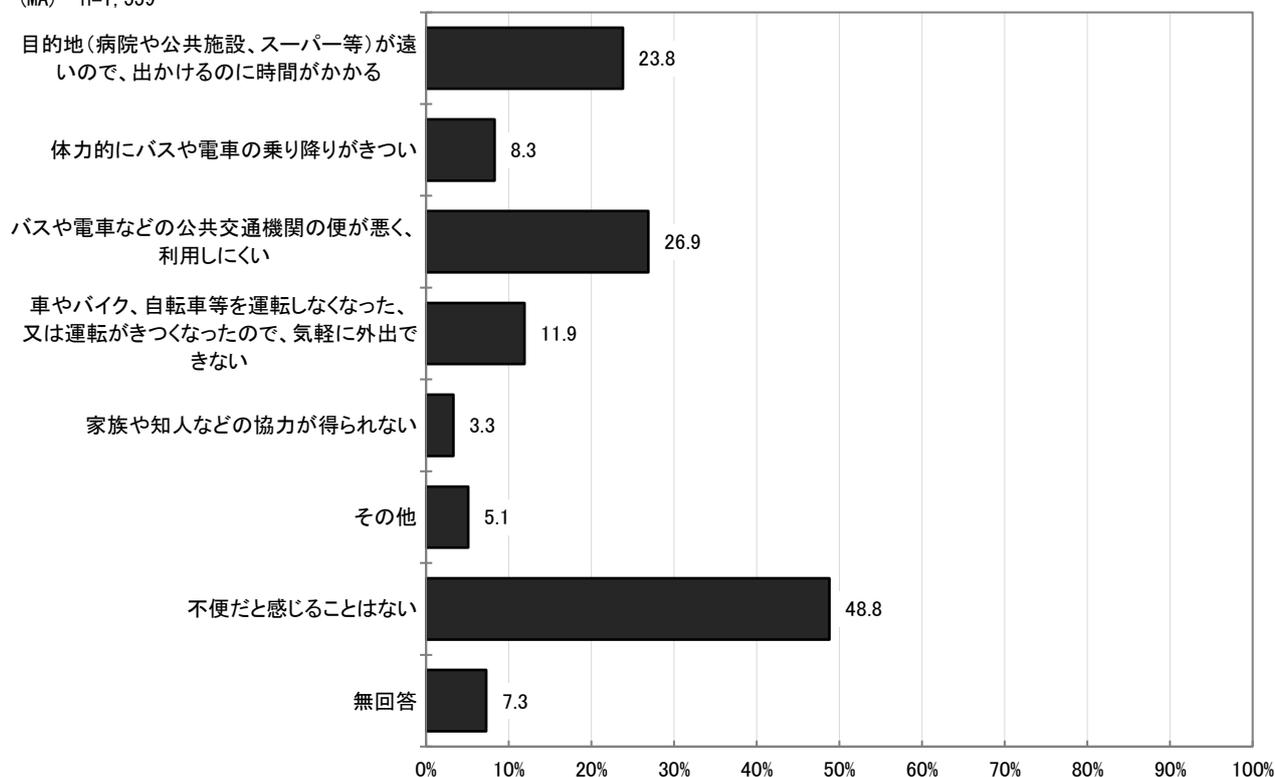
	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
自分にあつた運動をする	86.6	80.9	82.3	82.6	72.1
栄養をしっかり取る	60.7	58.0	57.8	58.2	63.6
口腔ケアをする	37.7	31.6	28.2	28.0	24.2
認知症の予防	39.3	39.9	40.9	39.5	41.8
「うつ」の予防	17.4	12.7	15.6	13.5	15.2
無回答	2.8	5.7	4.3	5.5	4.8

Q4-1 あなたが外出の際、不便だと感じることは何ですか。(複数回答)

- 【全 体】 「不便だと感じることはない」が48.8%で最も高くなっています。「バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい」が26.9%、「目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出かけるのに時間がかかる」が23.8%となっています。
- 【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「不便だと感じることはない」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べて「目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出かけるのに時間がかかる」「体力的にバスや電車の乗り降りがきつい」「バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい」の割合が高くなっています。
- 【圏 域 別】 『光井・室積地区』『島田・上島田・三井・周防地区』『大和地域』では「バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい」の割合が『浅江地区』と比べて高くなっています。  
『浅江地区』では「不便だと感じることはない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
『大和地域』では「目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出かけるのに時間がかかる」の割合が高くなっています。
- 【年齢層別】 『65～69 歳』では「不便だと感じることはない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
『80 歳以上』では「目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出かけるのに時間がかかる」「体力的にバスや電車の乗り降りがきつい」「車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出かけるのに時間がかかる	17.4	28.9
体力的にバスや電車の乗り降りがきつい	4.5	11.2
バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい	20.7	31.6
車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない	9.5	13.7
家族や知人などの協力が得られない	3.3	3.2
その他	4.3	5.9
不便だと感じることはない	58.3	41.8
無回答	6.4	7.6

【圏域別】

	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出かけるのに時間がかかる	26.7	23.2	15.0	35.0
体力的にバスや電車の乗り降りがきつい	8.3	7.5	8.4	9.8
バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい	30.0	29.9	17.3	33.3
車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない	11.1	12.7	13.1	10.3
家族や知人などの協力が得られない	3.6	2.7	2.8	3.8
その他	4.7	4.9	4.9	7.3
不便だと感じることはない	46.4	49.6	56.2	40.2
無回答	5.9	5.7	7.7	10.3

【年齢層別】

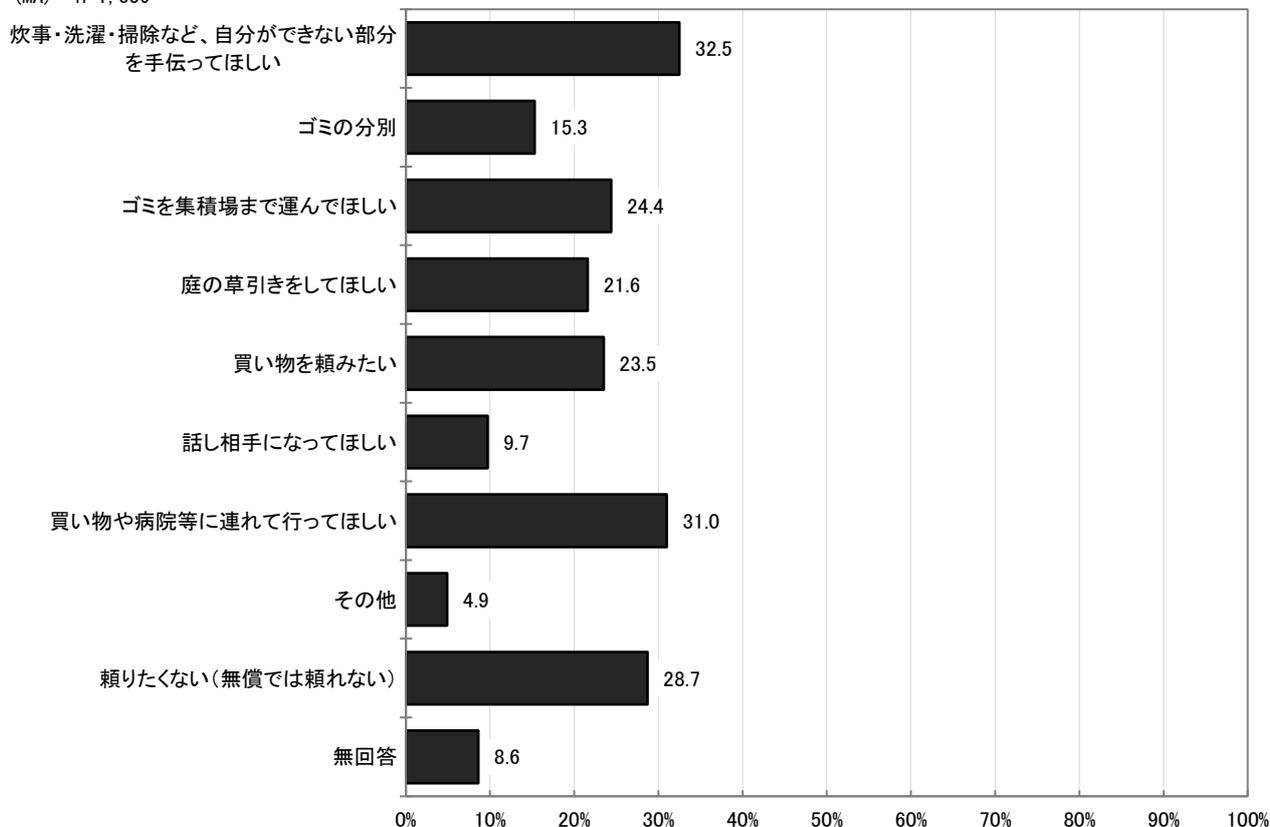
	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
目的地(病院や公共施設、スーパー等)が遠いので、出かけるのに時間がかかる	17.0	18.9	21.0	33.4	34.5
体力的にバスや電車の乗り降りがきつい	3.6	4.2	4.8	12.9	24.2
バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい	22.7	24.3	26.6	32.2	30.3
車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない	5.3	8.0	9.9	19.6	20.6
家族や知人などの協力が得られない	2.0	2.6	2.4	5.1	4.8
その他	2.0	3.5	5.9	7.1	9.1
不便だと感じることはない	63.6	55.4	50.5	39.5	26.1
無回答	3.6	6.4	8.6	7.7	9.1

Q4-2 もし、あなたが在宅生活を送る中で、自身では解決できない困りごとを地域の人に頼ることができるとしたら、どのようなことを頼みたいですか。(複数回答)

- 【全 体】 「炊事・洗濯・掃除など、自分ができない部分を手伝ってほしい」が 32.5%で最も高くなっています。次いで「買い物や病院等に連れて行ってほしい」が 31.0%、「頼りたくない(無償では頼れない)」が 28.7%で続いています。
- 【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「頼りたくない(無償では頼れない)」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「ゴミを集積場まで運んでほしい」「庭の草引きをしてほしい」「買い物や病院等に連れて行ってほしい」の割合が高くなっています。
- 【圏 域 別】 『島田・上島田・三井・周防地区』では「頼りたくない(無償では頼れない)」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
『浅江地区』では「ゴミを集積場まで運んでほしい」の割合が高くなっています。  
『大和地域』では「炊事・洗濯・掃除など、自分ができない部分を手伝ってほしい」の割合が高くなっています。
- 【年齢層別】 『65～74 歳』では「頼りたくない(無償では頼れない)」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
『75 歳以上』では「炊事・洗濯・掃除など、自分ができない部分を手伝ってほしい」「買い物や病院等に連れて行ってほしい」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



## 【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
炊事・洗濯・掃除など、自分ができない部分を手伝ってほしい	32.9	32.5
ゴミの分別	14.6	15.9
ゴミを集積場まで運んでほしい	18.8	29.8
庭の草引きをしてほしい	18.0	24.8
買い物を頼みたい	21.5	25.3
話し相手になってほしい	7.6	11.2
買い物や病院等に連れて行ってほしい	27.7	34.0
その他	4.0	5.5
頼りたくない(無償では頼れない)	35.0	23.5
無回答	8.5	8.0

## 【圏域別】

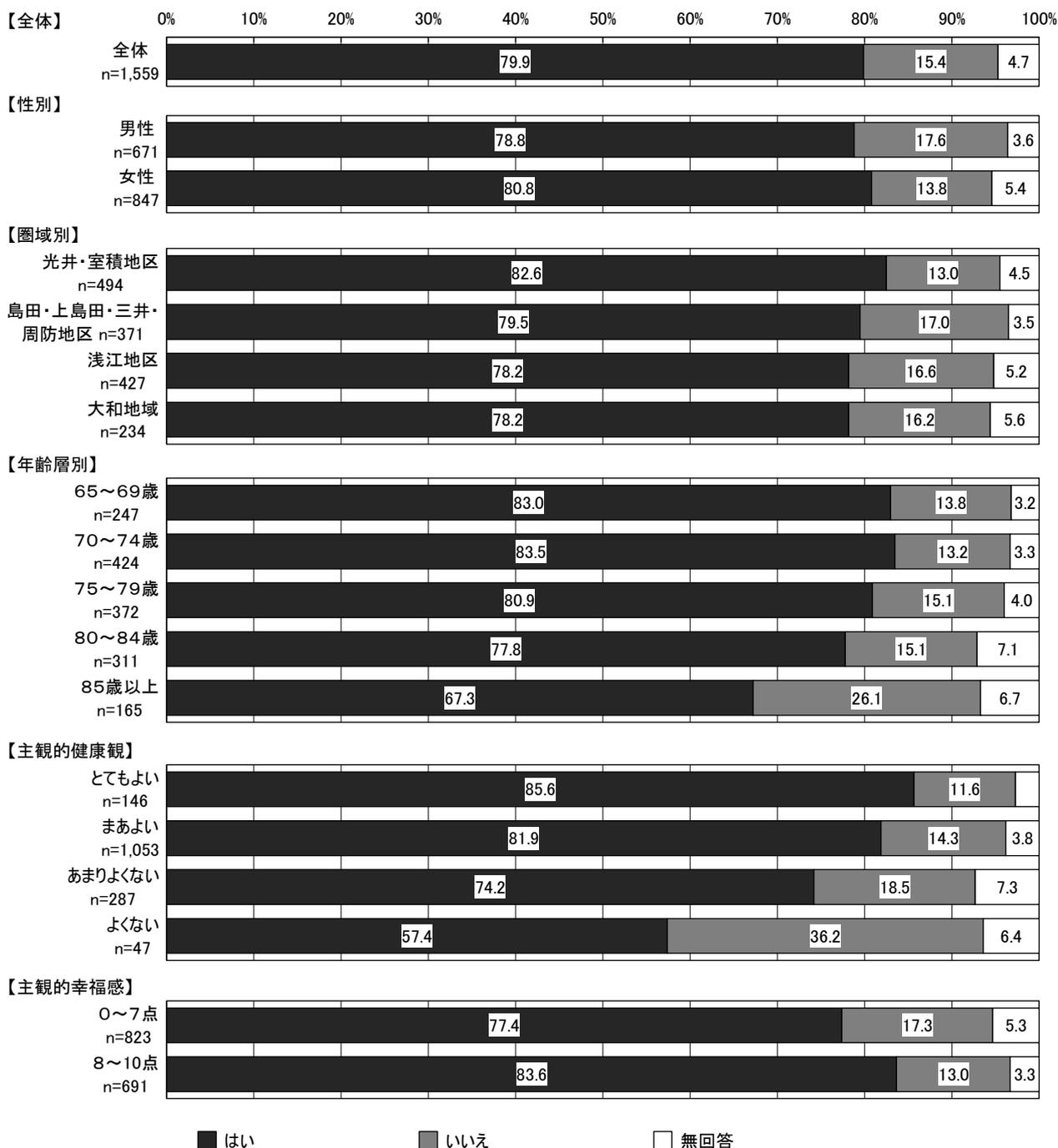
	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
炊事・洗濯・掃除など、自分ができない部分を手伝ってほしい	30.6	31.3	33.7	37.6
ゴミの分別	16.0	14.0	17.8	12.0
ゴミを集積場まで運んでほしい	23.1	25.1	29.3	20.1
庭の草引きをしてほしい	21.1	20.2	23.2	23.5
買い物を頼みたい	22.7	22.6	26.2	22.2
話し相手になってほしい	9.1	9.7	10.3	9.4
買い物や病院等に連れて行ってほしい	30.2	31.0	31.1	33.8
その他	5.9	4.6	3.7	5.6
頼りたくない(無償では頼れない)	28.7	31.5	27.9	25.2
無回答	7.7	6.7	7.7	12.8

## 【年齢層別】

	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
炊事・洗濯・掃除など、自分ができない部分を手伝ってほしい	29.6	26.4	36.8	37.3	35.8
ゴミの分別	15.4	11.1	17.5	18.6	15.2
ゴミを集積場まで運んでほしい	24.7	20.3	25.0	28.9	28.5
庭の草引きをしてほしい	21.1	20.0	21.0	25.1	22.4
買い物を頼みたい	19.8	21.7	23.7	26.4	28.5
話し相手になってほしい	9.3	7.8	9.1	10.6	13.3
買い物や病院等に連れて行ってほしい	28.3	24.1	37.4	32.8	36.4
その他	3.2	5.9	4.8	4.5	6.1
頼りたくない(無償では頼れない)	35.2	33.3	25.0	23.8	24.8
無回答	7.3	7.5	7.8	9.3	10.3

Q4-3 近くに住む人が身体的な理由から日常生活の中に困りごとがあるとき、あなたは手をかしてあげようと思いますか。

- 【全体】 「はい」が79.9%を占めています。  
 【年齢層別】 『85歳以上』では「いいえ」の割合が高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』では「いいえ」の割合が高くなっています。



Q5-1 あなたが現在、生きがいを感じることは何ですか。(複数回答)

【全 体】 「趣味」が 46.2%で最も高くなっています。次いで「家族との団らん」が 40.9%、「旅行」が 27.8%で続いています。

【性 別】 『男性』では『女性』と比べて「働くこと(仕事)」の割合が高くなっています。

『女性』では『男性』と比べて「家族との団らん」の割合が高くなっています。

【圏 域 別】 『大和地域』では「働くこと(仕事)」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

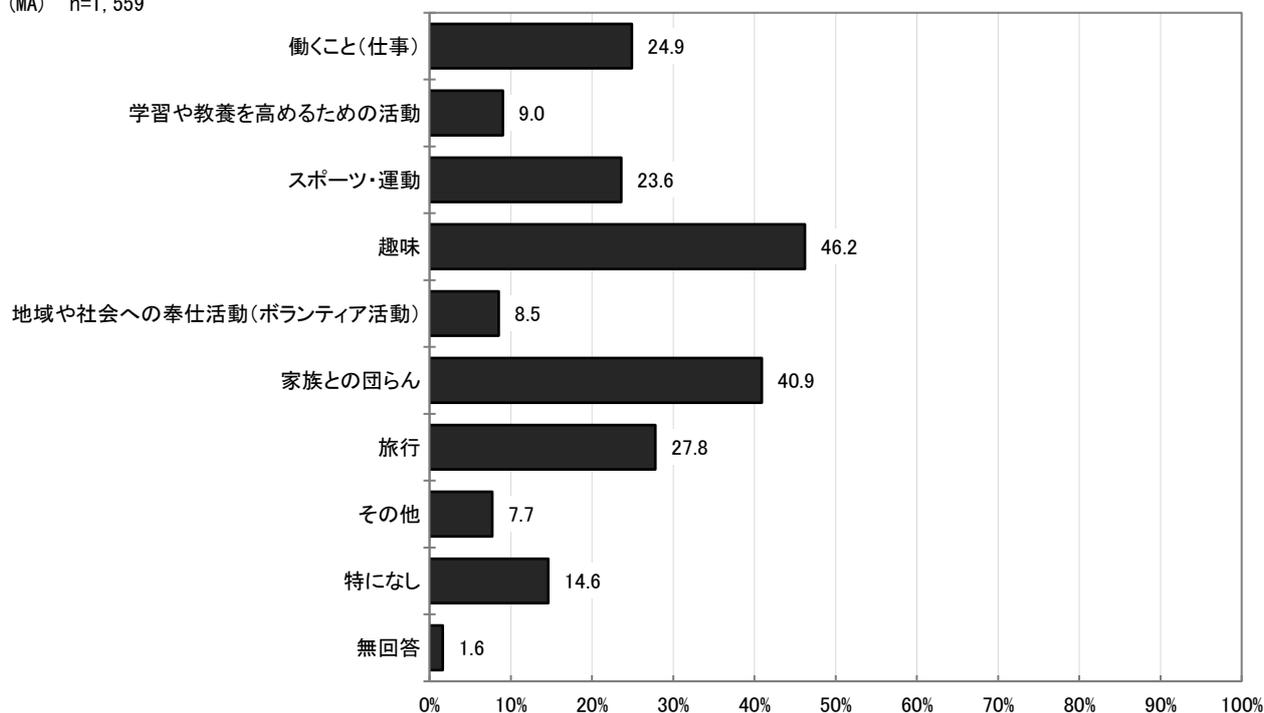
【年齢層別】 年齢が若いほど「働くこと(仕事)」の割合が高くなっています。

年齢が上がるにつれて「特になし」の割合が高くなっています。

『70～74 歳』では「趣味」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
働くこと(仕事)	29.1	21.4
学習や教養を高めるための活動	8.3	9.2
スポーツ・運動	28.0	20.0
趣味	47.4	45.3
地域や社会への奉仕活動(ボランティア活動)	9.4	8.0
家族との団らん	37.7	43.4
旅行	30.1	26.4
その他	5.5	9.7
特になし	15.2	13.9
無回答	1.0	1.8

【圏域別】

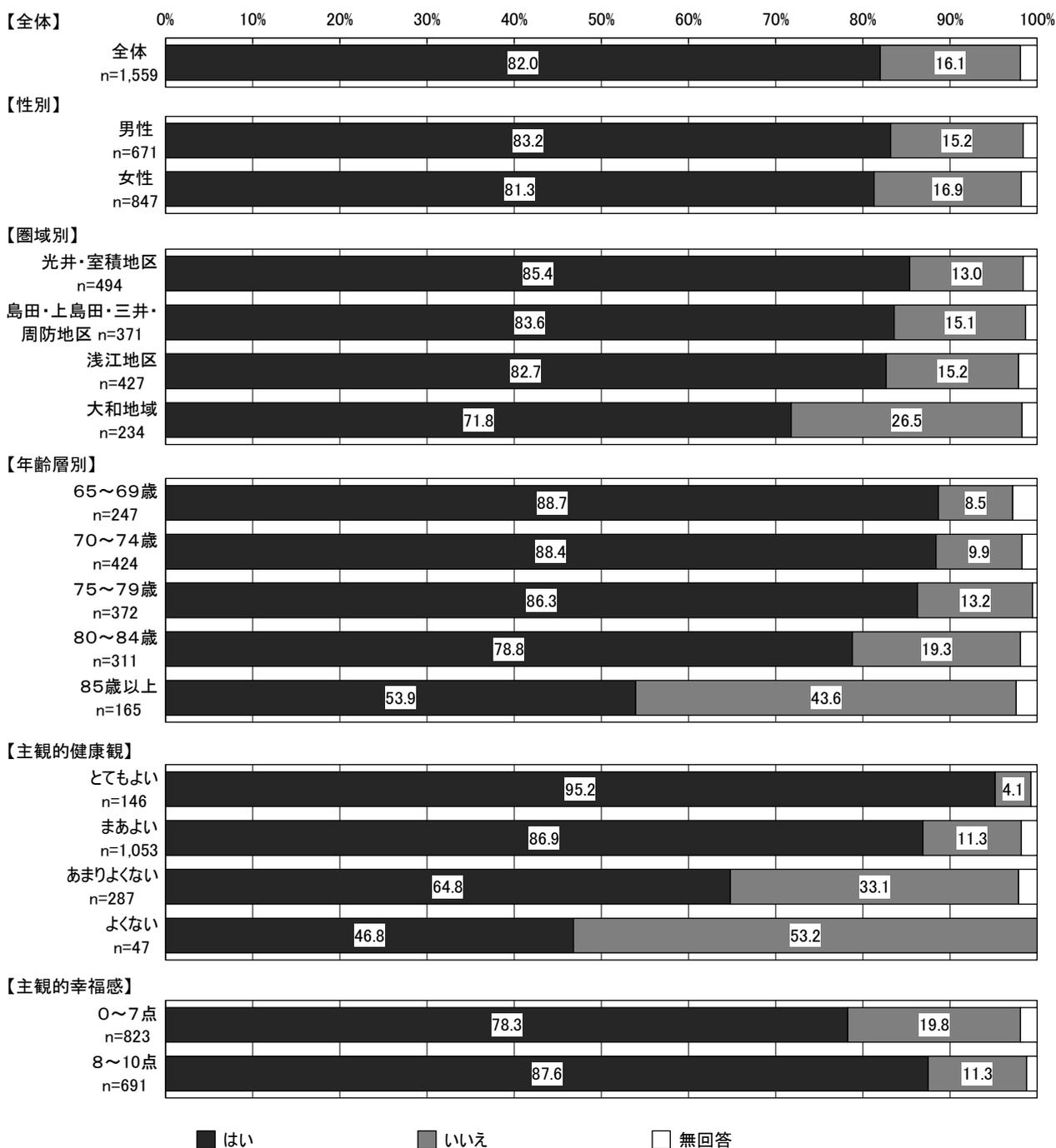
	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
働くこと(仕事)	23.9	27.5	19.0	32.9
学習や教養を高めるための活動	8.9	10.2	7.5	9.0
スポーツ・運動	22.9	25.3	26.9	17.1
趣味	48.8	48.0	44.7	40.6
地域や社会への奉仕活動(ボランティア活動)	7.3	10.0	8.7	9.0
家族との団らん	42.1	39.4	41.2	41.0
旅行	28.1	27.0	29.3	26.9
その他	7.1	8.6	8.4	7.3
特になし	14.6	12.9	15.2	16.2
無回答	1.2	0.8	1.6	2.6

【年齢層別】

	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
働くこと(仕事)	38.1	26.4	20.4	19.9	19.4
学習や教養を高めるための活動	9.3	8.3	9.7	8.0	9.1
スポーツ・運動	23.1	24.1	25.0	25.4	17.0
趣味	46.6	49.5	46.2	44.4	40.0
地域や社会への奉仕活動(ボランティア活動)	8.1	8.0	11.3	7.4	7.3
家族との団らん	45.3	38.2	45.4	36.0	40.0
旅行	30.8	32.1	29.0	21.9	23.6
その他	8.5	7.3	7.8	9.3	5.5
特になし	10.5	13.2	14.2	17.0	18.8
無回答	0.8	0.9	1.1	2.3	3.0

Q5-2 あなたは、最寄りの自治会館、老人憩いの家又はコミュニティセンター(旧公民館)など、普段、自治会活動が行われる場所へ一人で歩いて行くことができますか。

- 【全体】 「はい」が82.0%を占めています。  
 【圏域別】 『大和地域』では「いいえ」の割合が他の地区と比べて高くなっています。  
 【年齢層別】 『85歳以上』では「いいえ」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「いいえ」の割合が高くなっています。  
 【主観的幸福観】 『0~7点』では「いいえ」の割合が高くなっています。

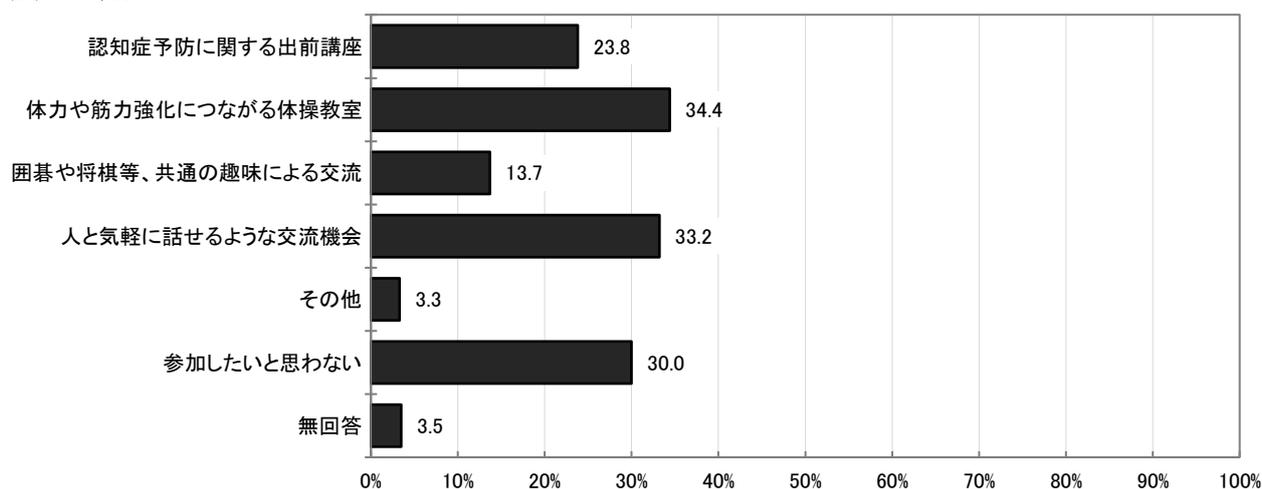


Q5-3 あなたは、最寄りの自治会館、老人憩いの家又はコミュニティセンター(旧公民館)などで開催される催しへ参加するとしたら、どのようなものに参加したいですか。(複数回答)

- 【全体】 「体力や筋力強化につながる体操教室」が 34.4%で最も高くなっています。次いで「人と気軽に話せるような交流機会」が 33.2%、「参加したいと思わない」が 30.0%で続いています。
- 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「囲碁や将棋等、共通の趣味による交流」「参加したいと思わない」の割合が高くなっています。  
『女性』では『男性』と比べて「認知症予防に関する出前講座」「人と気軽に話せるような交流機会」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『浅江地区』では「体力や筋力強化につながる体操教室」の割合が他の地区と比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 『65～69 歳』では「体力や筋力強化につながる体操教室」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。  
『80～84 歳』では「認知症予防に関する出前講座」の割合が高くなっています。  
『80 歳以上』では「人と気軽に話せるような交流機会」の割合が高くなっています。

【全体】

(MA) n=1,559



【性別】

	男性 n=671	女性 n=847
認知症予防に関する出前講座	19.2	27.5
体力や筋力強化につながる体操教室	25.9	41.8
囲碁や将棋等、共通の趣味による交流	20.0	8.9
人と気軽に話せるような交流機会	25.6	39.0
その他	3.1	3.0
参加したいと思わない	35.8	25.9
無回答	3.1	3.5

【圏域別】

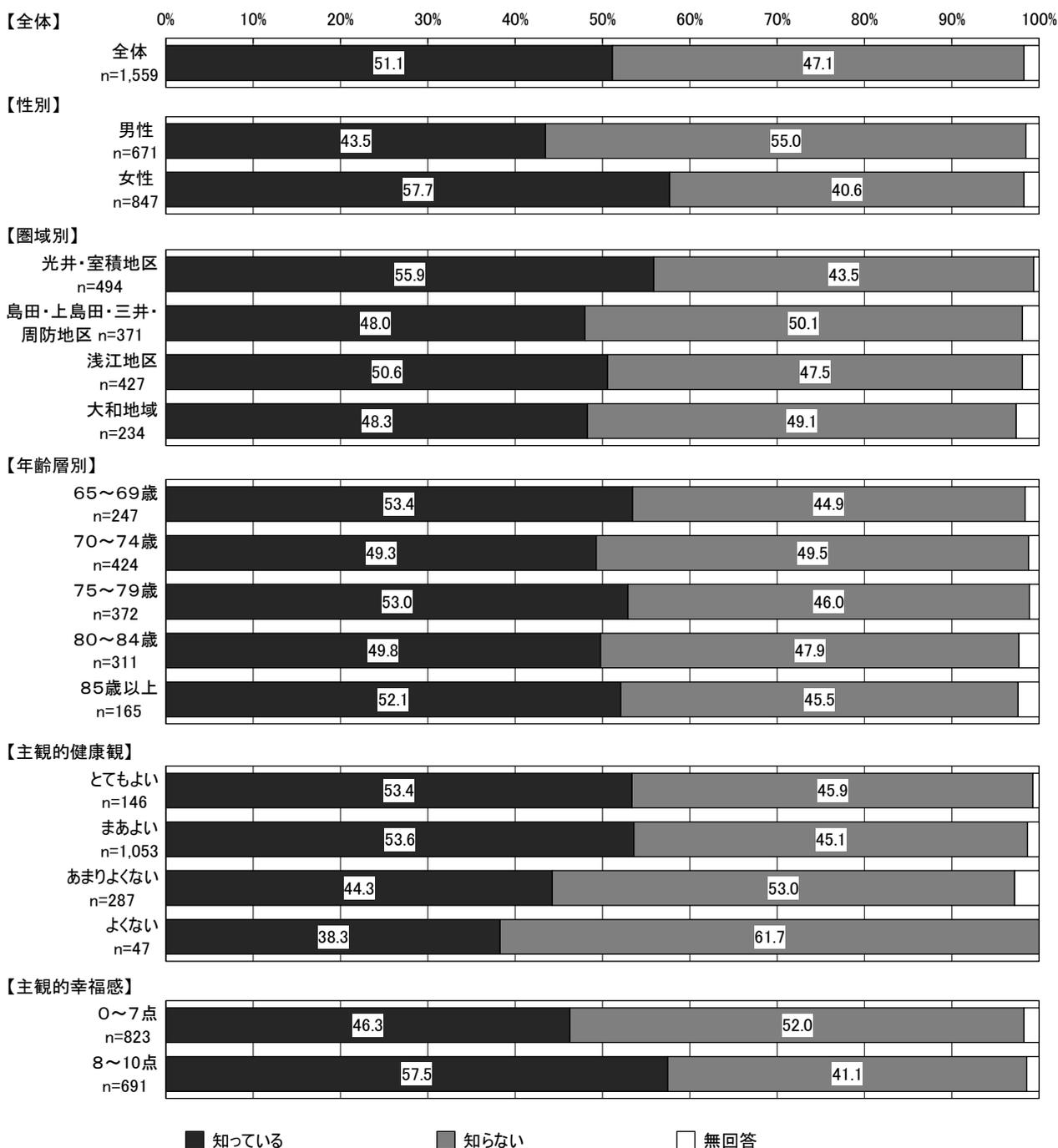
	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
認知症予防に関する出前講座	25.7	23.5	21.3	26.1
体力や筋力強化につながる体操教室	33.4	34.8	38.2	31.2
囲碁や将棋等、共通の趣味による交流	14.0	13.7	14.3	12.0
人と気軽に話せるような交流機会	34.0	29.9	35.1	32.9
その他	2.8	3.0	2.8	3.8
参加したいと思わない	30.0	33.4	26.2	32.5
無回答	2.8	2.7	4.0	4.3

【年齢層別】

	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
認知症予防に関する出前講座	19.0	19.8	23.9	32.8	24.8
体力や筋力強化につながる体操教室	43.3	33.7	35.2	33.1	27.9
囲碁や将棋等、共通の趣味による交流	15.0	13.9	12.4	14.8	12.1
人と気軽に話せるような交流機会	23.9	29.0	33.9	39.9	42.4
その他	2.0	2.8	3.0	3.5	4.2
参加したいと思わない	30.0	34.7	29.0	26.0	29.1
無回答	3.6	2.6	3.2	3.9	4.2

Q6 あなたは、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護、医療、福祉、健康など様々な支援や相談業務を行う「地域包括支援センター」を知っていますか。

- 【全体】 「知っている」が51.1%を占めています。
- 【性別】 『男性』では『女性』と比べて「知らない」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『島田・上島田・三井・周防地区』『大和地域』では「知らない」の割合が他の地区と比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 『70～74歳』では「知らない」の割合が他の年齢層と比べて高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「知らない」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福感】 『0～7点』では「知らない」の割合が高くなっています。



### 第3章 健康リスク判定

「健康リスク別の判定状況」は、活動性や生活機能が低下して要介護状態となるおそれの高い高齢者を把握するために、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果から、国のマニュアルに沿って判定を行ったものです。

判定を行う健康リスクの項目とその概要が下記表のとおりです。

項目	概要
運動器機能の低下	歩くことなどの運動の機能に衰えがみられる者
転倒リスク	転ぶ可能性が高いとみられる者
閉じこもり傾向	外出する機会の少ない者
低栄養の傾向	体重の増減があり、標準体重を維持していない者
咀嚼機能の低下	咀嚼機能などに衰えがみられる者
認知機能の低下	物忘れなどのある者（認知症の恐れのある者）
IADL（手段的自立度）の低下	買物・料理・金銭管理など、ADL（日常生活動作）よりも高い自立した日常生活をおくる能力に低下がみられる者
うつ傾向	生活する気力の衰えがみられる者

## 1 運動器機能の低下

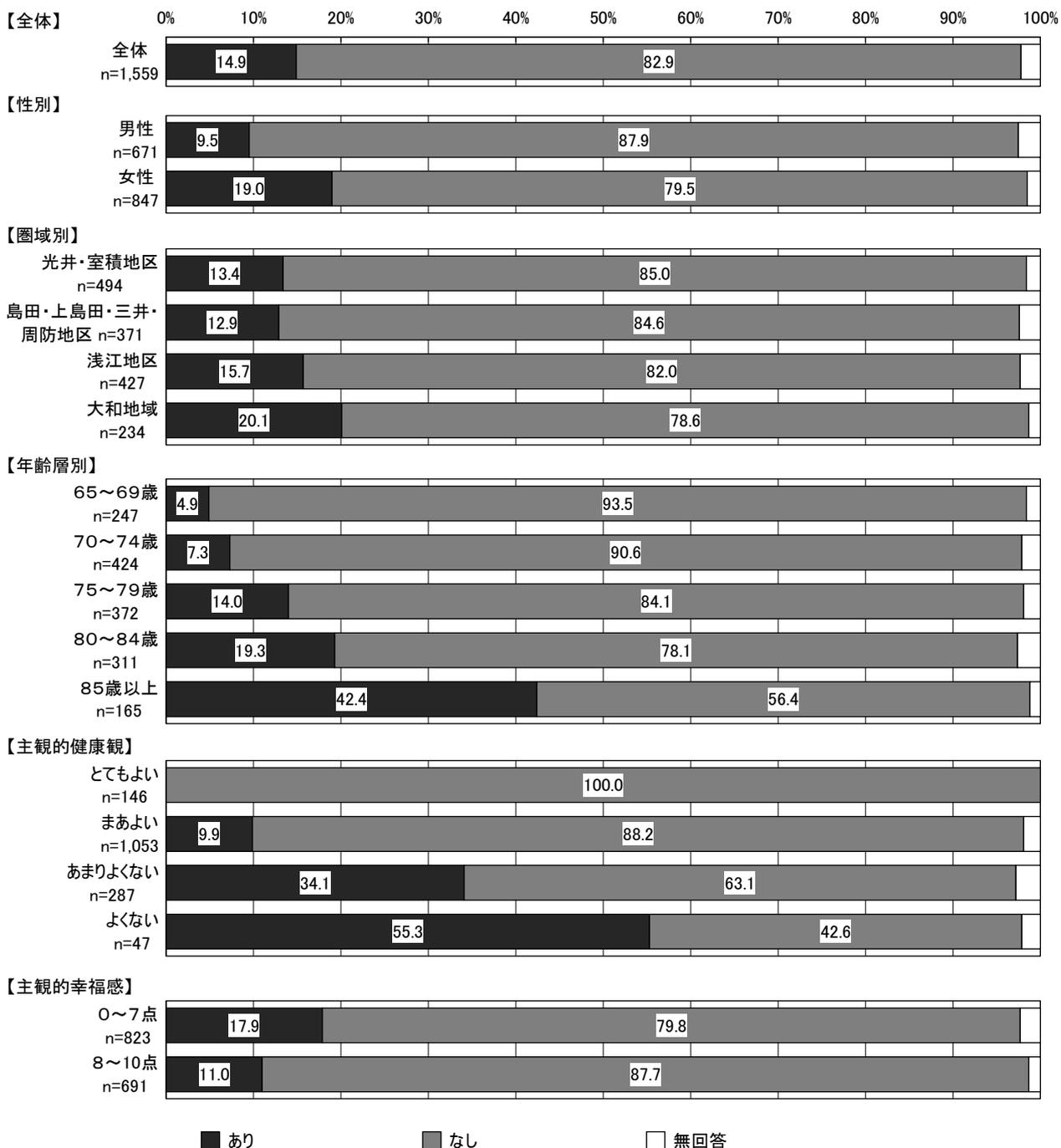
下記の設問で3問以上、該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、運動器機能が低下している高齢者になります。

該当設問 問2 からだを動かすことについて

項目	設問	選択肢
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	15分位続けて歩くことができますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	過去1年間に転んだことがありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

## 運動器機能の低下

- 【全体】 「あり」が14.9%となっています。
- 【性別】 『女性』では『男性』と比べて「あり」の割合が高くなっています。
- 【圏域別】 『大和地域』では「あり」の割合が他の地区と比べて高くなっています。
- 【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。
- 【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「あり」の割合が高くなっています。
- 【主観的幸福感】 『0～7点』では「あり」の割合が高くなっています。



## 2 転倒リスク

下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります。

該当設問 問2 からだを動かすことについて

項目	設問	選択肢
(4)	過去1年間に転んだことがありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

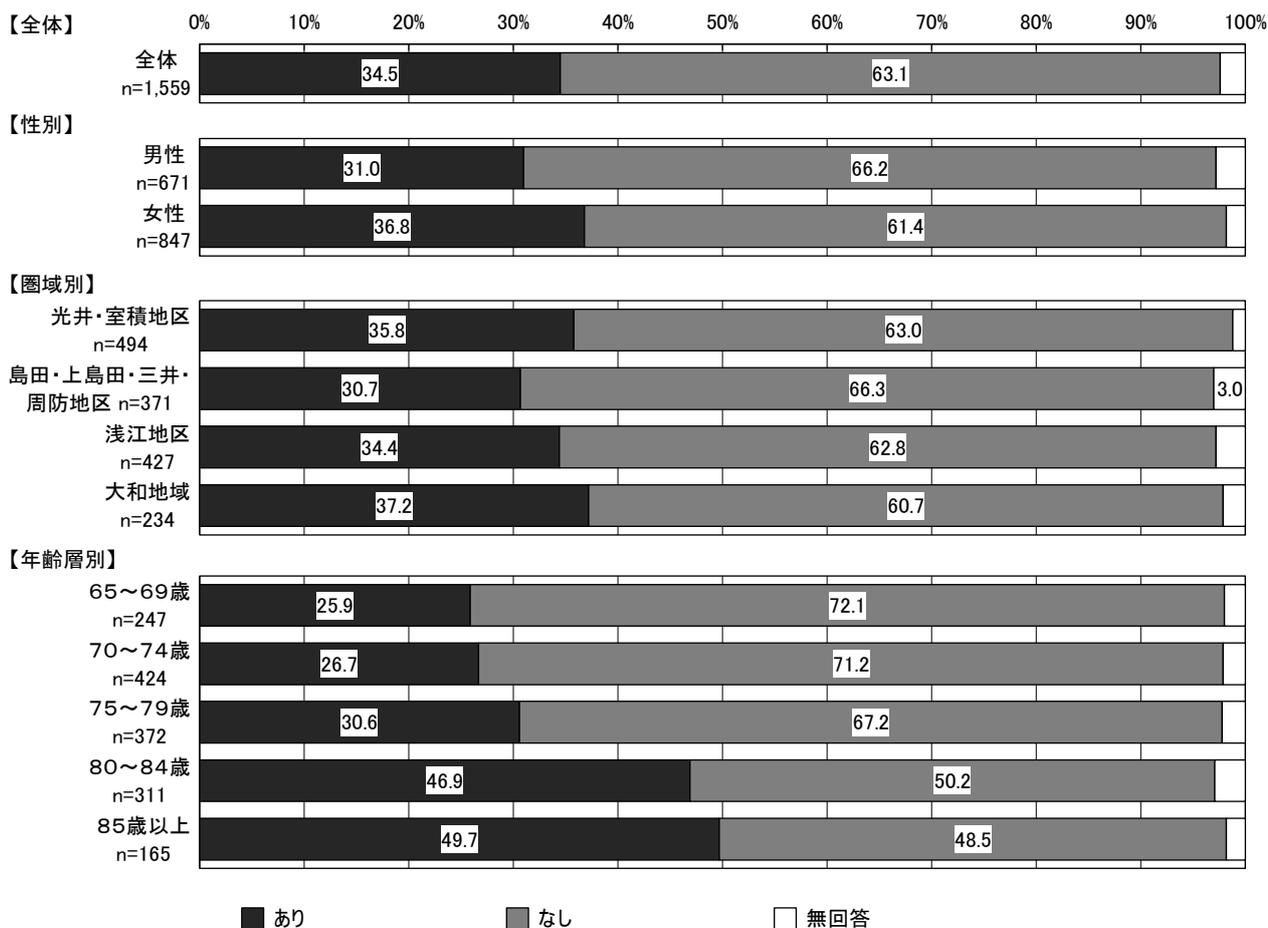
### 転倒リスク

【全体】 「あり」が34.5%となっています。

【性別】 『女性』では『男性』と比べて「あり」の割合が高くなっています。

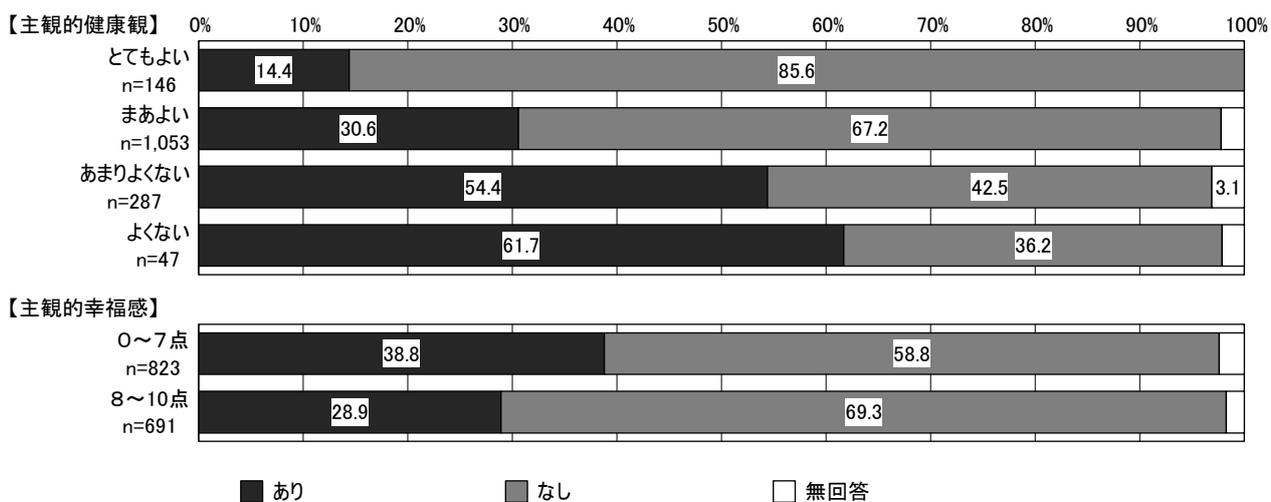
【圏域別】 『光井・室積地区』『浅江地区』『大和地域』では「あり」の割合が『島田・上島田・三井・周防地区』と比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「あり」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「あり」の割合が高くなっています。



### 3 閉じこもり傾向

下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

該当設問 問2 からだを動かすことについて

項目	設問	選択肢
(6)	週に1回以上外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

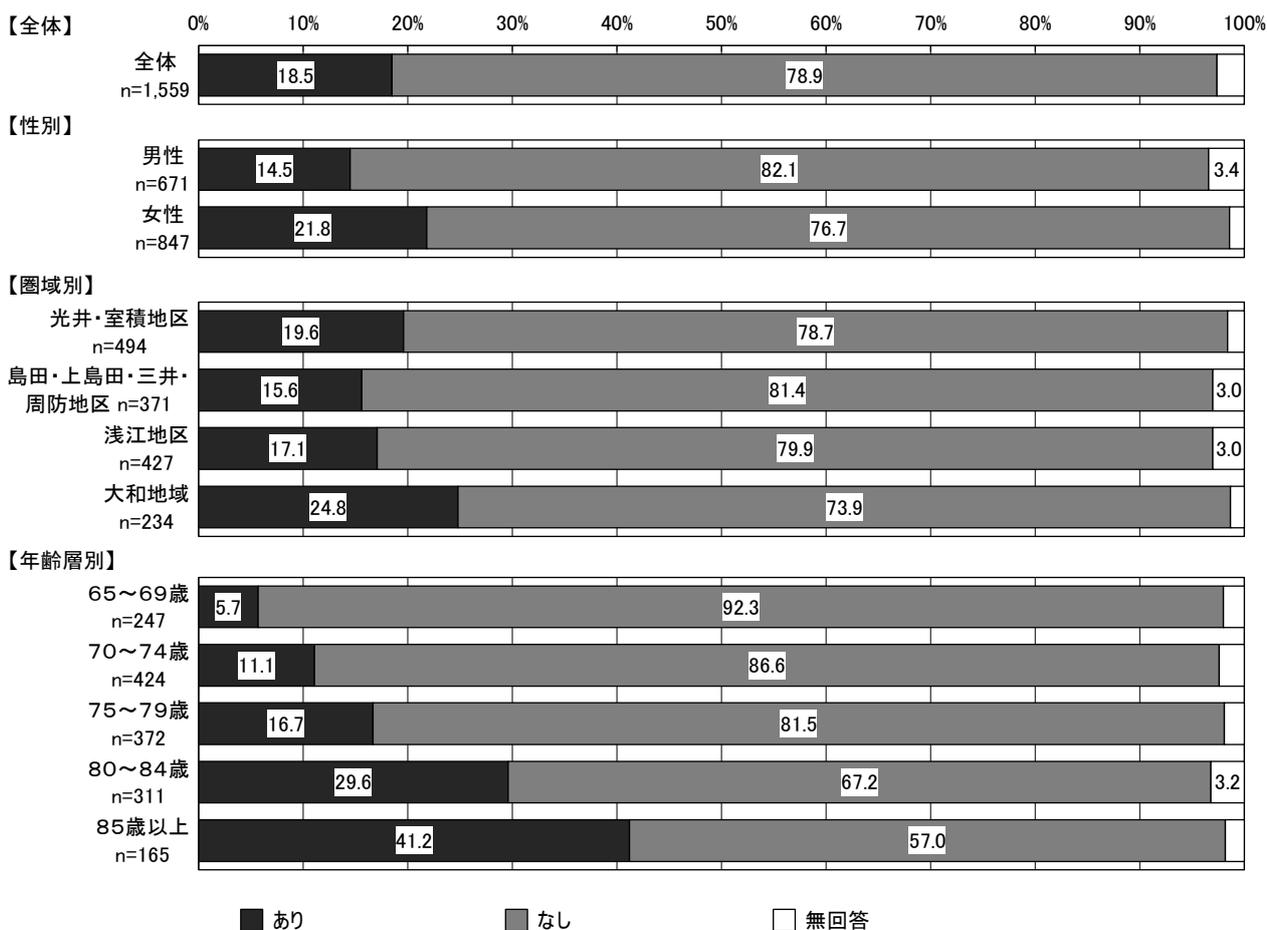
#### 閉じこもり傾向

【全体】 「あり」が18.5%となっています。

【性別】 『女性』では『男性』と比べて「あり」の割合が高くなっています。

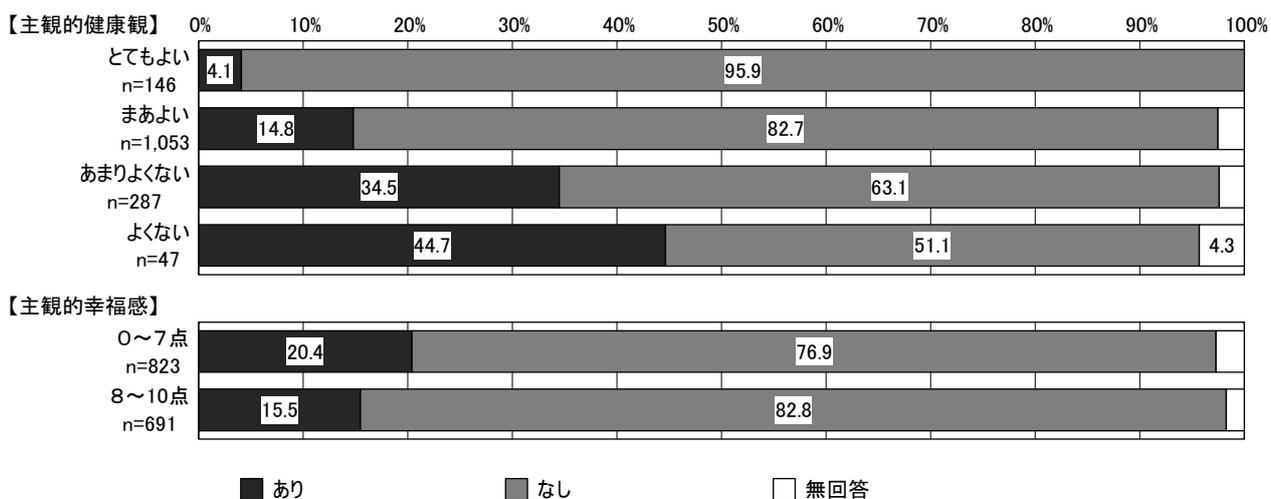
【圏域別】 『大和地域』では「あり」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「あり」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「あり」の割合が高くなっています。



## 4 低栄養の傾向

下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、低栄養が疑われる高齢者になります。

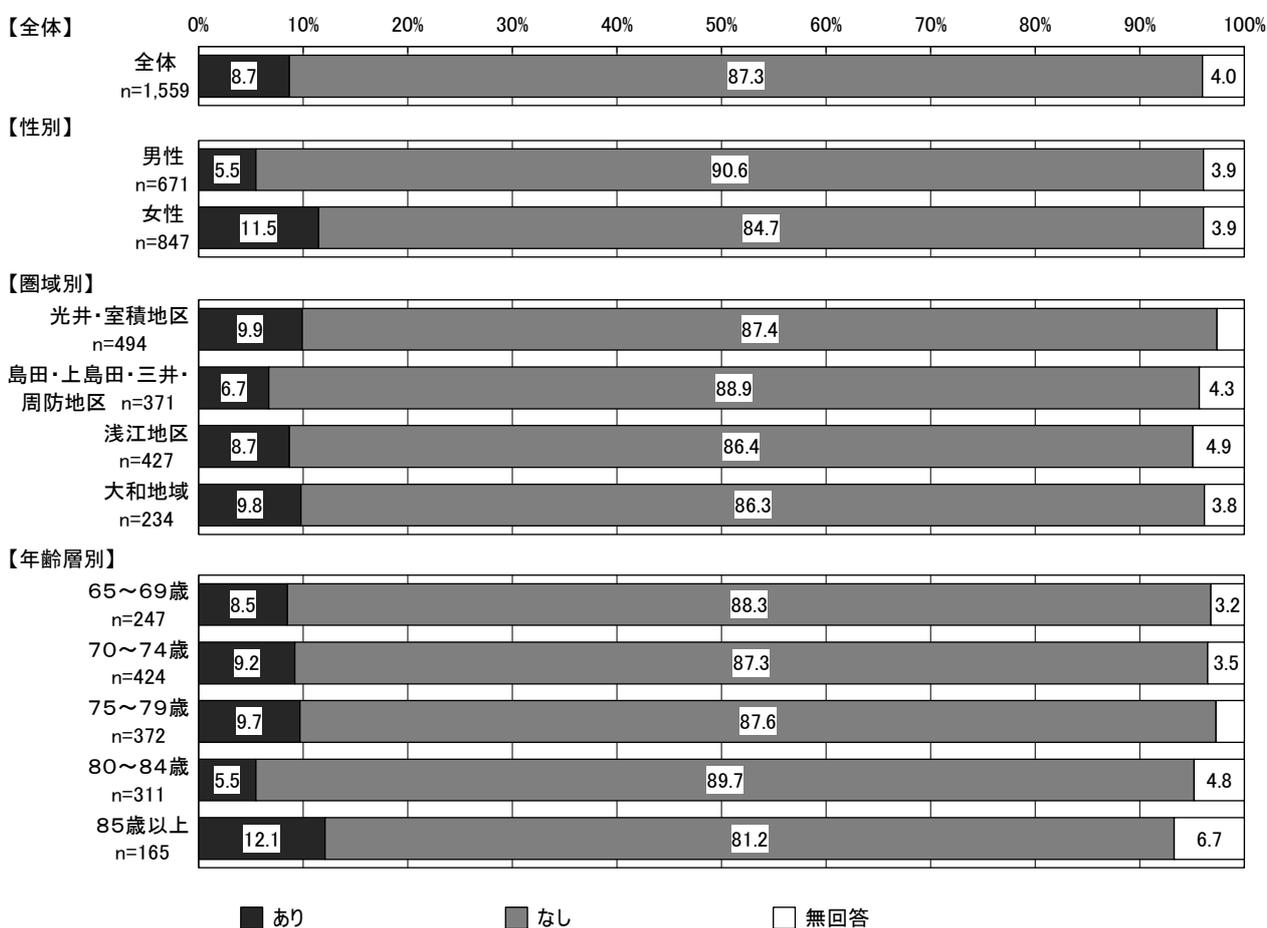
該当設問 問3 食べることについて

項目	設問	選択肢
(1)	身長, 体重 (BMI) (BMI = 体重 kg ÷ (身長 m) 2)	18.5 以下

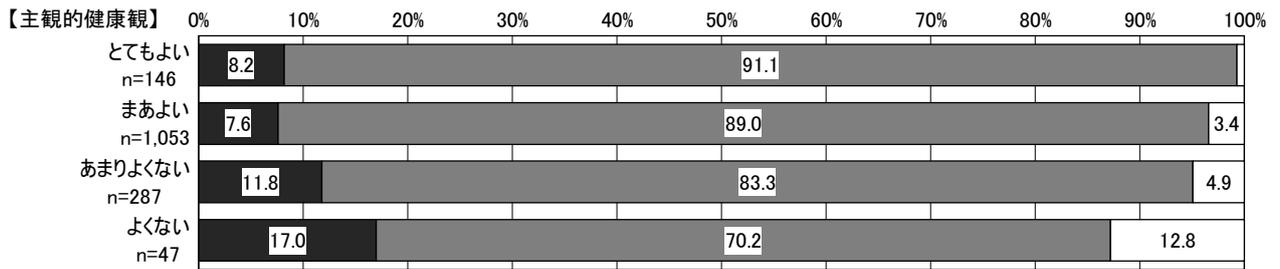
### 低栄養の傾向

【全体】 「あり」が 8.7%となっています。

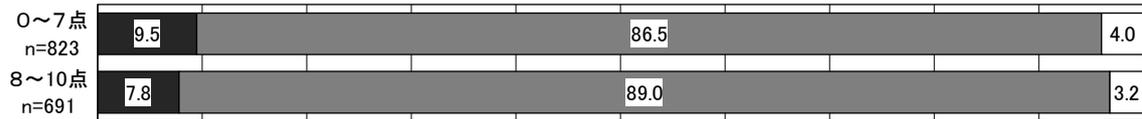
【性別】 『女性』では『男性』と比べて「あり」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』では「あり」の割合が高くなっています。



【主観的幸福感】



■ あり      ■ なし      □ 無回答

## 5 咀嚼機能の低下

下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。

該当設問 問3 食べることについて

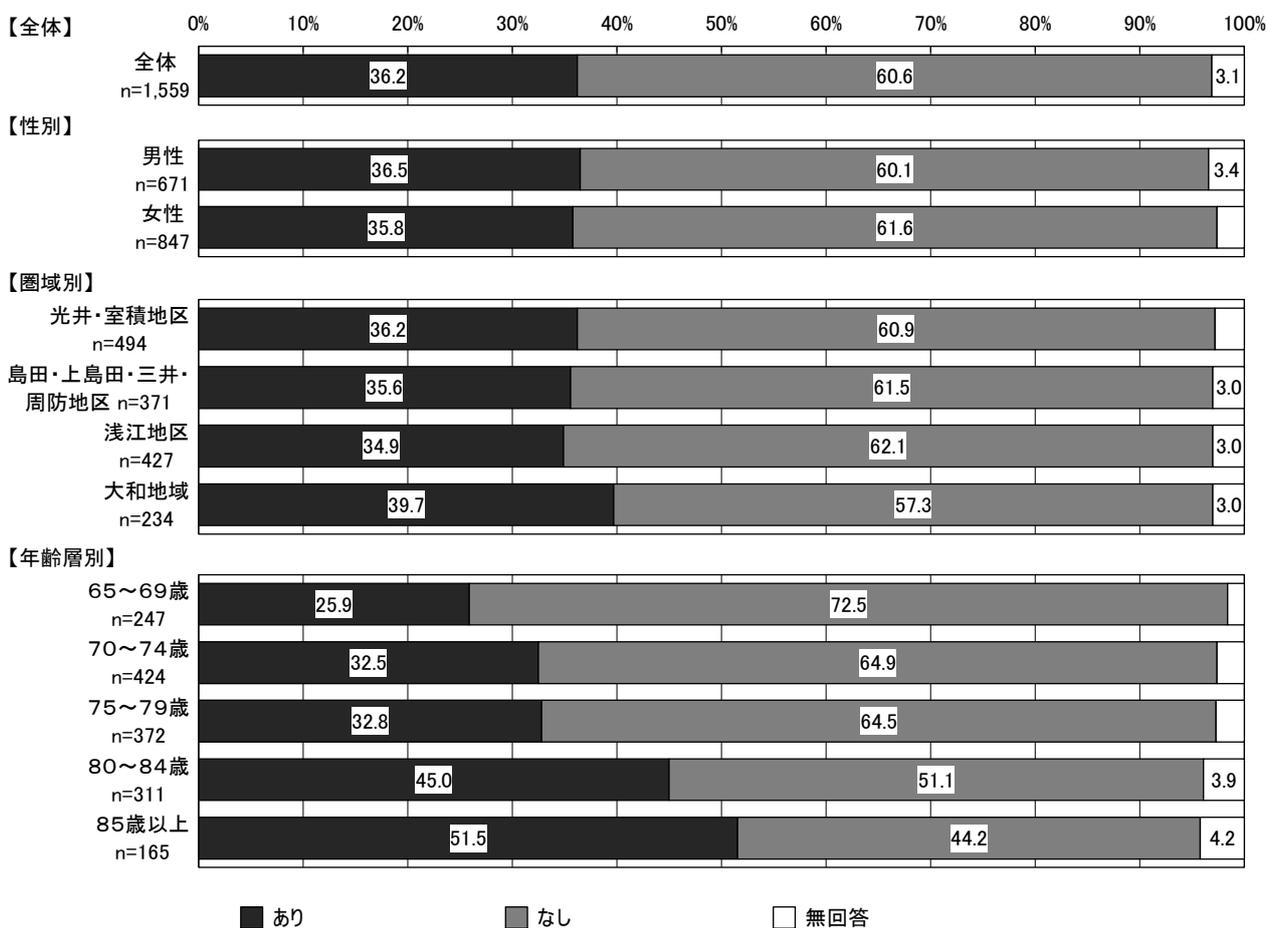
項目	設問	選択肢
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

### 咀嚼機能の低下

【全体】 「あり」が36.2%となっています。

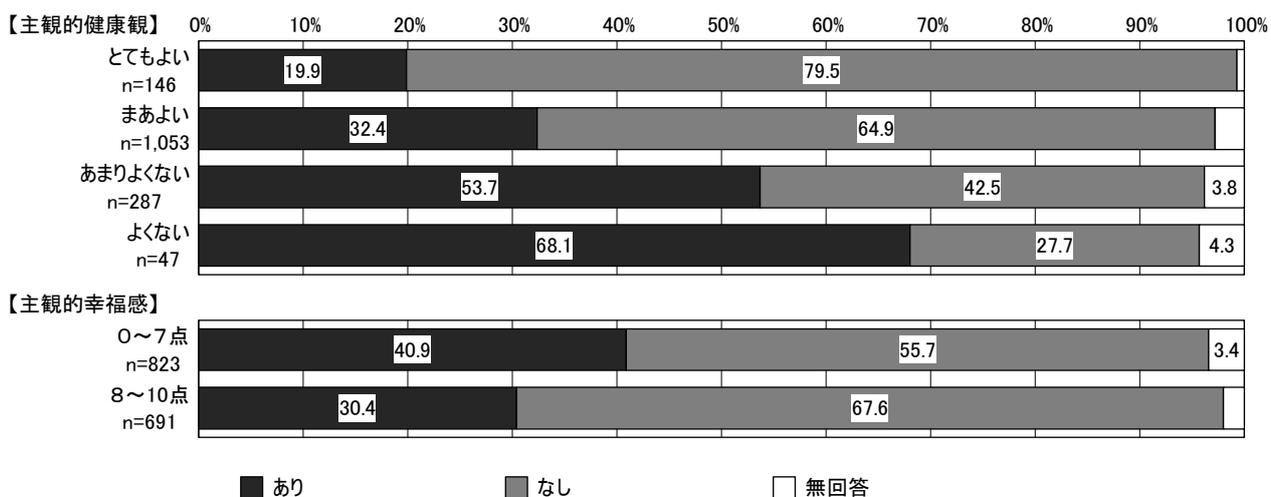
【圏域別】 『大和地域』では「あり」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「あり」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「あり」の割合が高くなっています。



## 6 認知機能の低下

下記の設問で該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

該当設問 問4 毎日の生活について

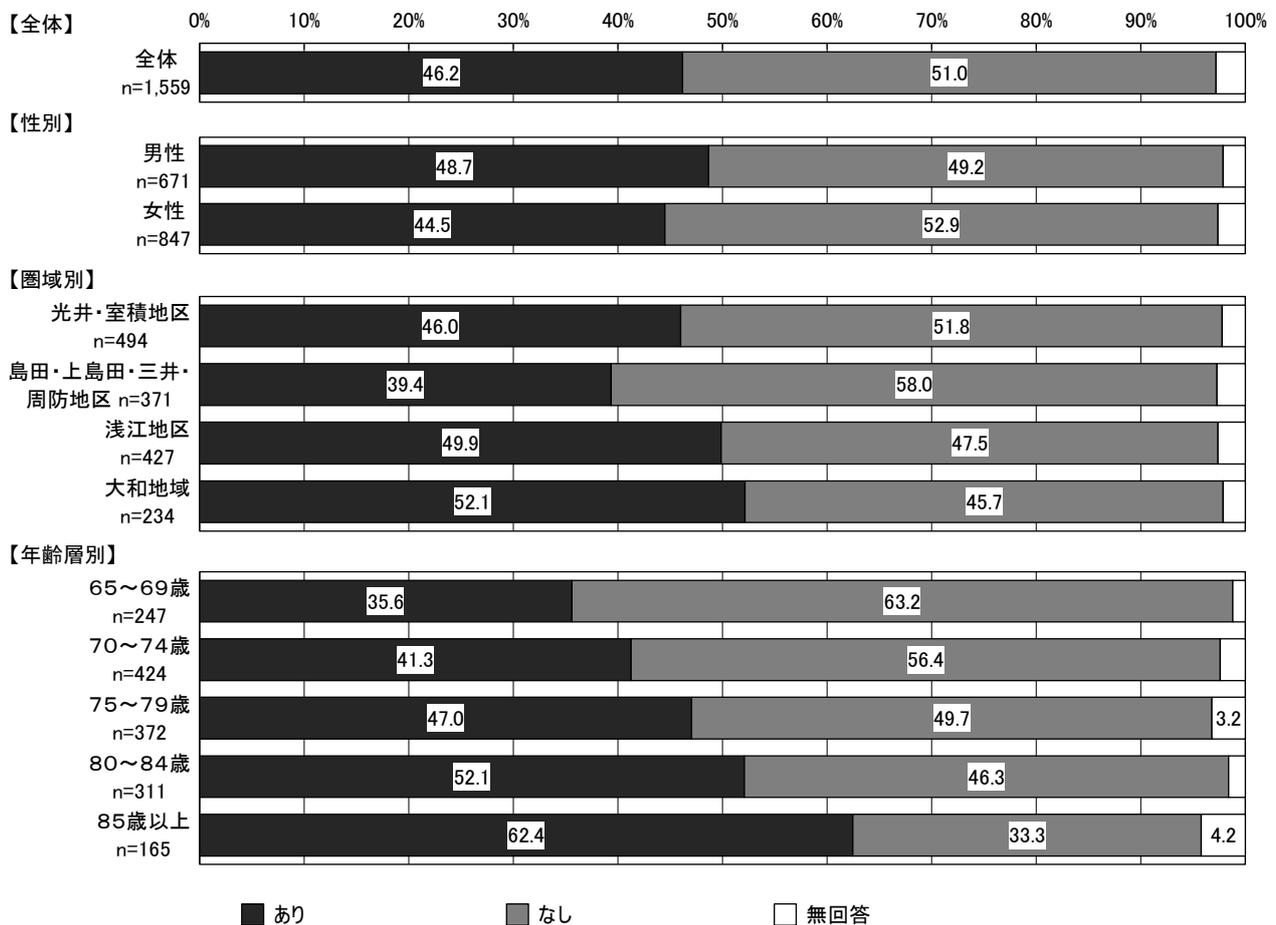
項目	設問	選択肢
(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

### 認知機能の低下

【全体】 「あり」が46.2%となっています。

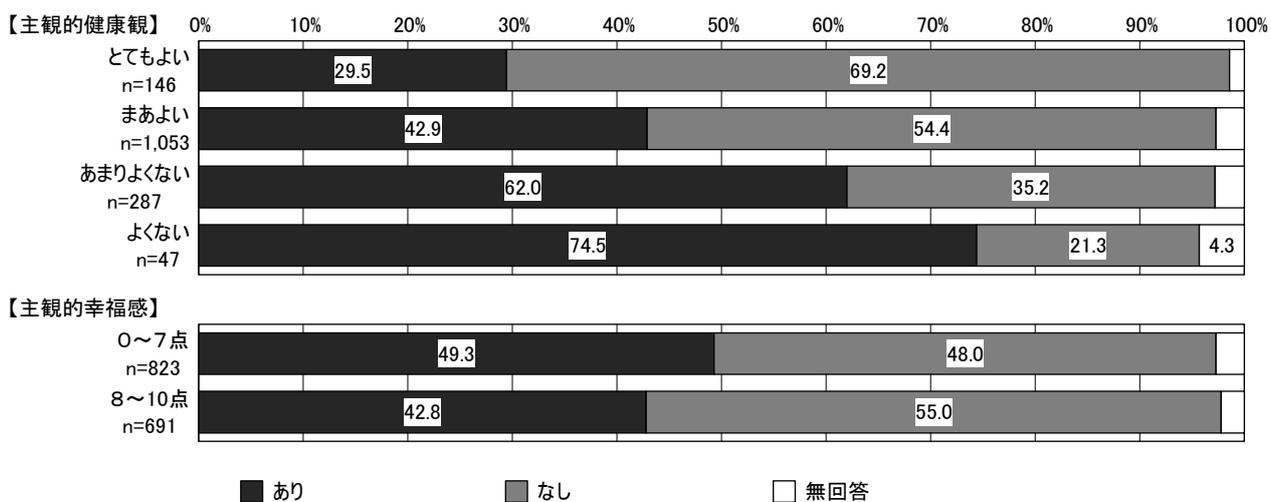
【圏域別】 『浅江地区』『大和地域』では「あり」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

【年齢層別】 年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「あり」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「あり」の割合が高くなっています。



## 7 IADL(手段的自立度)の低下

下記の設問で、各設問に該当した場合を1点とし、5項目の総得点において4点以下を「IADL の低下の該当者」として判定しました。

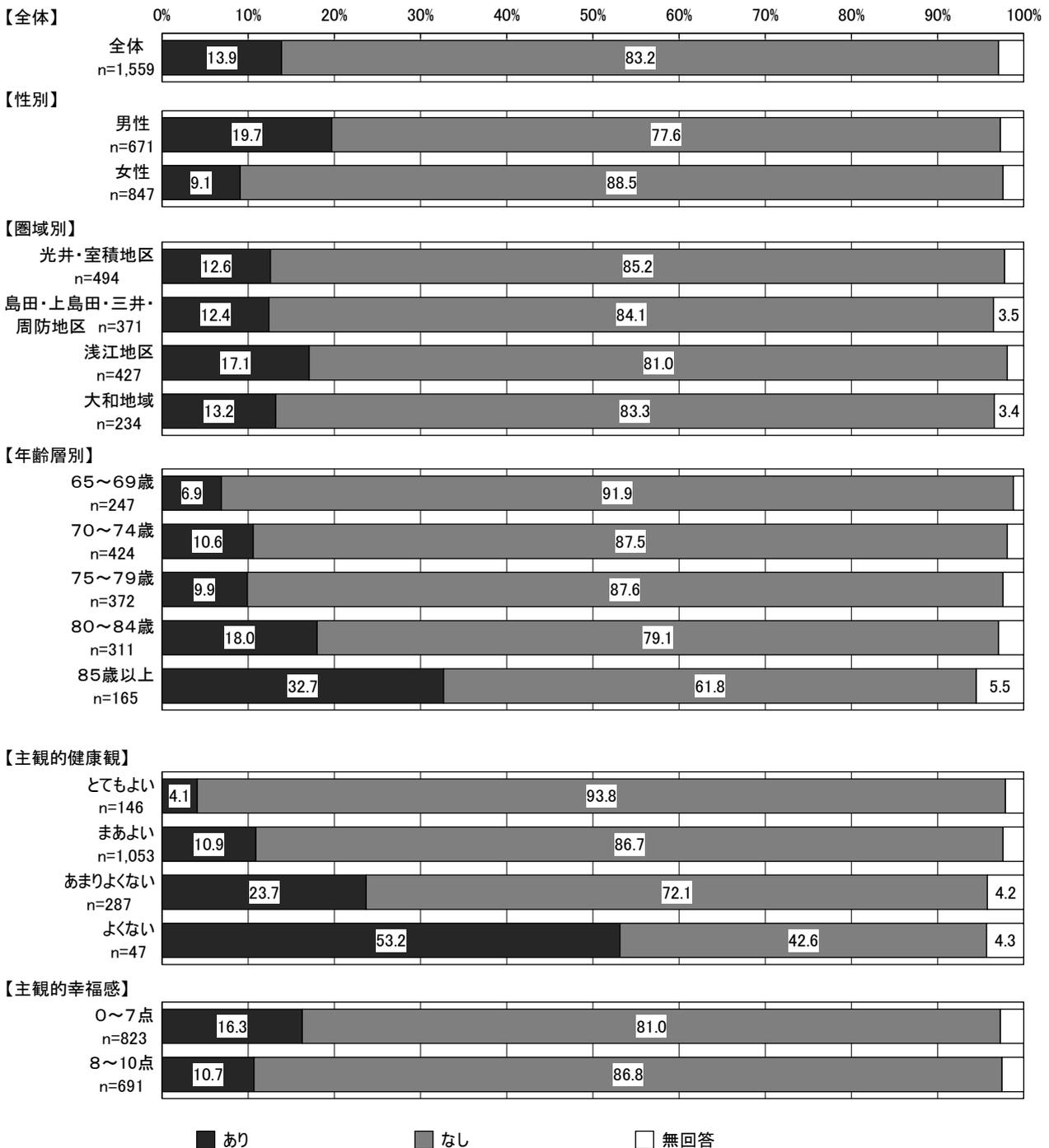
該当設問 問4 毎日の生活について

項目	設問	選択肢
(2)	バスや電車（自家用車でも可）を使って一人で外出していますか。	1. できる、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	自分で食品や日用品の買物をしていますか。	1. できる、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できる、している 2. できるけどしていない 3. できない
(5)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できる、している 2. できるけどしていない 3. できない
(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できる、している 2. できるけどしていない 3. できない

(満点:5点)

## IADLの低下

【全 体】	「あり」が13.9%となっています。
【性 別】	『男性』では『女性』と比べて「あり」の割合が高くなっています。
【圏 域 別】	『浅江地区』では「あり」の割合が他の地区と比べて高くなっています。
【年齢層別】	年齢が上がるにつれて「あり」の割合が高くなっています。
【主観的健康観】	『よくない』『あまりよくない』では「あり」の割合が高くなっています。
【主観的幸福感】	『0～7点』では「あり」の割合が高くなっています。



## 8 うつ傾向

下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢(表の網掛け箇所)を回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります。

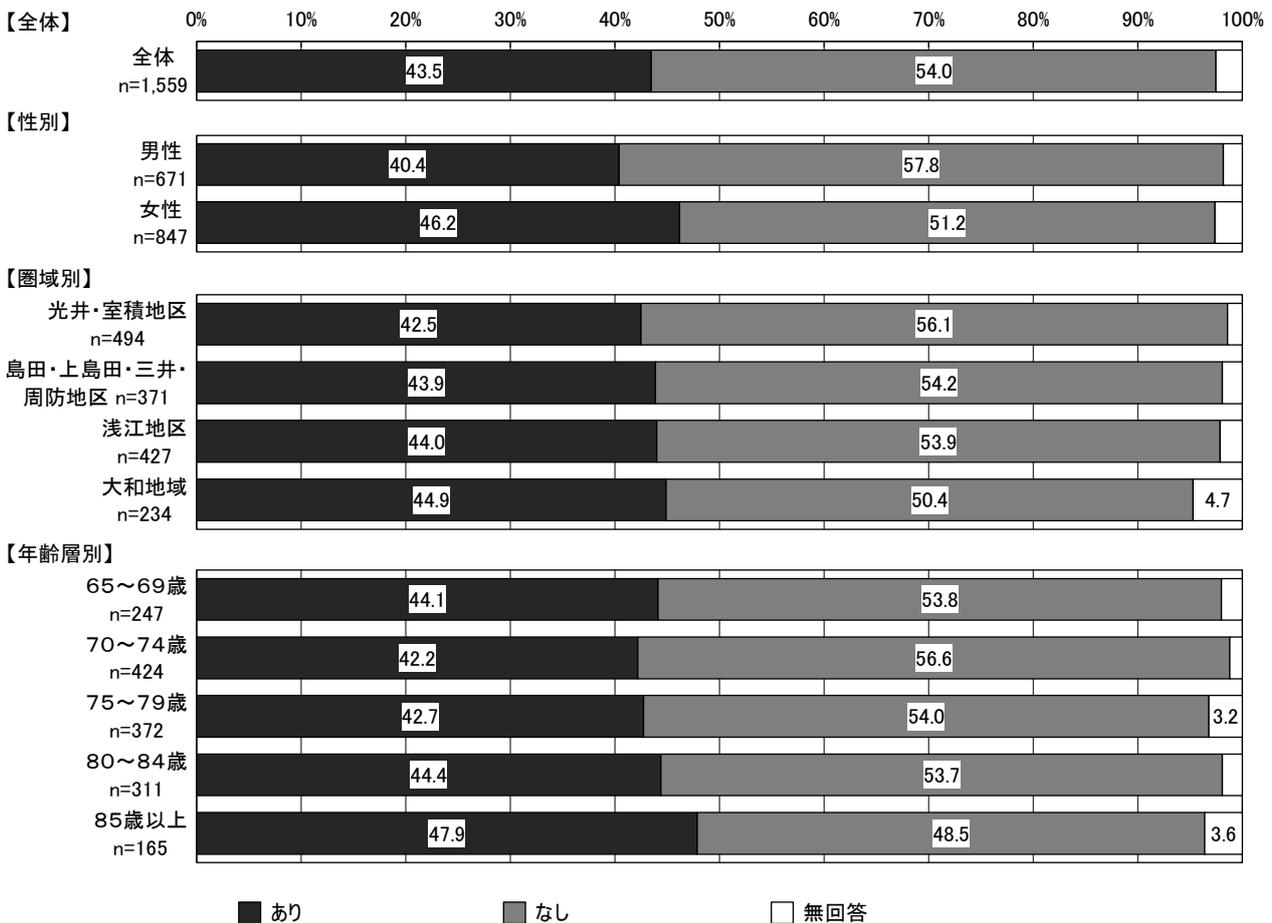
該当設問 問7 健康について

項目	設問	選択肢
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない気持ちがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

### うつ傾向

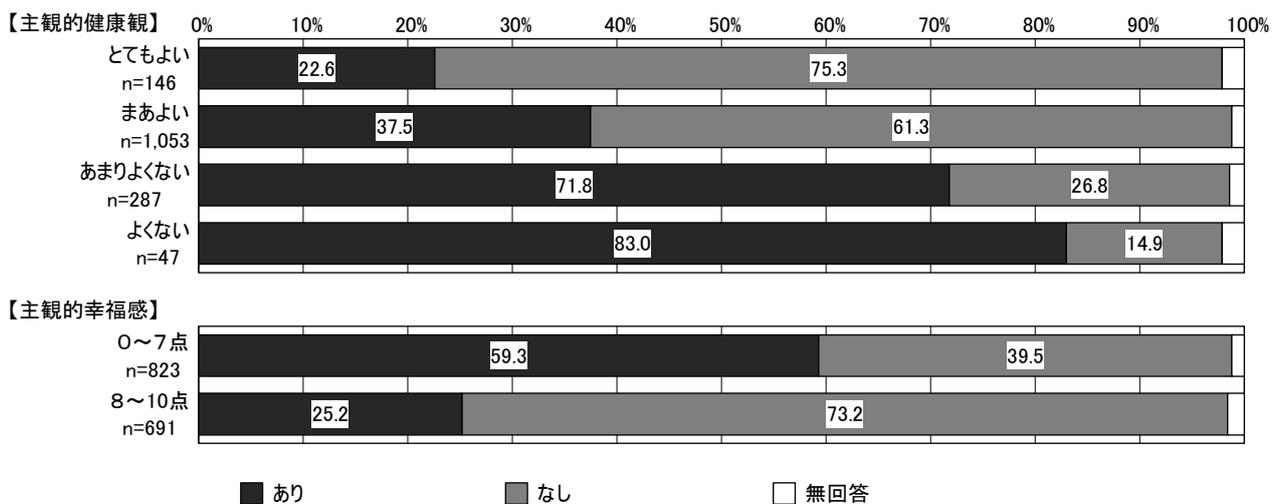
【全体】 「あり」が43.5%となっています。

【性別】 『女性』では『男性』と比べて「あり」の割合が高くなっています。



【主観的健康観】 『よくない』『あまりよくない』では「あり」の割合が高くなっています。

【主観的幸福感】 『0～7点』では「あり」の割合が高くなっています。



## 9 各種リスクの発生状況

### (1) 性別

各種リスクの発生状況の割合を性別で見ると、男性では「認知機能の低下」が48.7%と最も高く、次いで「うつ傾向」が40.4%、「咀嚼機能の低下」が36.5%で続いています。女性では「うつ傾向」が46.2%と最も高く、次いで「認知機能の低下」が44.5%、「転倒リスク」が36.8%で続いています。

前期調査との比較でリスクの発生状況の割合の高い上位3項目をみると、男性では上位3項目は変わっていませんが、「認知機能の低下」の割合が高くなっています。女性では「転倒リスク」が新たに上位項目に入っています。

#### ■リスクの発生状況(性別)

	全体 n=1,559	男性 n=671	女性 n=847
運動器機能の低下	14.9	9.5	19.0
転倒リスク	34.5	31.0	36.8
閉じこもり傾向	18.5	14.5	21.8
低栄養の傾向	8.7	5.5	11.5
咀嚼機能の低下	36.2	36.5	35.8
認知機能の低下	46.2	48.7	44.5
IADLの低下	13.9	19.7	9.1
うつ傾向	43.5	40.4	46.2

#### ■リスクの発生状況(性別)

	男性		女性	
	前期調査	今期調査	前期調査	今期調査
1	認知機能の低下 (43.7%)	認知機能の低下 (48.7%)	うつ傾向 (46.5%)	うつ傾向 (46.2%)
2	うつ傾向 (40.9%)	うつ傾向 (40.4%)	認知機能の低下 (46.0%)	認知機能の低下 (44.5%)
3	咀嚼機能の低下 (34.9%)	咀嚼機能の低下 (36.5%)	咀嚼機能の低下 (36.3%)	転倒リスク (36.8%)

## (2) 年齢層別

各種リスクの発生状況の割合を年齢別で見ると、65～69歳、70～74歳では「うつ傾向」が最も高く、次いで「認知機能の低下」となっています。75歳以上では「認知機能の低下」が最も高くなっており、次いで75～79歳では「うつ傾向」、80～84歳では「転倒リスク」、85歳以上では「咀嚼機能の低下」となっています。

前期調査との比較でリスクの発生状況の割合の高い上位3項目をみると、65～69歳では「転倒リスク」が新たに上位項目に入っています。70～74歳では上位3項目に変わりはありませんが、うつ傾向が前期調査の2位から今期調査で1位となっています。80～84歳、85歳以上では「転倒リスク」が新たに上位項目に入っています。

### ■リスクの発生状況(年齢層別)

	全体 n=1,559	65～69歳 n=247	70～74歳 n=424	75～79歳 n=372	80～84歳 n=311	85歳以上 n=165
運動器機能の低下	14.9	4.9	7.3	14.0	19.3	42.4
転倒リスク	34.5	25.9	26.7	30.6	46.9	49.7
閉じこもり傾向	18.5	5.7	11.1	16.7	29.6	41.2
低栄養の傾向	8.7	8.5	9.2	9.7	5.5	12.1
咀嚼機能の低下	36.2	25.9	32.5	32.8	45.0	51.5
認知機能の低下	46.2	35.6	41.3	47.0	52.1	62.4
IADLの低下	13.9	6.9	10.6	9.9	18.0	32.7
うつ傾向	43.5	44.1	42.2	42.7	44.4	47.9

### ■リスクの発生状況(年齢層別)

	65～69歳		70～74歳		75～79歳	
	前期調査	今期調査	前期調査	今期調査	前期調査	今期調査
1	うつ傾向 (46.4%)	うつ傾向 (44.1%)	認知機能の低下 (42.8%)	うつ傾向 (42.2%)	認知機能の低下 (45.5%)	認知機能の低下 (47.0%)
2	認知機能の低下 (36.2%)	認知機能の低下 (35.6%)	うつ傾向 (42.5%)	認知機能の低下 (41.3%)	うつ傾向 (43.0%)	うつ傾向 (42.7%)
3	咀嚼機能の低下 (26.0%)	転倒リスク (25.9%) 咀嚼機能の低下 (25.9%)	咀嚼機能の低下 (32.6%)	咀嚼機能の低下 (32.5%)	咀嚼機能の低下 (39.4%)	咀嚼機能の低下 (32.8%)

	80～84歳		85歳以上	
	前期調査	今期調査	前期調査	今期調査
1	認知機能の低下 (53.7%)	認知機能の低下 (52.1%)	認知機能の低下 (58.9%)	認知機能の低下 (62.4%)
2	うつ傾向 (42.1%)	転倒リスク (46.9%)	運動器機能の低下 (50.7%)	咀嚼機能の低下 (51.5%)
3	咀嚼機能の低下 (40.7%)	咀嚼機能の低下 (45.0%)	咀嚼機能の低下 (50.0%) IADLの低下 (50.0%)	転倒リスク (49.7%)

### (3) 圏域別

各種リスクの発生状況の割合を圏域別でみると、島田・上島田・三井・周防地区では「うつ傾向」が最も高く、次いで「認知機能の低下」「咀嚼機能の低下」となっています。島田・上島田・三井・周防地区以外では「認知機能の低下」が最も高く、次いで「うつ傾向」「咀嚼機能の低下」となっています。

前期調査との比較でリスクの発生状況の割合の高い上位3項目をみると、上位3項目は変わっていませんが、浅江地区では「認知機能の低下」、大和地域では「咀嚼機能の低下」の割合が高くなっています。

#### ■リスクの発生状況(圏域別)

	全体 n=1,559	光井・室積地区 n=494	島田・上島田・ 三井・周防地区 n=371	浅江地区 n=427	大和地域 n=234
運動器機能の低下	14.9	13.4	12.9	15.7	20.1
転倒リスク	34.5	35.8	30.7	34.4	37.2
閉じこもり傾向	18.5	19.6	15.6	17.1	24.8
低栄養の傾向	8.7	9.9	6.7	8.7	9.8
咀嚼機能の低下	36.2	36.2	35.6	34.9	39.7
認知機能の低下	46.2	46.0	39.4	49.9	52.1
IADLの低下	13.9	12.6	12.4	17.1	13.2
うつ傾向	43.5	42.5	43.9	44.0	44.9

#### ■リスクの発生状況(圏域別)

	光井・室積地区		島田・上島田・ 三井・周防地区	
	前期調査	今期調査	前期調査	今期調査
1	うつ傾向 (46.7%)	認知機能の低下 (46.0%)	認知機能の低下 (44.8%)	うつ傾向 (43.9%)
2	認知機能の低下 (45.7%)	うつ傾向 (42.5%)	うつ傾向 (44.0%)	認知機能の低下 (39.4%)
3	咀嚼機能の低下 (38.0%)	咀嚼機能の低下 (36.2%)	咀嚼機能の低下 (36.6%)	咀嚼機能の低下 (35.6%)

	浅江地区		大和地域	
	前期調査	今期調査	前期調査	今期調査
1	認知機能の低下 (43.0%)	認知機能の低下 (49.9%)	認知機能の低下 (49.5%)	認知機能の低下 (52.1%)
2	うつ傾向 (40.3%)	うつ傾向 (44.0%)	うつ傾向 (45.9%)	うつ傾向 (44.9%)
3	咀嚼機能の低下 (34.7%)	咀嚼機能の低下 (34.9%)	咀嚼機能の低下 (33.2%)	咀嚼機能の低下 (39.7%)

## 第4章 結果から見える課題

### 1 リスクの発生状況について

- ・各種リスクの発生状況を見ると、全体では「認知機能の低下」が最も高く、次いで「うつ傾向」「咀嚼機能の低下」「転倒リスク」が続いています。これらは前期調査においても同様の順位であるため、引き続き、各種リスクを包括的に予防していく必要性がうかがえます。
- ・「認知機能の低下」について、該当する方の割合が約半数近くとなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。各種リスクの発生状況では、男性で1位となっており、前回調査時と比べても割合が高くなっています。
- ・「うつ傾向」について、該当する方の割合が4割を超えており、男性に比べて女性のほうが該当者の割合が高くなっています。各種リスクの発生状況では、女性で1位となっています。
- ・「咀嚼機能の低下」「転倒リスク」では、該当する方の割合が3割半ばとなっています。年齢が上がるにつれて高くなっており、80～84歳では4割半ば、85歳以上では約5割となっています。各種リスクの発生状況では、女性では「転倒リスク」が新たに上位項目に入り、3位となっています。
- ・「認知機能の低下」、「うつ傾向」、「咀嚼機能の低下」、「転倒リスク」については、いずれも年齢が上がるにつれて該当者の割合が高くなっており、85歳以上で特に高くなっています。このことから、早期(前期高齢者)の介護予防への取組が望まれます。

### 2 社会参加・活動について

- ・地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として「ぜひ参加したい」「参加してもよい」と回答した参加意向のある人は5割を超えており、住民主体の健康づくり活動等への参加に意欲的であることがうかがえます。このような高齢者が地域における健康づくりや福祉活動の担い手として活躍できる仕組みづくりも重要です。また、現在健康だと感じている人ほど参加意欲も高く、健康な人にアプローチしながら、介護予防に向けた取組と健康づくり活動などへのリーダー育成につなげていくことが大切です。
- ・近くに住む人が身体的な理由から日常生活の中に困りごとがあるとき、手を貸してあげようと思う人は約8割となっており、こうした思いを実際の行動につなげていくことで、地域の支え合いを広げていくことが重要です。

### 3 相談に関すること

- ・認知症のリスクは、年代を問わず多くの高齢者が抱えています。認知症に関する相談窓口について、知らない人は約6割となっています。また、地域包括支援センターの認知度では、知らない人は4割半ばとなっています。高齢者がそれぞれの状況に応じて、相談することができるよう各相談窓口について、更に周知・啓発が必要と考えられます。

## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 【調査票】

～この調査が届いた皆様へ～

皆様には、日頃から光市の介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、本市では、令和5年度に策定を予定しております「光市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」の基礎資料とするため、65歳以上の方から2,000名を無作為に選定し、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査は、地域を中心に社会全体で介護を支えていくために、皆様の生活の実態や生活支援ニーズなどをお伺いするものです。

項目数が多くお手数をお掛けしますが、本調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

光市高齢者支援課介護保険係

### （問合せ先）

光市役所 高齢者支援課 介護保険係  
担当：山本、伊藤  
電話：0833-74-3003

## 記入に際してのお願い

- 1 この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、65歳以上の方です。
- 2 ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- 3 ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例 

0	6	1
---	---	---

 kg）でご記入ください。
- 4 この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
  - (1) 介護・・・介護保険のサービスを受けている場合のほか、要介護・要支援認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
  - (2) 介助・・・ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
- 5 この調査についてのお問い合わせは、次の問合せ先にご連絡ください。  
**光市役所 高齢者支援課 介護保険係（担当：山本、伊藤） 電話：0833-74-3003**
- 6 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒（切手不要）に入れて  
**1月31日（火）**までにご投函ください。

## 個人情報の取扱い

この調査により収集した個人情報については、光市個人情報保護条例に基づき適正に取扱います。

■■ 質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字をご記入ください ■■

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

Q1-1. 年齢をお教えてください。

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 | 3. 75～79歳 | 4. 80～84歳 |
| 5. 85～89歳 | 6. 90～94歳 | 7. 95～99歳 | 8. 100歳以上 |

Q1-2. 性別をお教えてください。

- |      |      |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

Q2. お住まいの地域をお教えてください。

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| 1. 光井・室積地区 | 2. 島田・上島田・三井・周防地区 |
| 3. 浅江地区    | 4. 大和地域           |

Q3. あなたの介護状態をお教えてください。

- |         |         |            |
|---------|---------|------------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要支援ではない |
|---------|---------|------------|

Q4. 家族構成をお教えてください。

1. 一人暮らし
2. 夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦二人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子や娘との二世帯
5. その他

Q5. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

Q6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

## 同2 からだを動かすことについて

**Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができますか。**

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない

**Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができますか。**

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない

**Q3. 15分位続けて歩くことができますか。**

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない

**Q4. 過去1年間に転んだことがありますか。**

1. 何度もある
2. 一度ある
3. ない

**Q5. 転倒に対する不安は大きいですか。**

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

**Q6. 週に1回以上外出していますか。**

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

**Q7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。**

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

### 同3 食べることについて

Q1. 身長

--	--	--

 cm

体重

--	--	--

 kg

Q2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

1. はい
2. いいえ

Q3. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

Q4. どなたかと食事をいっしょにする機会がありますか。

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない



#### 同4 毎日の生活について

Q1. 物忘れが多いと感じますか。

1. はい
2. いいえ

Q2. バスや電車（自家用車でも可）を使って一人で外出していますか。

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない

Q3. 自分で食品や日用品の買物をしていますか。

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない

Q4. 自分で食事の用意をしていますか。

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない

Q5. 自分で請求書の支払いをしていますか。

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない

Q6. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

1. できる している
2. できるけどしていない
3. できない



## 同5 地域での活動について

Q1. 以下のようなグループ等にどのくらいの割合で参加していますか。

①～⑧それぞれにご回答ください。

	週4回 以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加して いない
①ボランティアの グループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係の グループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤（ふれあい・いきい きサロン など） 介護予防のための 通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

Q2. もし、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じて、いきいきした地域づくりがあった場合、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

Q3. もし、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じて、いきいきした地域づくりがあった場合、あなたはその活動にお世話役（企画・運営）として参加してみたいと思いますか。

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

## 問6 たすけあいについて

Q1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。  
（いくつでも）

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者                       | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども                    | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣                        | 6. 友人          |
| 7. その他（                    ） | 8. そのような人はいない  |

Q2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。  
（いくつでも）

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者                       | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども                    | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣                        | 6. 友人          |
| 7. その他（                    ） | 8. そのような人はいない  |

Q3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。  
（いくつでも）

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者                       | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども                    | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣                        | 6. 友人          |
| 7. その他（                    ） | 8. そのような人はいない  |

Q4. 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。  
（いくつでも）

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者                       | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども                    | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣                        | 6. 友人          |
| 7. その他（                    ） | 8. そのような人はいない  |



## 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

Q1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい
2. いいえ

Q2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい
2. いいえ

## 問9 その他

Q1. もし、あなたが日常生活を送る上で常時介護が必要になった場合（または現在必要としている場合）、どこで介護を受けたいですか（受けていますか）。  
（該当するものを一つ選んでください）

1. 自宅
2. 子どもなど家族の家
3. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設
4. 病院などの医療機関
5. その他（                      ）
6. 分からない

Q2-1. あなたは、診療や治療、健康相談をする「かかりつけ医」を決めていますか。

1. 決めている
2. 決めていない

Q2-2. 通院できなくなった場合などに、医師や看護師等の訪問を受けながら自宅で治療・療養する「在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療など）」という方法をご存じですか。また、利用してみたいと思いますか。

1. 知っているし、利用してみたい
2. 知らなかったが、利用してみたい
3. 知っているが、利用したいとは思わない
4. 知らないし、利用したいとは思わない



<p><b>Q4-3. 近くに住む人が身体的な理由から日常生活の中に困りごとがあるとき、あなたは手をかしてあげようと思いますか。</b></p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
<p><b>Q5-1. あなたが現在、生きがいを感じることは何ですか。(いくつでも)</b></p> <p>1. 働くこと(仕事) 2. 学習や教養を高めるための活動 3. スポーツ・運動 4. 趣味 5. 地域や社会への奉仕活動(ボランティア活動) 6. 家族との団らん 7. 旅行 8. その他( ) 9. 特になし</p>
<p><b>Q5-2. あなたは、最寄りの自治会館、老人憩いの家又はコミュニティセンター(旧公民館)など、普段、自治会活動が行われる場所へ一人で歩いて行くことができますか。</b></p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
<p><b>Q5-3. あなたは、最寄りの自治会館、老人憩いの家又はコミュニティセンター(旧公民館)などで開催される催しへ参加するとしたら、どのようなものに参加したいですか。(いくつでも)</b></p> <p>1. 認知症予防に関する出前講座 2. 体力や筋力強化につながる体操教室 3. 囲碁や将棋等、共通の趣味による交流 4. 人と気軽に話せるような交流機会 5. その他( ) 6. 参加したいと思わない</p>
<p><b>Q6. あなたは、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護、医療、福祉、健康など様々な支援や相談業務を行う「地域包括支援センター」を知っていますか。</b></p> <p>1. 知っている 2. 知らない</p>

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て(表紙も含みます)を3つ折りにして、同封した返信用封筒に切手を貼らずにご投函ください。

## 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査報告書

発行日 令和5年3月

発行者 光市

住 所 〒743-0011

山口県光市光井二丁目2番1号